

**毎日の生活についてのアンケート調査
(児童生徒向けヤングケアラー実態調査)
報告書**

令和5年2月

川越市 こども未来部

目次

I 調査概要	1
II 調査結果	2
(1) 家庭内でケアを行っている人の状況について	2
(1) - 1 家庭内でケアが必要な人の有無	2
(1) - 2 ケアの開始時期、ケアを必要とする人とその理由、ケアの内容	3
(1) - 3 ケアと一緒にいる人	6
(1) - 4 ケアの頻度、ケアに費やす時間	7
(1) - 5 ケアによる日常生活への影響	9
(1) - 6 相談した経験の有無	10
(1) - 7 希望するサポート	11
(1) - 8 希望する相談方法	12
(1) - 9 ヤングケアラーについて	13
(1) - 10 ヤングケアラーという言葉聞いたことがあるか	15
(2) 家庭内でのケアの有無による生活への影響について	16
(2) - 1 体調について	16
(2) - 2 通学状況について	17
(2) - 3 習い事や部活動への参加	20
(2) - 4 ふだんの学校生活であてはまるもの	21
(2) - 5 今、悩んだり、困ったりしていること	23
(2) - 6 悩みや困りごとがあったときの相談相手の有無	24
(3) 自由意見について（一部抜粋）	25
～資料編～	27
III 対象者全体の調査結果	28
IV 小学生の調査結果	45
V 中学生の調査結果	60
VI 高校生の調査結果	75
VII アンケート内容（小学生）	93
VIII アンケート内容（中学生・高校生）	101

I 調査概要

1 調査目的

当事者自身にケアラーという自覚がない、または家族が支援を求めないなど、潜在化しやすい傾向があるヤングケアラーについて、本市の実態を把握するため、市内の児童生徒を対象とした実態調査を行った。

併せて、ヤングケアラーとなる児童生徒のケアの状況、悩みごと、支援のニーズ等を把握することにより、必要な施策に反映していこうとするものである。

2 調査対象

・市立小学校 32 校の 4 年生から 6 年生	8,759 人
・市立中学校 22 校の 1 年生から 3 年生	8,568 人
・市立川越高等学校の 1 年生から 3 年生	839 人
・市立特別支援学校の 1 年生から 3 年生	48 人
計	18,214 人

3 調査方法

各学校を通じて保護者向けの依頼文書を配布した上で、児童生徒が各自のタブレット端末またはスマートフォン等により、「川越市電子申請・届出サービス」で回答する無記名アンケートにより実施。

4 調査期間

令和 4 年 9 月 12 日（月）～10 月 3 日（月）

5 回答状況

調査対象	回答者数 (人)	回収率 (回答者／対象者)
小学校 4 年生～6 年生	1,759	20.1%
中学校 1 年生～3 年生	1,699	19.8%
市立川越高校 1 年生～3 年生	66	7.9%
特別支援学校 1 年生～3 年生	48	100.0%
合計	3,572	19.6%

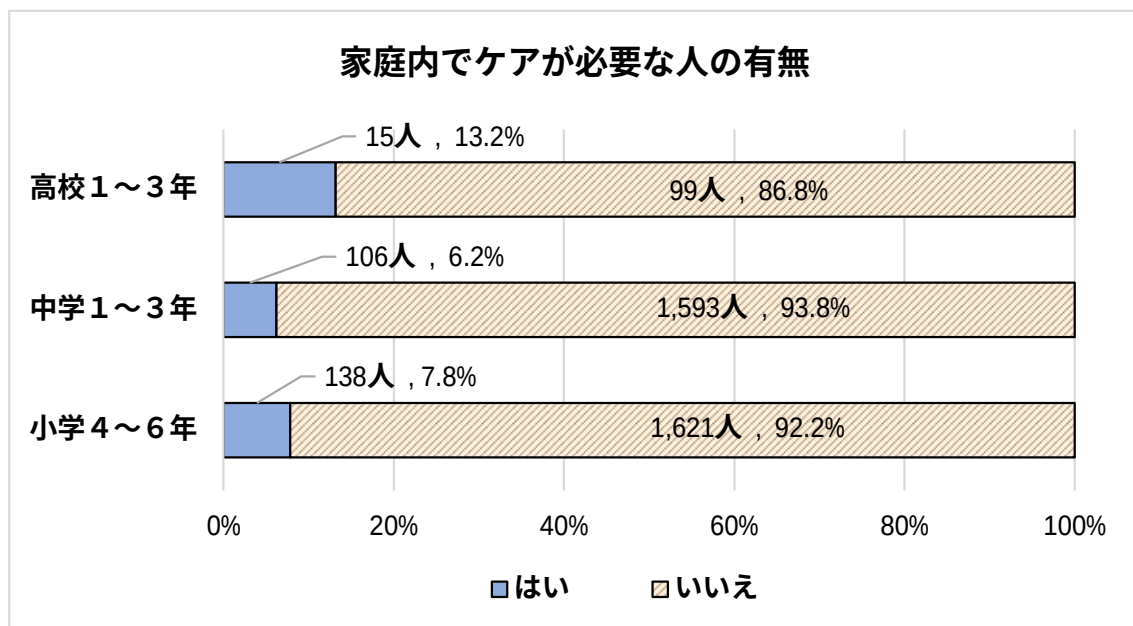
II 調査結果

(1) 家庭内でケアを行っている人の状況について

家庭内でケアを行っている人のケアの状況、日常生活への影響等の設問に対する回答から、家族のケアを行うことが子どもにどのような影響を与えるのかを分析した。また小学生、中学生、高校生の各年代の集計を行うことで年代によるケアの内容、費やす時間等の違いについても比較・分析を行った。

(1) - 1 家庭内でケアが必要な人の有無

「家庭内でケアが必要な人の有無」では、「家族の中であなたのケアを必要としている人がいるか」という問いに対し、小学生、中学生、高校生の回答者 3,572 人のうち、7.3%に当たる 259 人（小学 4～6 年・138 人（7.8%）、中学 1～3 年・106 人（6.2%）、高校 1～3 年・15 人（13.2%））が「ケアが必要な人がいる」と回答している。



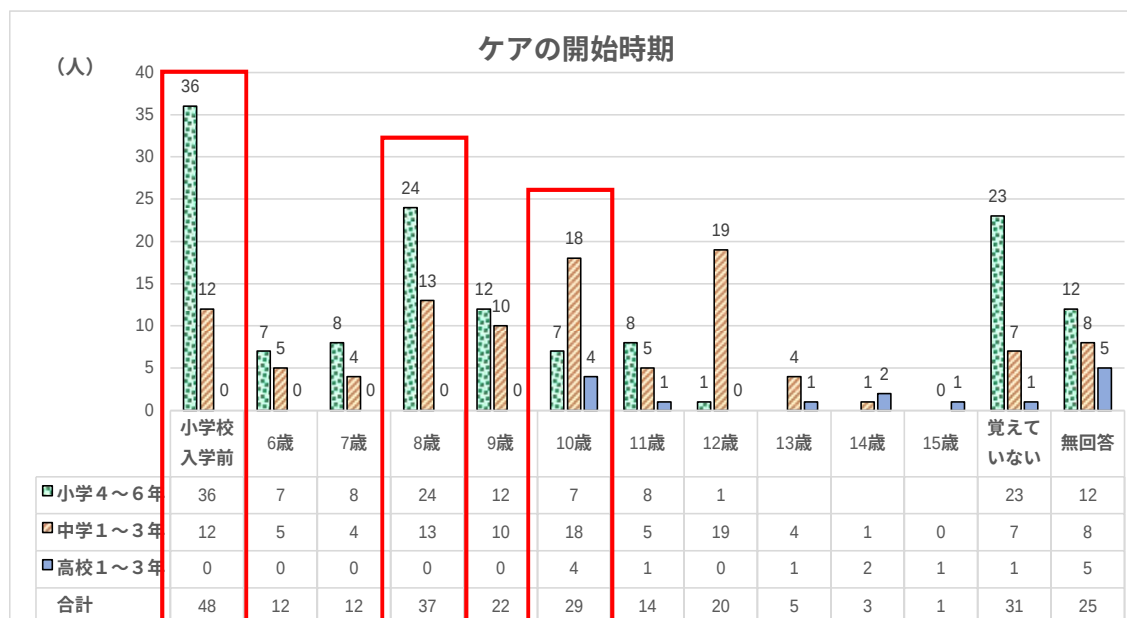
(1) - 2 ケアの開始時期、ケアを必要とする人とその理由、ケアの内容

(1) - 1において家庭内でケアが必要な人がいると回答した 259 人（小学 4～6 年・138 人、中学 1～3 年・106 人、高校 1～3 年・15 人）のケアの開始時期、ケアを必要としている人とその理由、ケアの内容に関し考察した。

- ① 小学生では、小学校入学前や入学後（8～9 歳）の頃からケアを開始し、弟や妹、母親の見守りや世話、家事、買い物の付添いをするという回答が多くみられる。
- ② 中学生では、小学生（10～12 歳）の頃からケアを開始し、小学生と同様に弟や妹、母親の見守りや世話、家事、買い物の付添いをするという回答が多くみられる。
- ③ 高校生では、小・中学生の頃からケアを開始し、家事や買い物の付添いをするという回答が多くなっている。

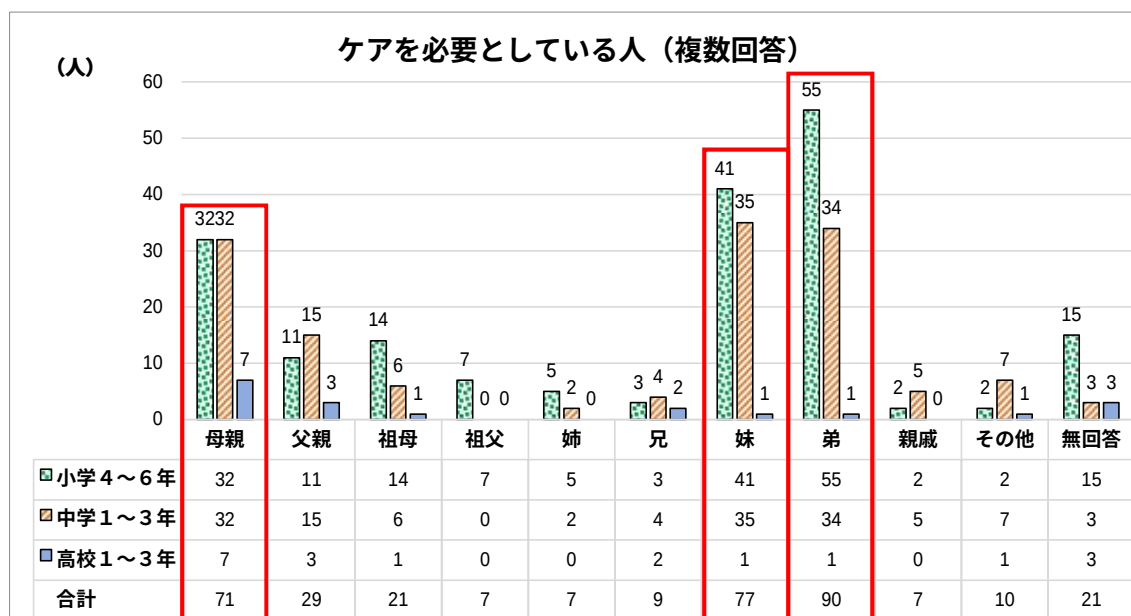
◆ケアの開始時期

「ケアの開始時期」に関し 259 人に回答を求めたところ、無回答を含む全回答者（259 人）の中で「小学校入学前」が最も多く（48 人・18.5%）、次いで「8 歳」（37 人・14.3%）、「10 歳」（29 人・11.2%）であった。また、「覚えていない」（31 人・12.0%）、「無回答」（25 人・9.7%）という回答もあった。



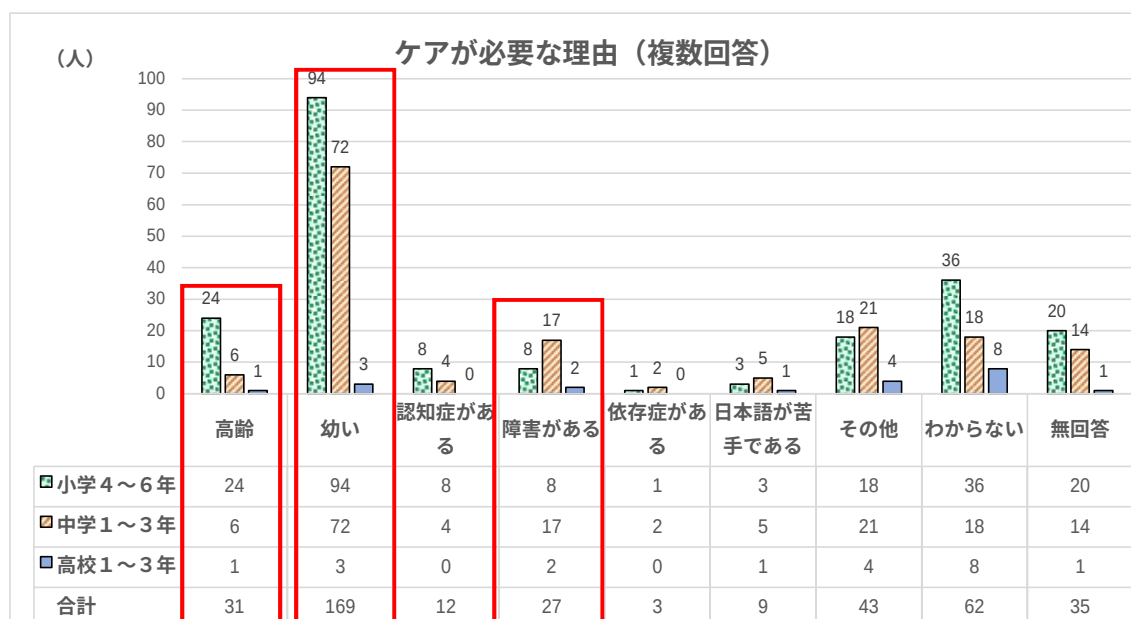
◆ケアを必要としている人

「ケアを必要としている人」に関し 259 人に複数回答を求めたところ、「弟」が最も多く（90 人・34.7%）、次いで「妹」（77 人・29.7%）、「母親」（71 人・27.4%）となった。



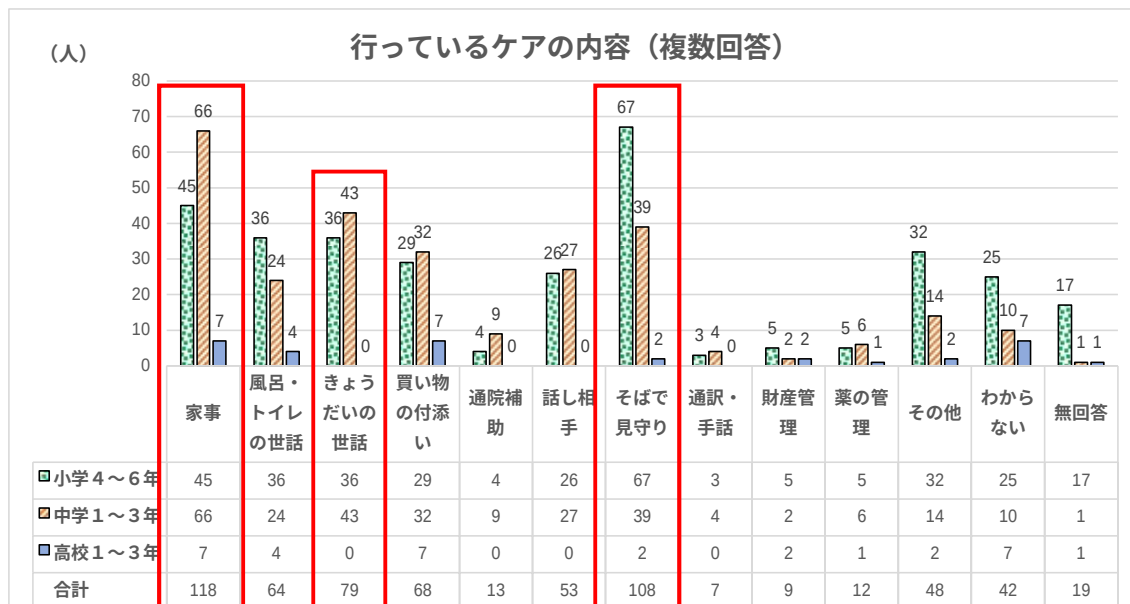
◆ケアが必要な理由

「ケアが必要な理由」に関し 259 人に複数回答を求めたところ、「幼い」が最も多く（169 人・65.3%）、次いで「高齢」（31 人・12.0%）、「障害がある」（27 人・10.4%）となった。



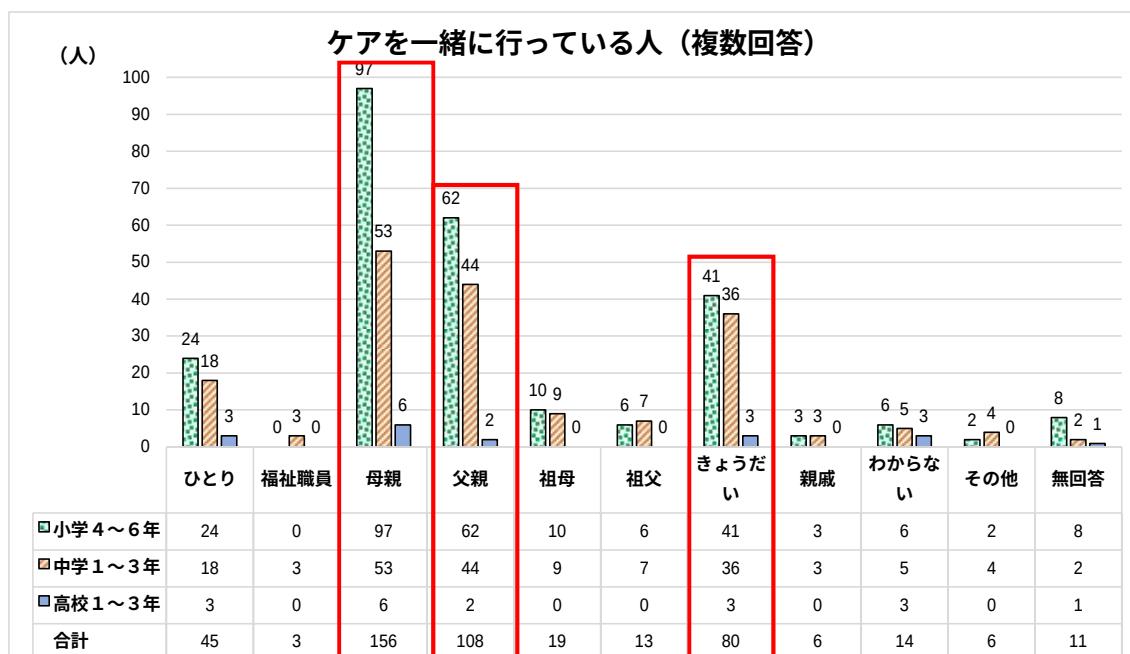
◆行っているケアの内容

「行っているケアの内容」に関し 259 人に複数回答を求めたところ、「家事」が最も多く（118 人・45.6%）、次いで「そばで見守り」（108 人・41.7%）、「きょうだいの世話」（79 人・30.5%）となった。



(1) - 3 ケアと一緒にいる人

「ケアと一緒にいる人」に関し、家庭内でケアが必要な人がいると回答した 259 人に複数回答を求めたところ、「母親」が最も多く（156 人・60.2%）、次いで「父親」（108 人・41.7%）、「きょうだい」（80 人・30.9%）となった。その一方で、「ひとりでケアを行っている」という回答（45 人・17.4%）もみられる。



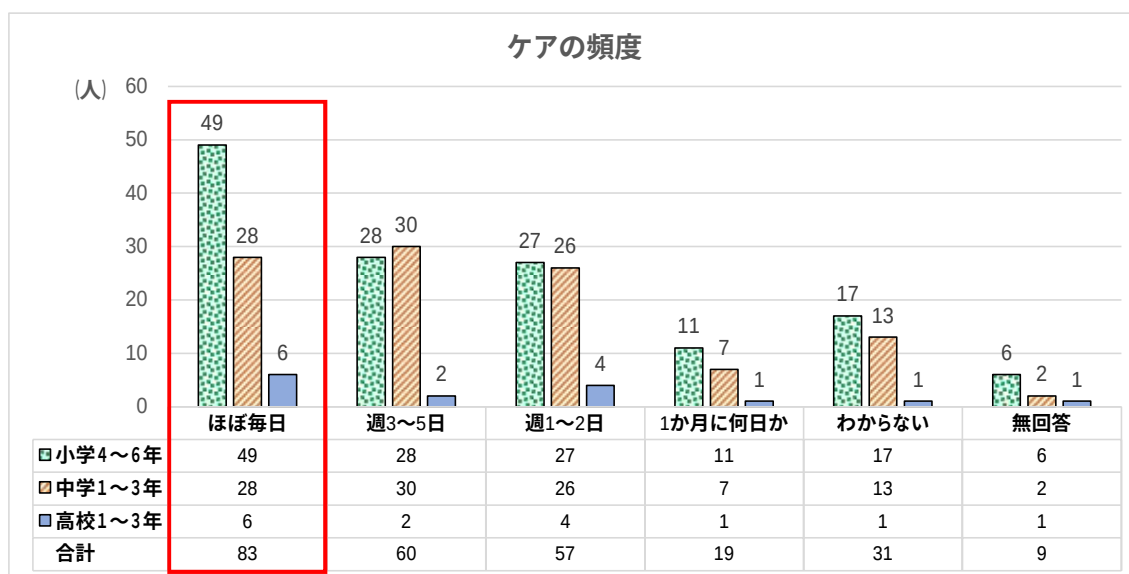
(1) - 4 ケアの頻度、ケアに費やす時間

家庭内でケアが必要な人がいると回答した 259 人のケアの頻度、ケアに費やす時間に関し、考察した。

- ① 「ケアの頻度」では、1週間に1日以上ケアを行っている小学生・中学生・高校生の合計は 200 人であり、1 か月の間でケアをする日があると回答している者（219 人）の 9 割以上（91.3%）となっている。このうち、ほぼ毎日ケアを行っている小学生・中学生・高校生の合計は 83 人であり、1 か月の間でケアをする日があると回答している者（219 人）の 37.9%となっている。
- ② 「ケアに費やす時間」では、回答のあった小学生・中学生・高校生の合計 240 人のうち、127 人（52.9%）が 1 時間未満となっているが、7 時間以上を費やしていると回答している者も 7 人（2.9%）みられる。

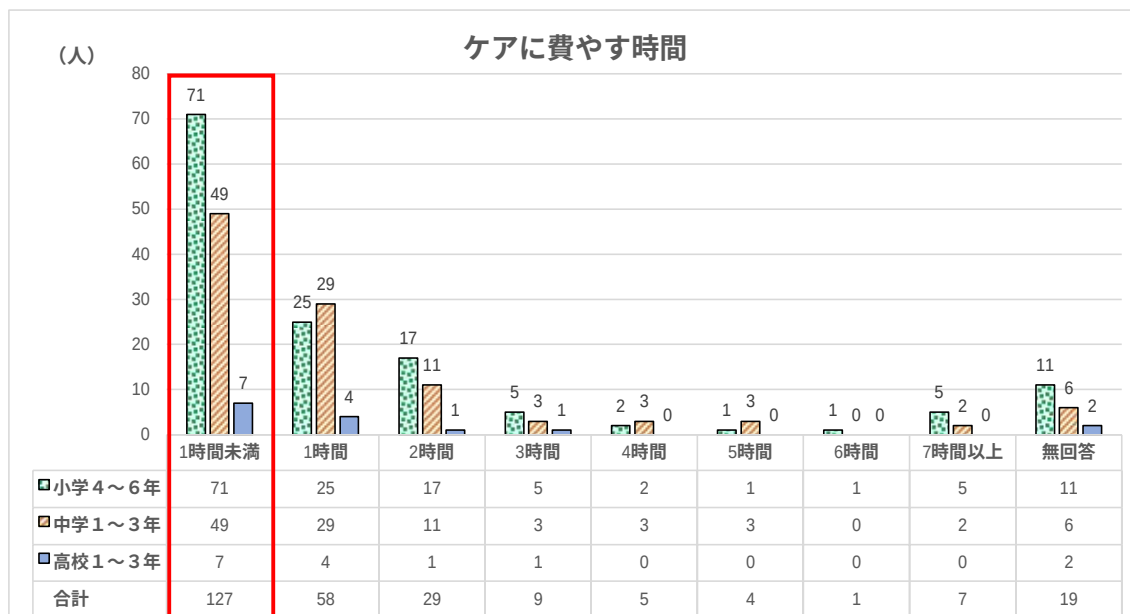
◆ケアの頻度

「ケアの頻度」に関し 259 人に回答を求めたところ、「ほぼ毎日ケアを行っている」が最も多く（83 人・32.0%）、次いで「週に 3～5 日」（60 人・23.2%）、「週に 1～2 日」（57 人・22.0%）であった。



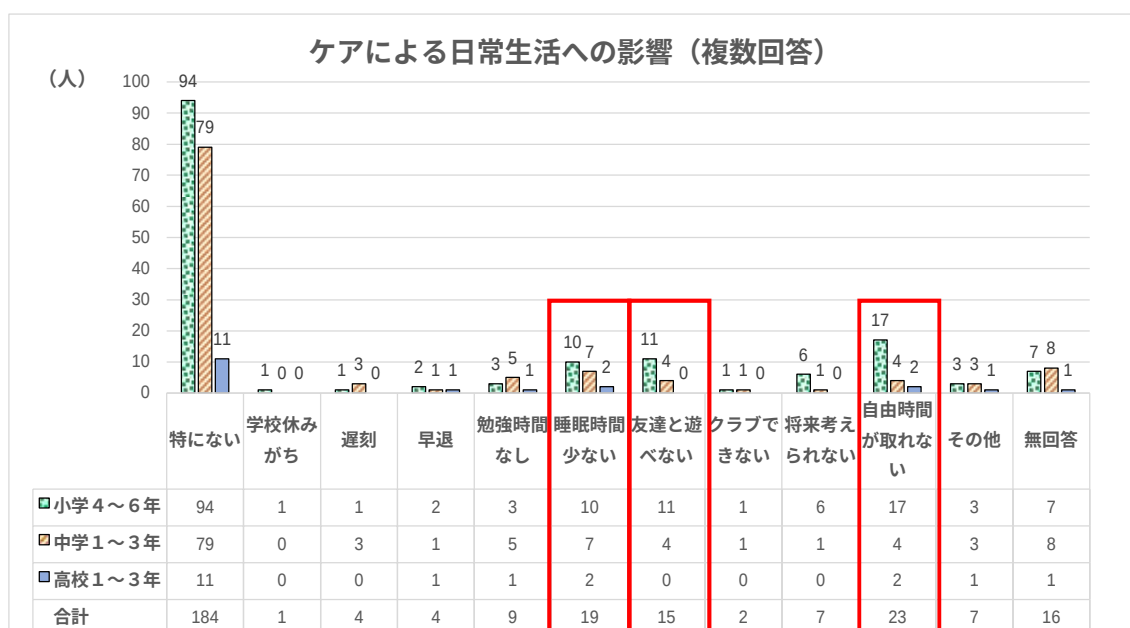
◆ケアに費やす時間

「ケアに費やす時間」に関し 259 人に回答を求めたところ、「1 時間未満」が最も多く（127 人・49.0%）、次いで「1 時間」（58 人・22.4%）、「2 時間」（29 人・11.2%）となった。



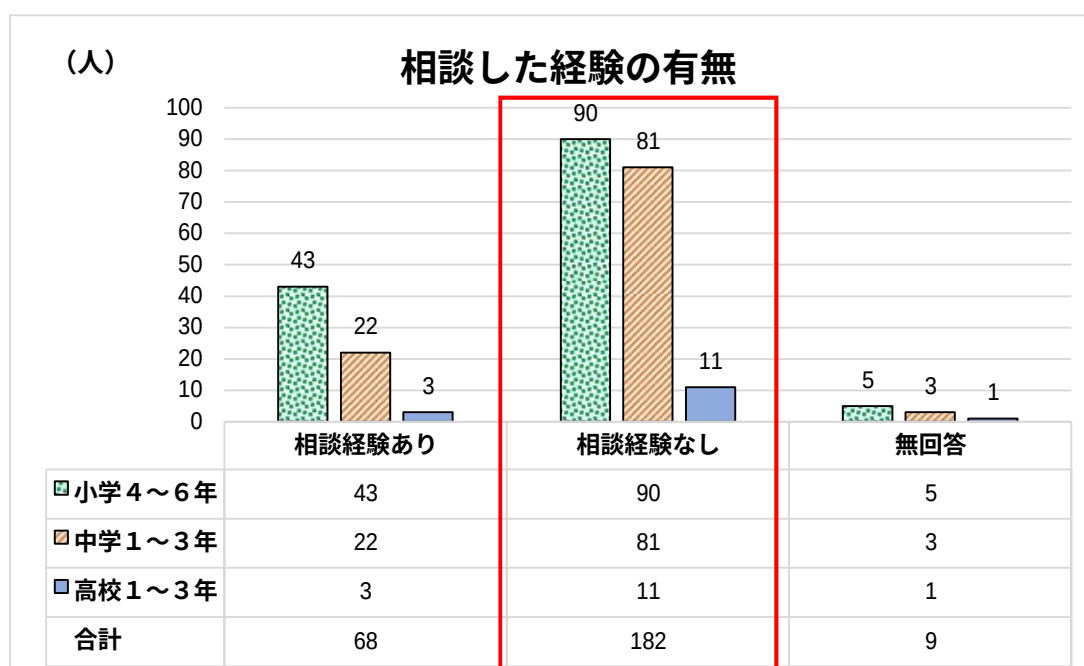
(1) - 5 ケアによる日常生活への影響

「ケアによる日常生活への影響」に関し、家庭内でケアが必要な人がいると回答した 259 人に複数回答を求めたところ、184 人（71.0%）は「特にない」と回答している。なお、日常生活への影響としては、「自由時間が取れない」（23 人・8.9%）、「睡眠時間が少ない」（19 人・7.3%）、「友達と遊べない」（15 人・5.8%）となった。



(1)－6 相談した経験の有無

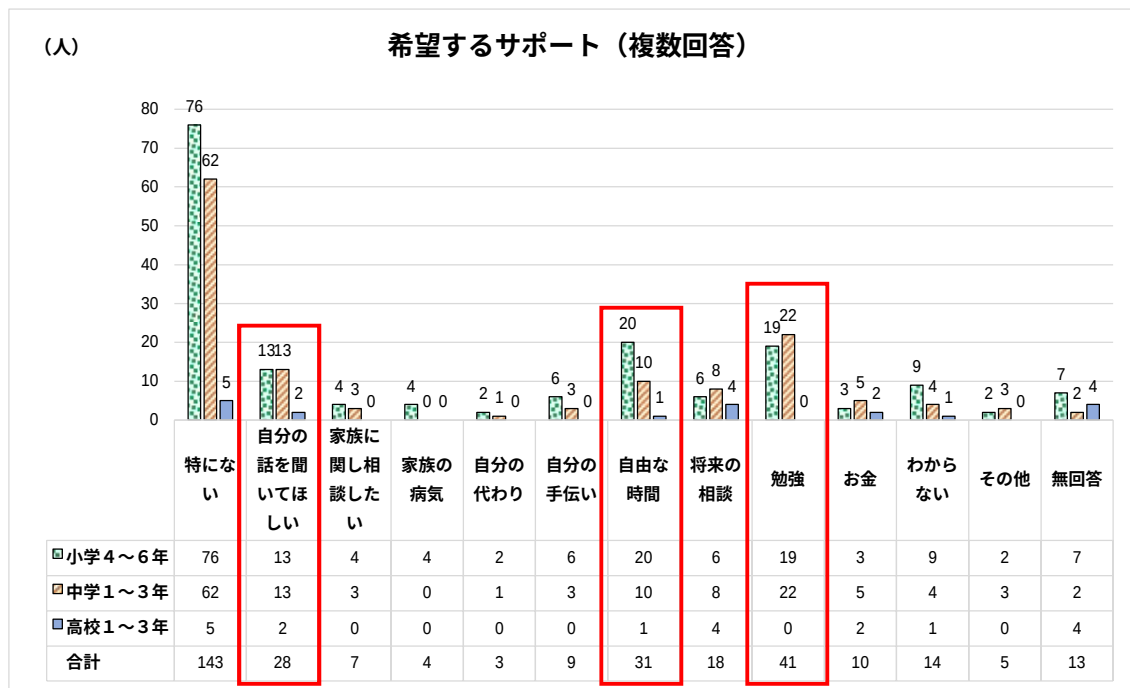
「相談した経験の有無」に関し、家庭内でケアが必要な人がいると回答した 259 人に回答を求めたところ、「相談経験なし」（182 人・70.3%）、「相談経験あり」（68 人・26.3%）となった。なお、「相談経験あり」と回答した小学生は家庭内でケアが必要な人がいると回答した 138 人のうち 43 人（31.2%）、中学生は家庭内でケアが必要な人がいると回答した 106 人のうち 22 人（20.8%）、高校生は家庭内でケアが必要な人がいると回答した 15 人のうち 3 人（20.0%）であり、年齢が高くなるごとに相談経験の割合が低い傾向となっている。



(1) - 7 希望するサポート

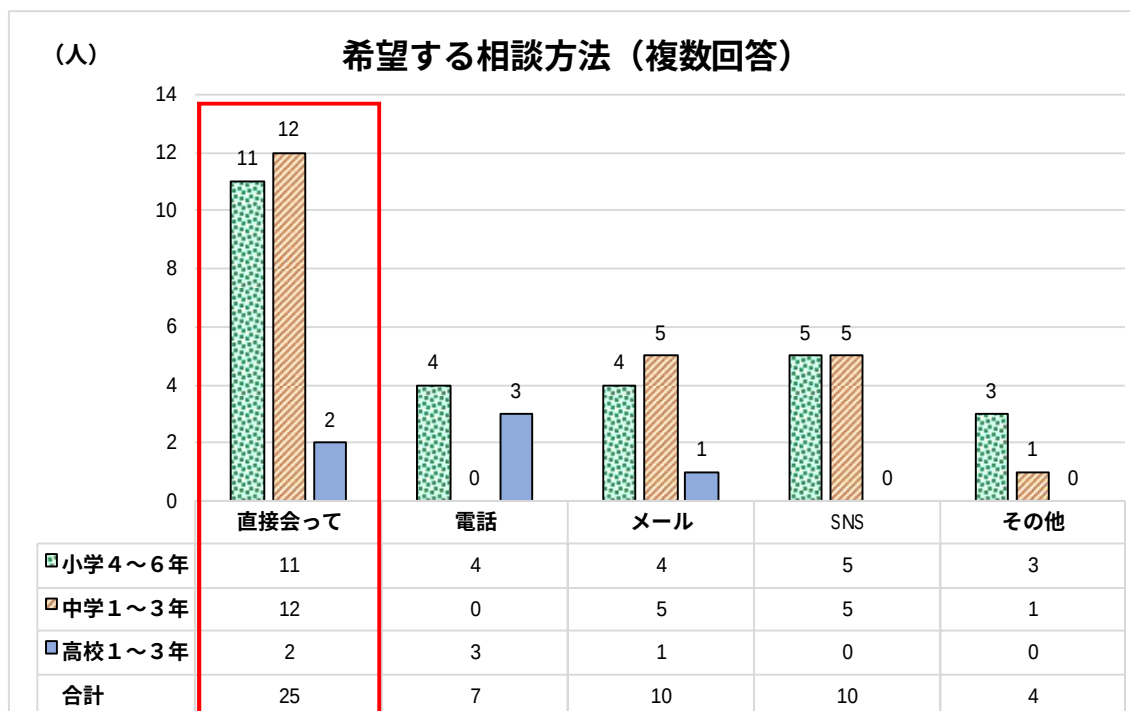
「希望するサポート」に関し、家庭内でケアが必要な人がいると回答した 259 人に複数回答を求めたところ、「特にない」という回答が 143 人（55.2%）となった。

また、希望するサポートを具体的に挙げた回答では、「勉強」が 41 人（15.8%）、「自由な時間が欲しい」が 31 人（12.0%）、「自分の話を聞いてほしい」が 28 人（10.8%）となった。



(1)－8 希望する相談方法

「希望する相談方法」に関し、(1)－7において「自分の話を聞いてほしい」、「家族に関し相談したい」「将来の相談」と回答した45人(小学4～6年・19人、中学1～3年・21人、高校1～3年・5人)に複数回答を求めたところ、「直接会って」という回答が小学生、中学生、高校生の合計で25人と最も多くなっている。このほか、メールやSNSによる相談を希望する回答もみられる。



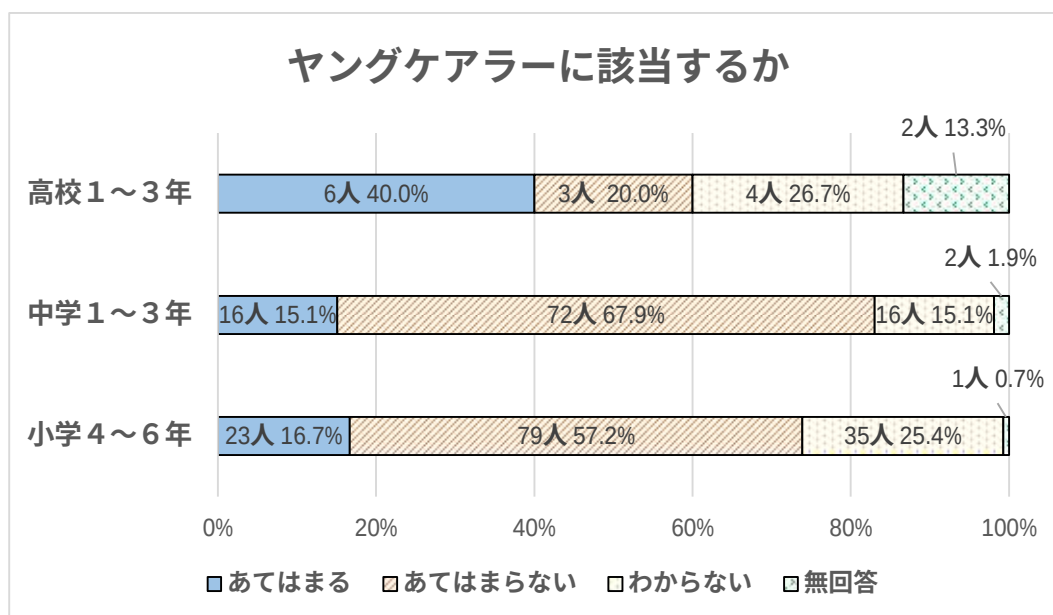
(1) - 9 ヤングケアラーについて

(1) - 1において家庭内でケアが必要な人がいると回答した 259 人（小学 4～6 年・138 人、中学 1～3 年・106 人、高校 1～3 年・15 人）のヤングケアラーの該当の有無や希望するサポートに関し、考察した。

- ① 自分自身はヤングケアラーにあてはまらないと回答した小学生、中学生、高校生の合計は 154 人（59.5%）となった。
- ② 自分自身はヤングケアラーにあてはまると回答した小学生、中学生、高校生の合計は 45 人（17.4%）となり、少なくとも各年代の 1 割以上の子どもたちがヤングケアラーの認識を有している。また、このような子どもたちは、勉強や将来を含め自分自身に関することを相談したいと希望する回答が多くなっている。

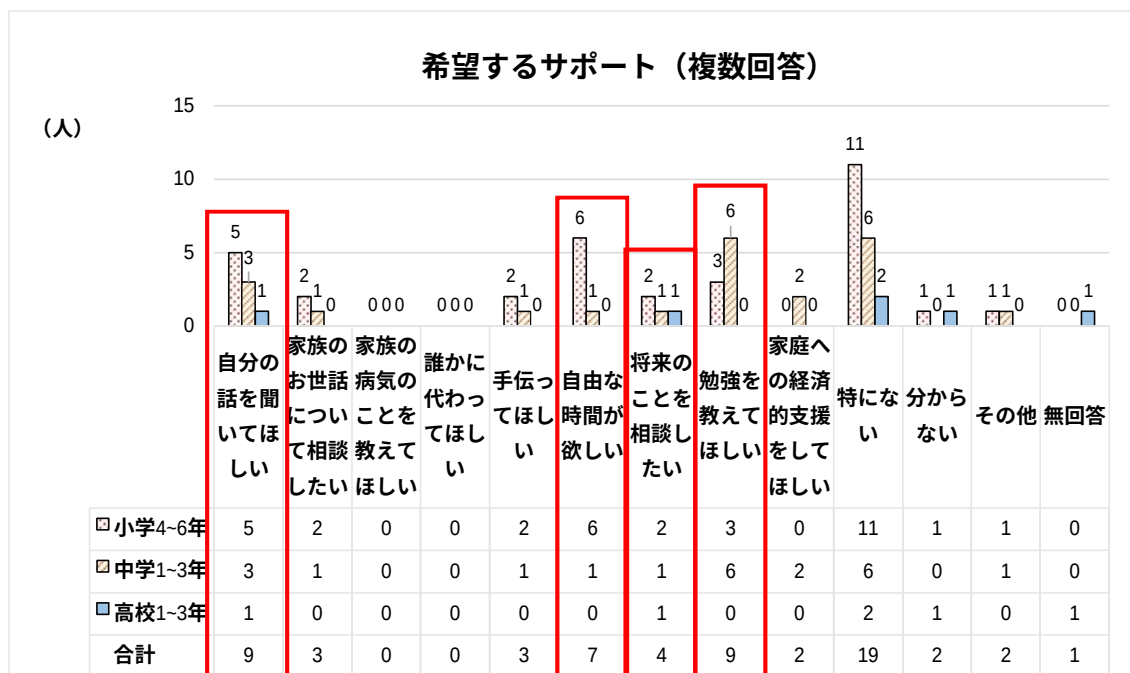
◆ヤングケアラーに該当するか

「ヤングケアラーに該当するか」に関し回答を求めたところ、あてはまると回答した子どもたちが小学 4～6 年で 23 人（16.7%）、中学 1～3 年で 16 人（15.1%）高校 1～3 年で 6 人（40.0%）となった。



◆希望するサポート

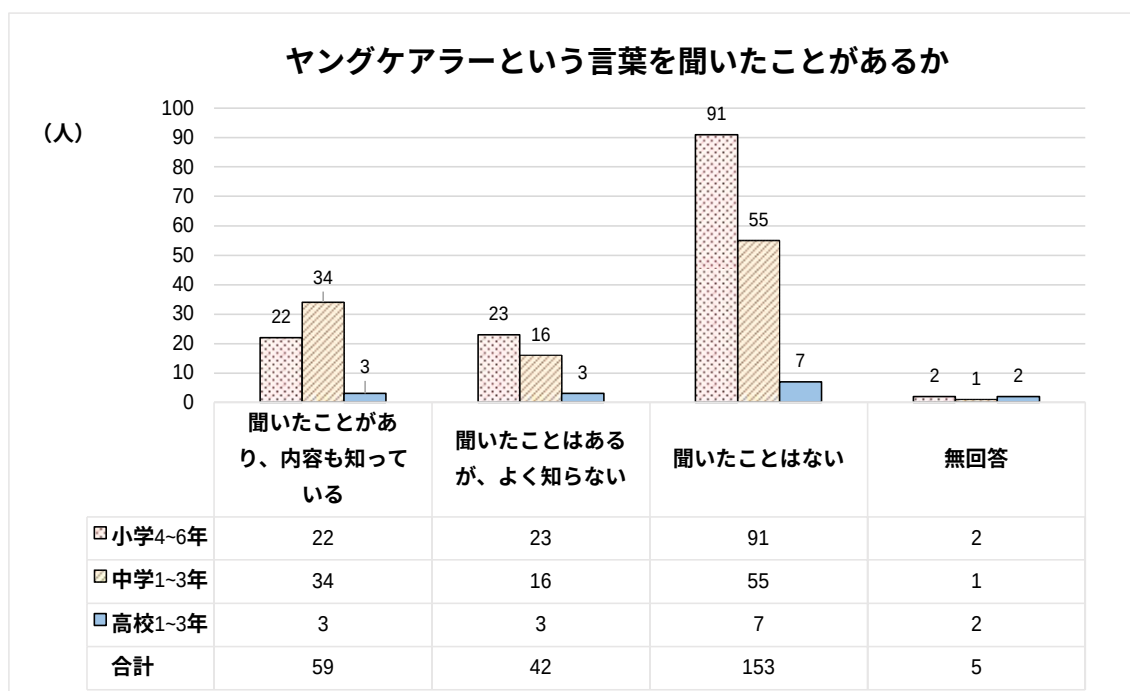
自分自身がヤングケアラーにあてはまると回答した45人（小学4～6年・23人、中学1～3年・16人、高校1～3年・6人）に希望するサポートについて複数回答を求めたところ、「特にない」が19人（42.2%）と最も多かったものの、「自分の話を聞いてほしい」、「勉強を教えてほしい」、「将来のことを相談したい」という回答もみられた。また、小学生では「自由な時間が欲しい」という回答も多くなっている。



(1) - 10 ヤングケアラーという言葉を知っているか

「ヤングケアラーという言葉を知っているか」に関し、家庭内でケアが必要な人がいると回答した259人に回答を求めたところ、「聞いたことがない」という回答が小学生、中学生、高校生の合計で153人(59.0%)と最も多かった。

また、ヤングケアラーという言葉を知っている「聞いたことがあり、内容も知っている」と回答した子どもたちは、小学生が22人(15.9%)、中学生が34人(32.1%)、高校生が3人(20.0%)とヤングケアラーに対する認知度は中学生が最も高かった。



(2) 家庭内でのケアの有無による生活への影響について

生活の状況や学校での状況に関する回答について、家庭内でケアを行っている人とケアを行っていない人の比較を行い、ケアの有無による影響の分析を行った。

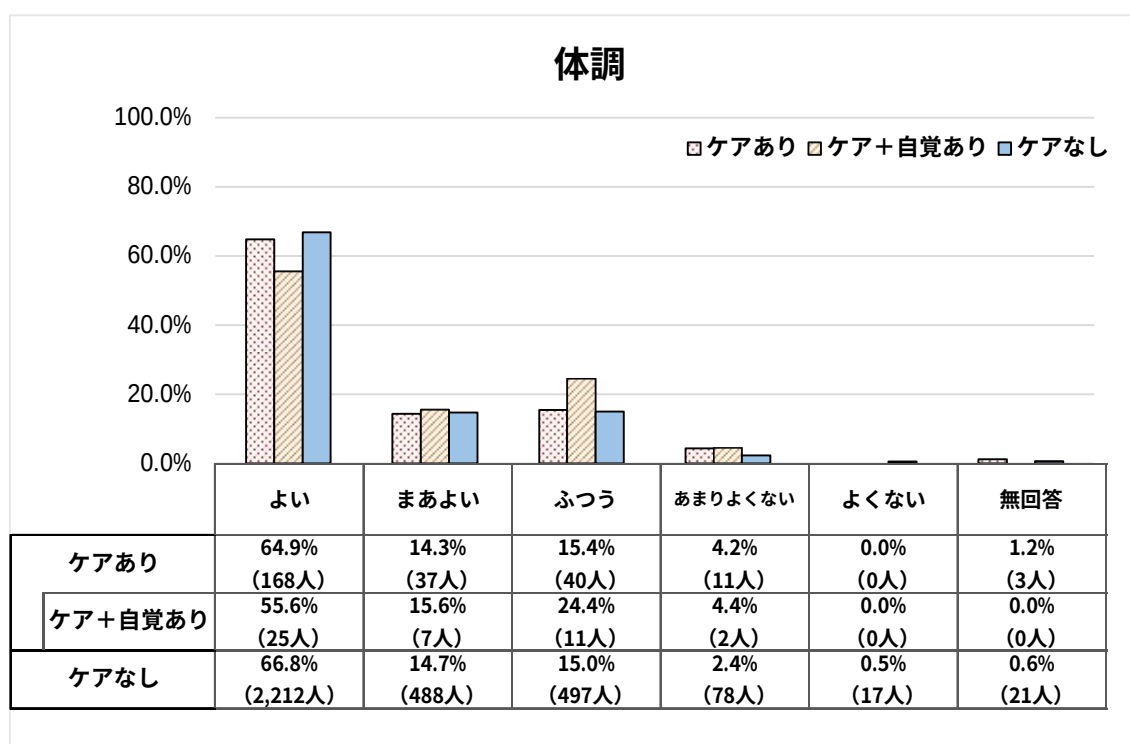
さらに、ケアを行っている人のうちヤングケアラーの自覚がある人を抽出した分析も行った。

※ヤングケアラーの自覚がある人の人数は、ケアを行っている人の内数としている。

(2) - 1 本人の体調について

小学生、中学生、高校生の回答者 3,572 人の体調の状況について、ケアの有無による関係性を考察した。

現在の体調に関し、「よい」、「まあよい」、「ふつう」と回答した割合は、家庭内でケアが必要な人がいる場合（245 人・94.6%）といない場合（3,197 人・96.5%）でほとんど差はなく、ケアの有無による影響は小さいものと考えられる。ただし、「あまりよくない」と回答した割合は、家庭内でケアが必要な人がいる場合（11 人・4.2%）のほうがない場合（78 人・2.4%）の 1.8 倍となっており、子どもたちの体調に何らかの影響を及ぼした可能性が考えられる。



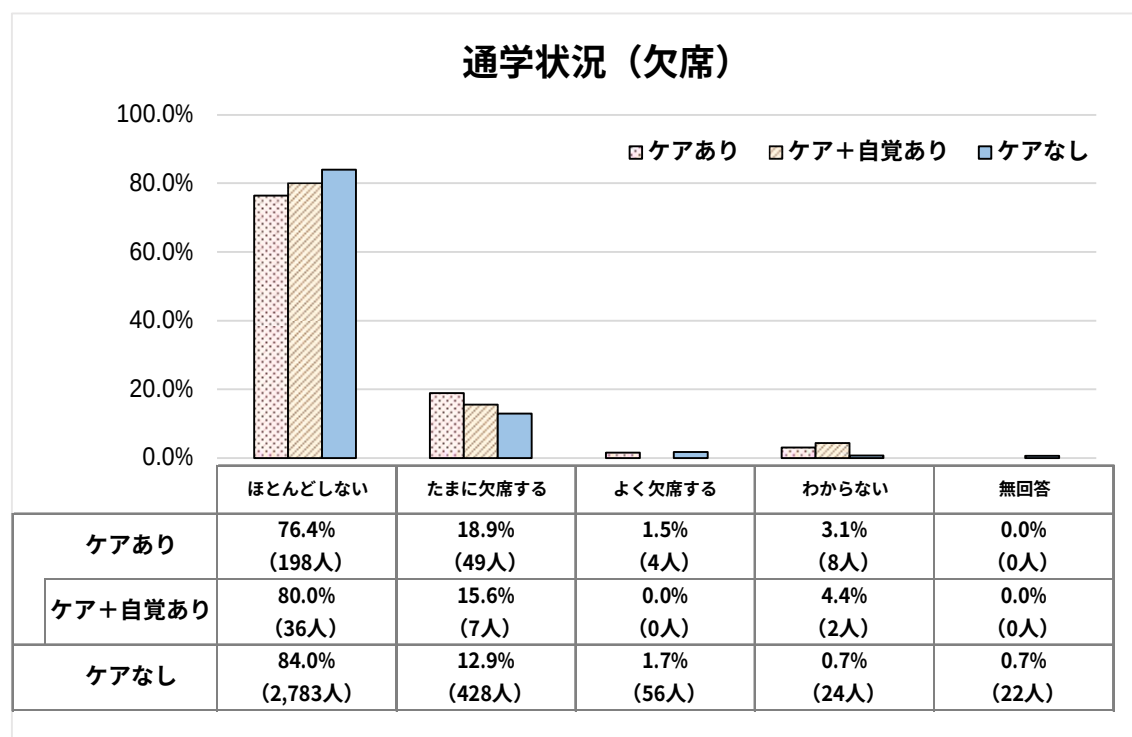
（２）－２ 通学状況について

小学生、中学生、高校生の回答者 3,572 人の学校の通学状況について、ケアの有無による関係性を考察した。

◆学校の欠席の状況

学校を「ほとんど欠席しない」と回答した割合は、家庭内でケアが必要な人がいる場合（198 人・76.4％）のほうがいない場合（2,783 人・84.0％）よりも 7.6 ポイント低くなっている。また、学校を「たまに欠席する」と回答した割合は家庭内でケアが必要な人がいる場合（49 人・18.9％）のほうがいない場合（428 人・12.9％）よりも 6.0 ポイント高くなっている。

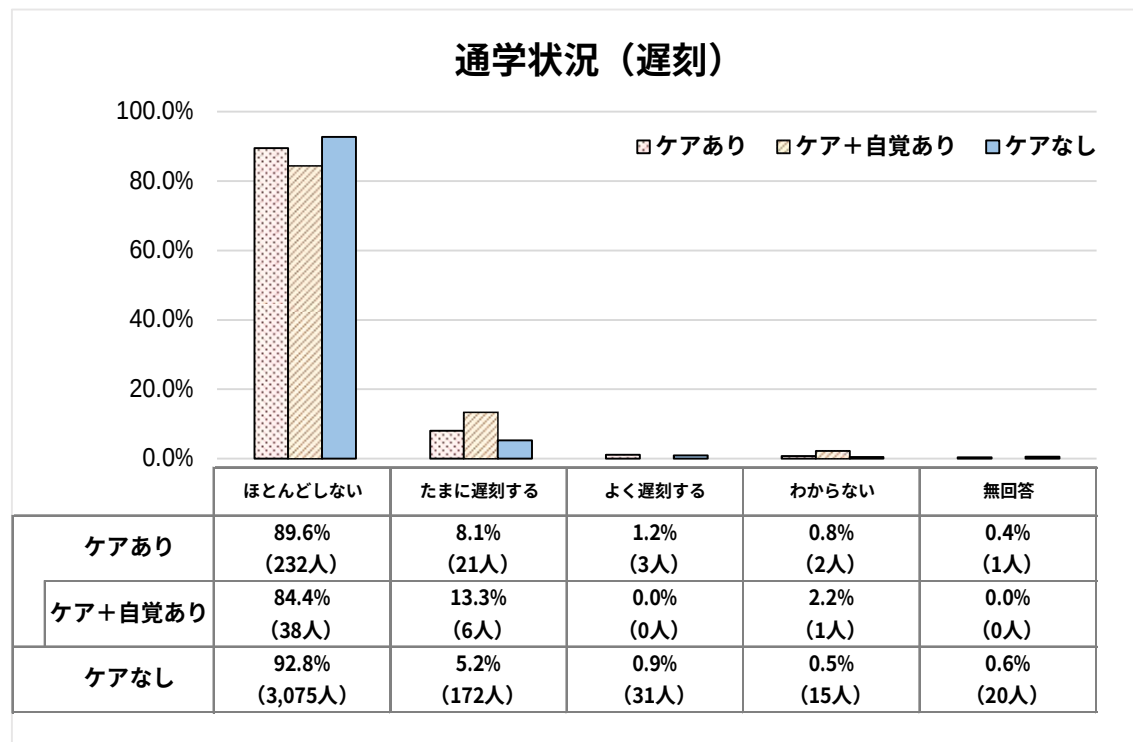
このようなことから、ケアの有無が小学生、中学生、高校生の学校の欠席に何らかの影響を及ぼした可能性が考えられる。



◆学校の遅刻の状況

遅刻を「ほとんどしない」と回答した割合は、家庭内でケアが必要な人がいる場合（232人・89.6%）のほうがない場合（3,075人・92.8%）よりも3.2ポイント低くなっている。

また、「たまに遅刻する」、「よく遅刻する」と回答した割合も家庭内でケアが必要な人がいる場合のほうが高いことを考えると、小学生、中学生、高校生の遅刻に何らかの影響を及ぼした可能性が考えられる。

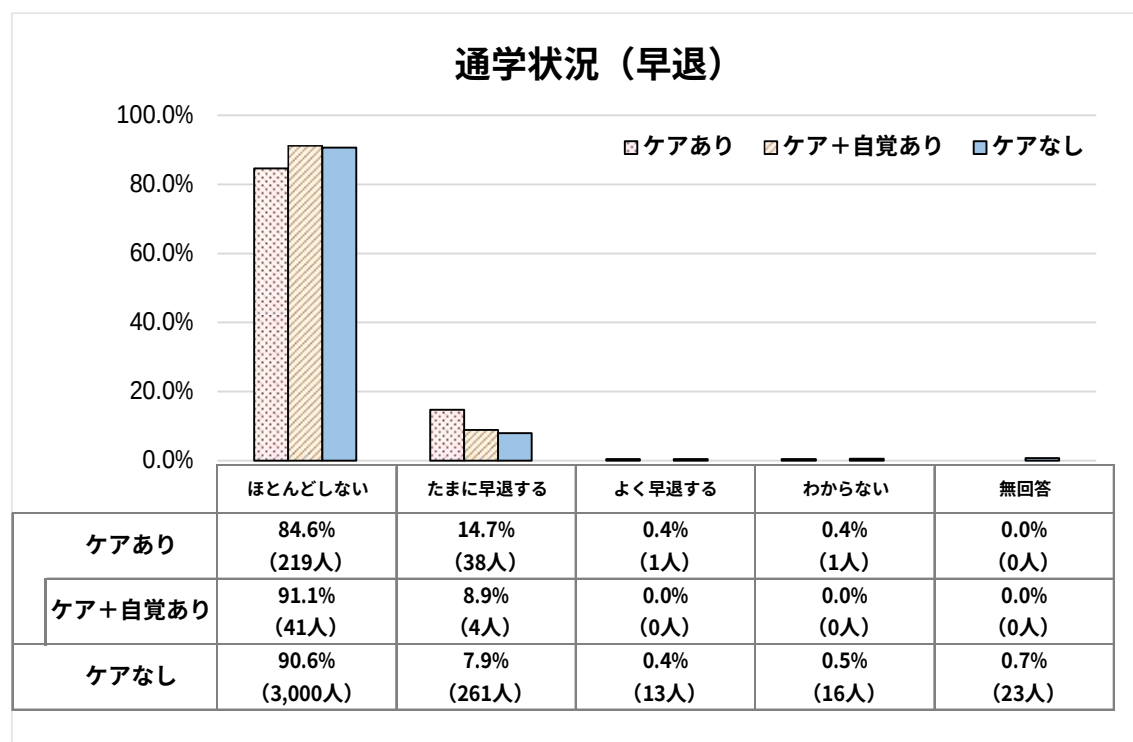


◆学校の早退の状況

早退を「ほとんどしない」と回答した割合は、家庭内でケアが必要な人がいる場合（219 人・84.6％）のほうがいない場合（3,000 人・90.6％）よりも 6.0 ポイント低くなっている。

また、「たまに早退する」と回答した割合は、家庭内でケアが必要な人がいる場合（38 人・14.7％）のほうがいない場合（261 人・7.9％）よりも 6.8 ポイント高くなっている。

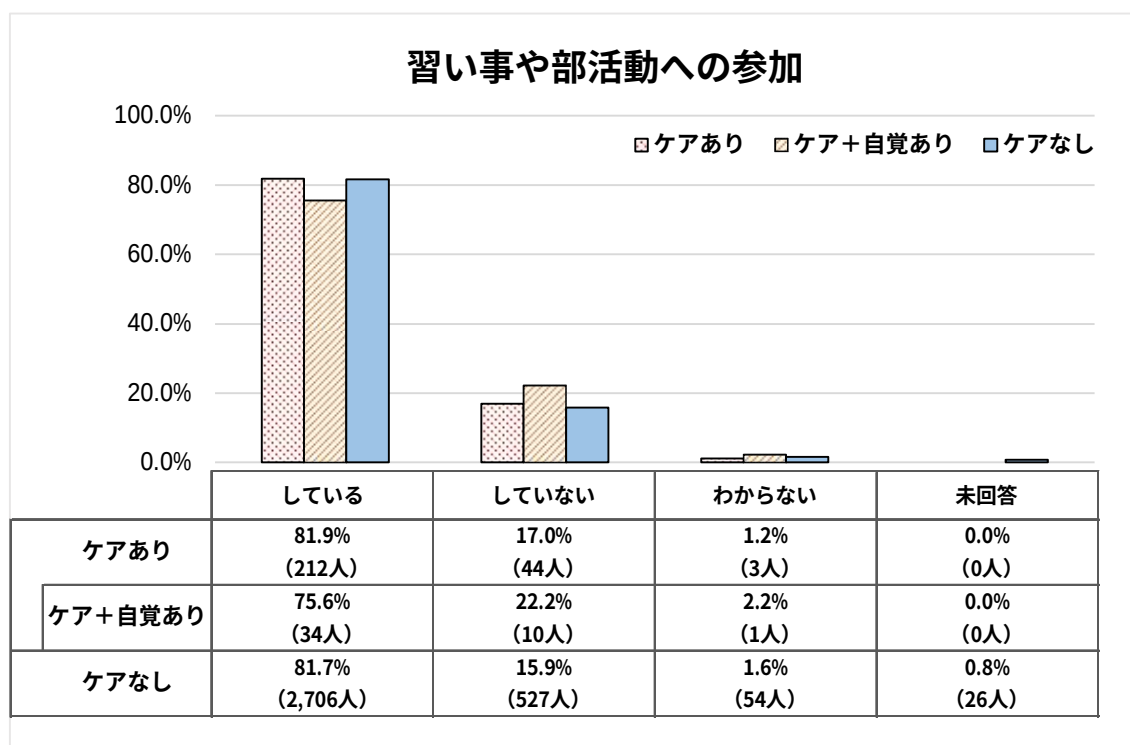
このようなことからケアの有無が小学生、中学生、高校生の学校の早退に何らかの影響を及ぼした可能性が考えられる。



(2)－3 習い事や部活動への参加

小学生、中学生、高校生の回答者 3,572 人の習い事や部活動の状況について、ケアの有無による関係性を考察した。

習い事や部活動を「している」と回答した割合は、家庭内でケアが必要な人がいる場合（212 人・81.9%）といない場合（2,706 人・81.7%）でほとんど差はなく、ケアが必要な人の有無による影響は小さいものと考えられる。習い事や部活動を「していない」と回答した割合は家庭内でケアが必要な人がいる場合（44 人・17.0%）のほうがいない場合（527 人・15.9%）よりも 1.1 ポイント高くなっている。



(2) - 4 ふだんの学校生活であてはまるもの

小学生、中学生、高校生の回答者 3,572 人のふだんの学校生活の状況について、家庭内でケアが必要な人の有無による関係性を考察した。

① あてはまるものが「特にない」と回答した割合が最も多く、家庭内でケアが必要な人がいる場合（131 人・50.6%）といない場合（1,880 人・56.7%）とも半数以上を占めている。

② ・「忘れ物が多い」（ケアが必要な人がいる場合（60 人・23.2%）、いない場合（642 人・19.4%））

・「授業に集中できない」（ケアが必要な人がいる場合（51 人・19.7%）、いない場合（509 人・15.4%））

・「提出物が遅れる」（ケアが必要な人がいる場合（45 人・17.4%）、いない場合（533 人・16.1%））

・「宿題や課題ができない」（ケアが必要な人がいる場合（30 人・11.6%）、いない場合（298 人・9.0%））

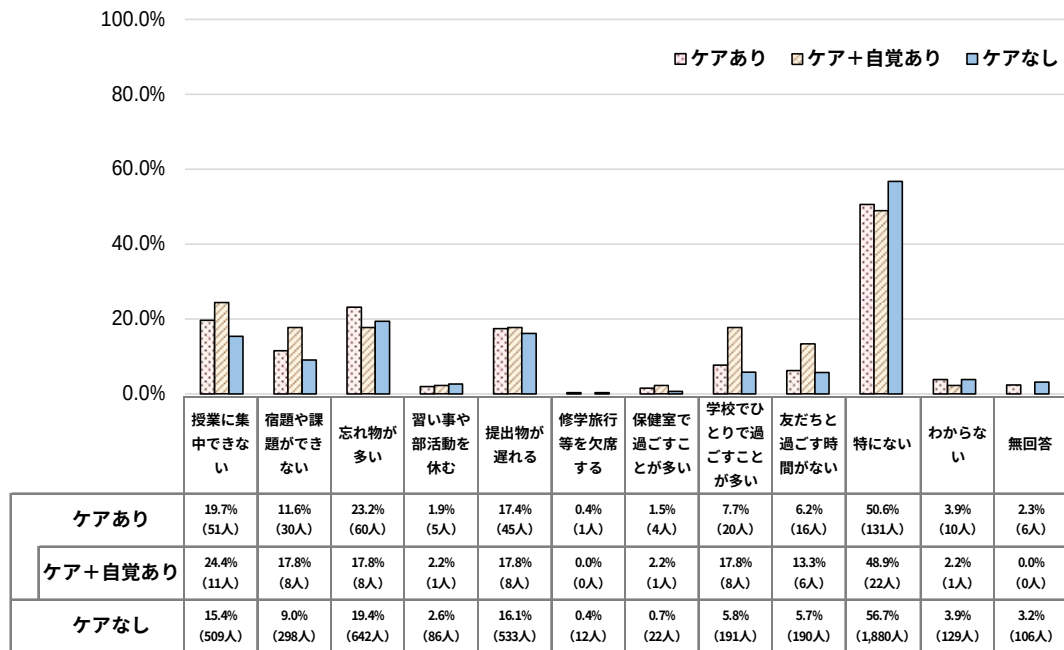
といった項目への回答が多かった。

③ ・「学校でひとりで過ごすことが多い」（ケアが必要な人がいる場合（20 人・7.7%）、いない場合（191 人・5.8%））

・「友だちと過ごす時間が少ない」（ケアが必要な人がいる場合（16 人・6.2%）、いない場合（190 人・5.7%））

に関してはケアの有無が小学生、中学生、高校生の学校生活に何らかの影響を及ぼした可能性が考えられる。

ふだんの学校生活であてはまるもの（複数回答）



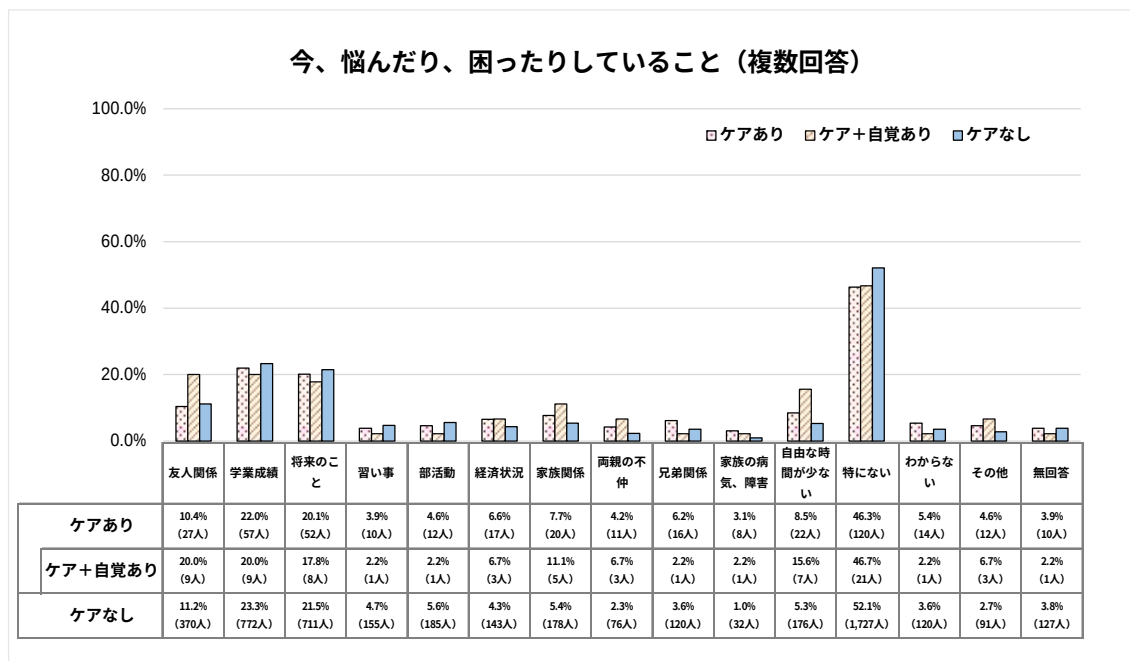
（２）－５ 今、悩んだり、困ったりしていること

小学生、中学生、高校生の回答者 3,572 人の悩み事や困り事の状況について、ケアの有無による関係性を考察した。

今、悩んだり、困ったりしていることが「特にない」と回答した割合は、家庭内でケアが必要な人がいる場合（120 人・46.3%）とない場合（1,727 人・52.1%）とも半数程度となっている。

悩み事や困り事としては、

- ・「学業成績」（ケアが必要な人がいる場合（57 人・22.0%）いない場合（772 人・23.3%））
 - ・「将来のこと」（ケアが必要な人がいる場合（52 人・20.1%）いない場合（711 人・21.5%））
 - ・「友人関係」（ケアが必要な人がいる場合（27 人・10.4%）いない場合（370 人・11.2%））
- といった項目への回答が多かった。

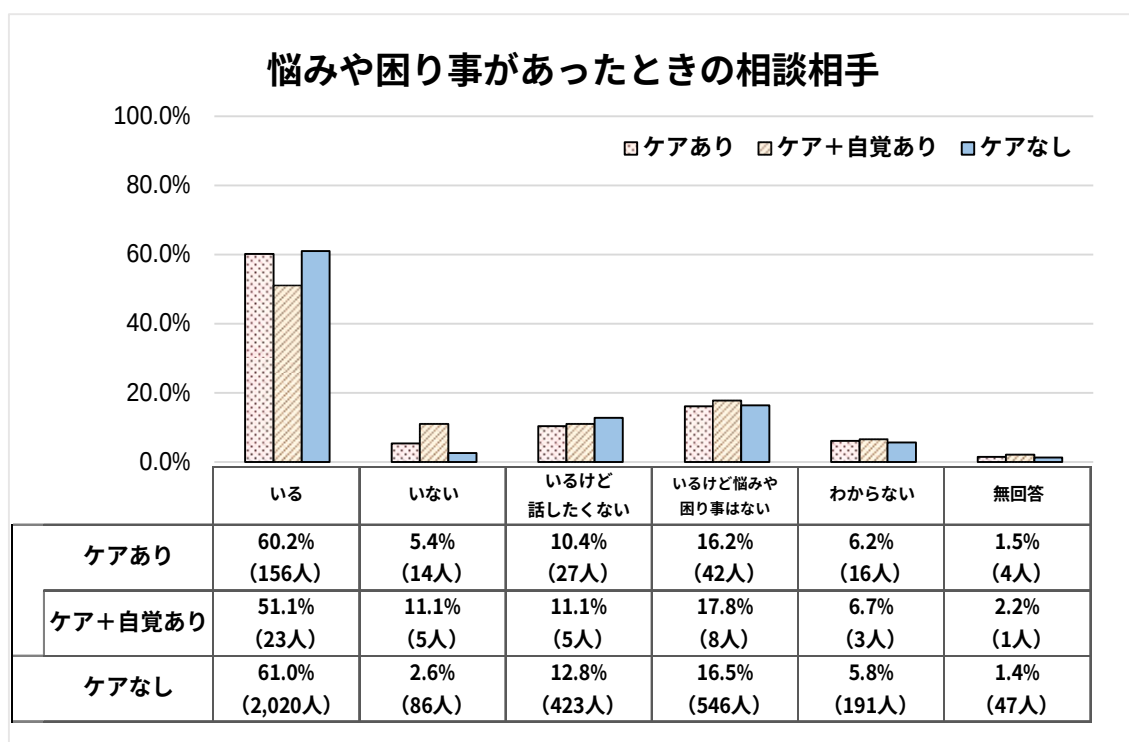


（２）－ ６ 悩みや困り事があったときの相談相手の有無

小学生、中学生、高校生の回答者 3,572 人の悩みや困り事があったときに近くで話を聞いてくれる相談相手の状況について、家庭内でケアが必要な人の有無による関係性を考察した。

相談相手が「いる」と回答した割合が最も多く、家庭内でケアが必要な人がいる場合（156 人・60.2%）といない場合（2,020 人・61.0%）とも 6 割以上となっている。

相談相手が「いない」と回答した割合は、家庭内でケアが必要な人がいる場合（14 人・5.4%）のほうがいない場合（86 人・2.6%）よりも 2.8 ポイント高くなっており、ケアの有無が小学生、中学生、高校生の相談相手の有無に何らかの影響を及ぼした可能性が考えられる。



(3) 自由意見について（一部抜粋）

（アンケートの感想）

小学生

- ・「ヤングケアラー」という子ども達がいるということを初めて知り、その子ども達は、一生けん命がんばっていてその子ども達を応援したい気持ちがあります。私はこの「ヤングケアラー」についてたくさん調べたいです。
- ・ヤングケアラーのことは、テレビなどで知っていたのですが、具体的な内容は知らなかったので知れて良かったです。
- ・悩み事があったらすぐに相談することが大切ということがわかりました。
- ・寄り添ってくれてる気がして嬉しい。

中高生

- ・ヤングケアラーという言葉は聞いたことはあったけど、言葉の意味や、詳しい内容等は知らなかったので知れてよかったです。これを機会に、ヤングケアラーについて考えてみたいと思いました。
- ・ヤングケアラーはよく街でポスターとしてみかけることがあります。さいきんやとひろまってきたかんじなのでもっとみんなに知ってもらって早急に対応すべきだと思いました。
- ・ヤングケアラーはすごく悪いことじゃないとわかった。自分はヤングケアラーを悪いイメージだと思っていた。
- ・幼いながらに日頃から大人と同じかそれ以上の苦勞を押し付けられている子どもたちがいることがとても悲しいことだと思いました。
- ・ヤングケアラーという言葉は聞いたことがあったけど、どんな人のことを言うのかは知らなかったので今回のアンケートでしれて良かったです。

（ケアの相談について）

小学生

- ・私は好き(善意)で、身の回りの家事をやっています。ですが、ときどきイライラしてしまったり、気持ちが重くなったり、頭が痛くなることはあります。

中高生

- ・気軽に学校で話せる内容ではないと思うし、かなり親しい仲の人でないと話せないと思うので、もし周りにも気づけないのが心配。気づいてもどう接するのが正解か分からない。変に気にかけても逆効果かもしれない…
- ・認知症の人が同じ話を何回かする時、その話を知っている体で聞いていいのか知らないふりをして聞いたほうがいいのかどうかを教えてください。
- ・うちは親が障害のある兄弟の面倒を見てくれていますが、自分達でもできることがあるのではないかと思います。

(悩みごと)

小学生

- ・いとも含まれるのかなと思いました。
- ・兄が母に悪口を言うようになり、困っている。なので、父が帰ってくるのが待ち遠しいです。
- ・お父さんが機嫌が悪い時、家族にあたって怖いです。怒っている時は、家族の雰囲気グサグサになります。
- ・自分の心があまり良くないと気づいた。最近、保健室に行くことが多い。あまり相談できていないのでモヤモヤしている。
- ・友達に不登校の子がいて、私の友達です。私は、悩みはあまりありませんが、その友達は、こういうことで悩んでいるのだろうか…と思った。
- ・友達が学校に来なくて寂しい早く来てほしいです。
- ・自分に障害があり、学校での支援が足りないと思う。支援の先生が少ないから、いつも我慢しないといけない。

中高生

- ・私は、介護してると思ってません。毎日、介護がほとんど必要でないからかもですが家族と愚痴も不満もお互い言い合って、喧嘩もします。私の出来ないこと、わからないことは、やってくれるし、困っているときは、自分の体調が悪くても解決を見つけるまで、考えたり協力してくれているので、私も助けてあげるの嫌ではないです。薬の管理と足のケアをしています。
- ・自分は悩みや困りごとを溜め込みやすい人だなと思いました。
- ・ヤングケアラーという言葉を知りました。わたしは家族7人います。楽しいですが両親は共働きで時々子供たちに強い口調で言われるのでつらい時があります。学校は友達と話せるのが楽しいです。

(自治体への要望)

小学生

- ・前に NHK でひきこもり先生というドラマを見て、そのステップルームみたいなクラスがどの学校にもあるといいと思いました。

中高生

- ・ヤングケアラーの人の中には親や兄弟のお世話で学校に通えなくなってしまう人もいます。そのような人たちにもしっかりと学習が受けられるような制度を設けてほしいなと思います。
- ・ヤングケアラーの人たちを助けてあげられる制度を作ってあげてください！
- ・自分がヤングケアラーという自覚がない人もいますので心のケアをしてあげてほしい。
- ・子どもたちに地域包括支援センター、社会福祉協議会を見学する機会を与えてあげてほしい。

～資料編～

III 対象者全体の調査結果

1 回答者内訳

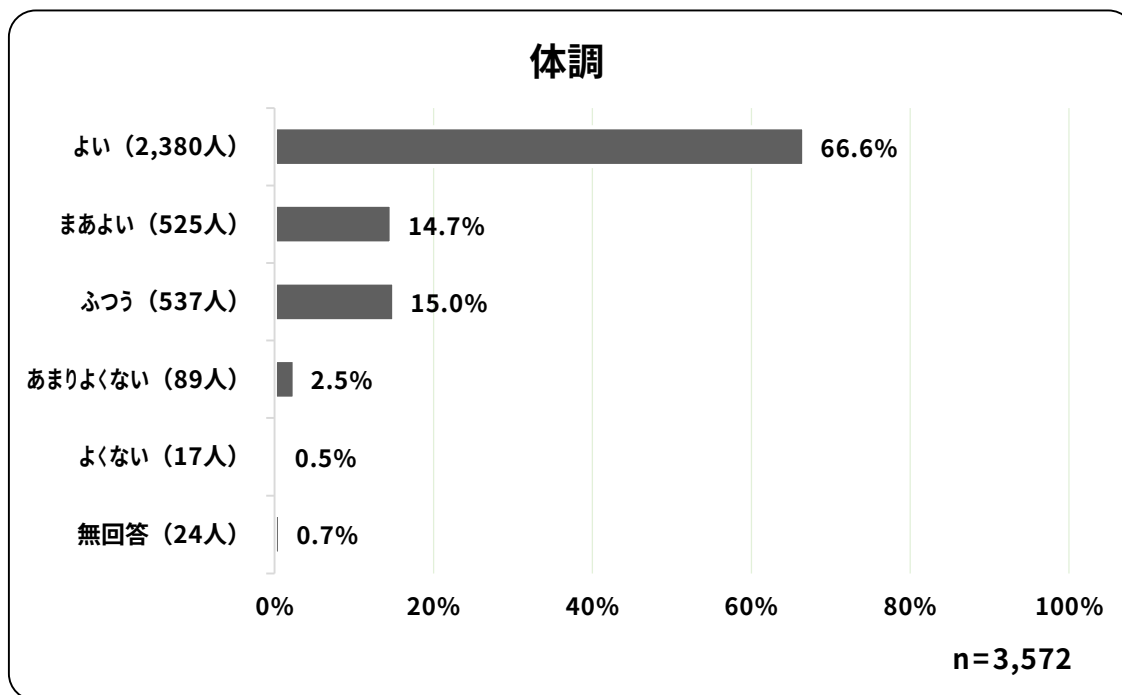
		男子	女子	無回答	合計
小学生	4年生	301	309	12	622
	5年生	290	291	18	599
	6年生	262	253	10	525
	学年不明	6	4	3	13
	小計	859	857	43	1,759
中学生	1年生	279	306	13	598
	2年生	237	277	21	535
	3年生	276	262	24	562
	学年不明	2	1	1	4
	小計	794	846	59	1,699
高校生	1年生	11	22	0	33
	2年生	20	30	3	53
	3年生	11	17	0	28
	小計	42	69	3	114
合計		1,695	1,772	105	3,572

※性別未記入は「無回答」に合算した。

2 子どもの日常生活について

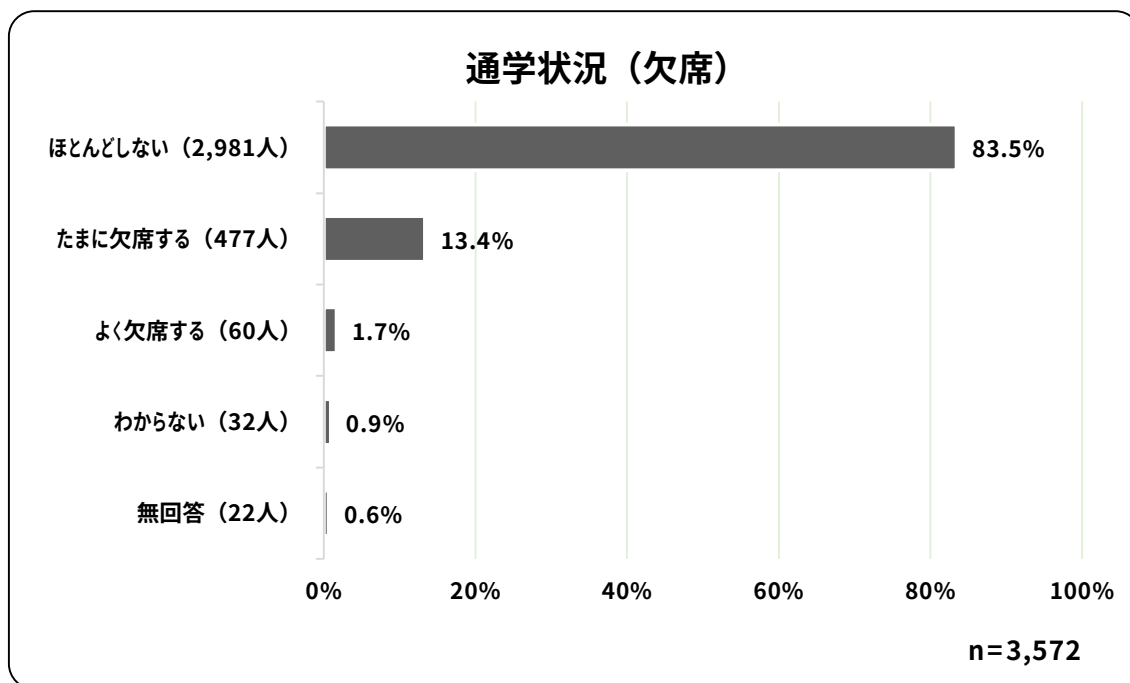
(1) 子どもの体調について

「よい」、「まあよい」とする回答が多く、80%を超えている。「あまりよくない」、「よくない」とする回答は合わせて106人（3.0%）であった。

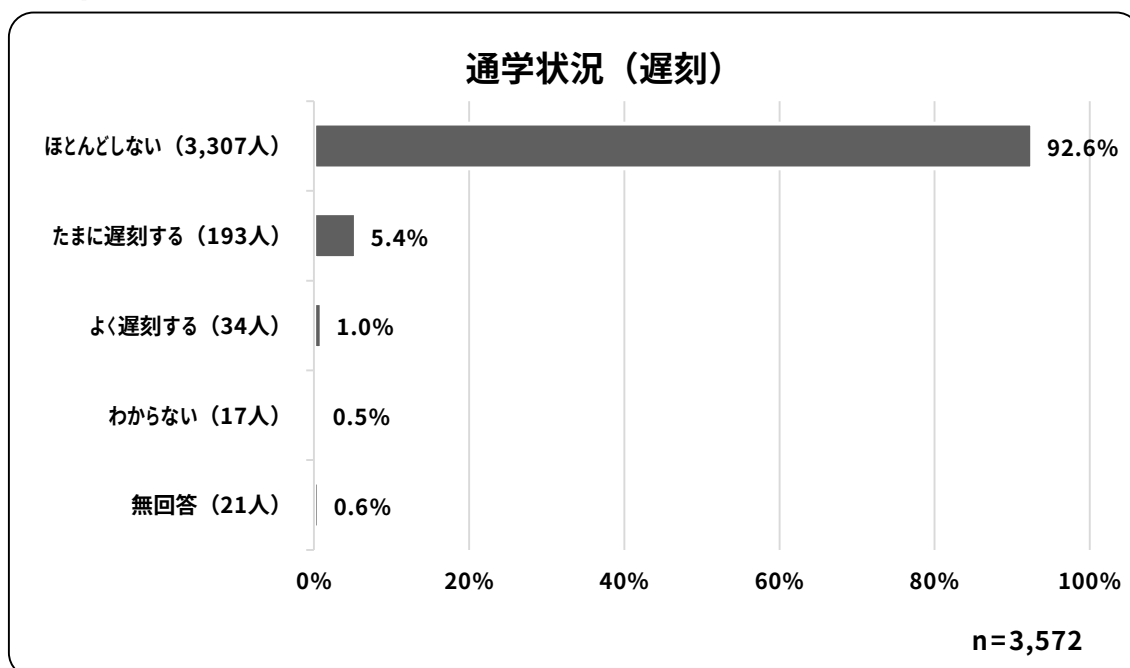


(2) 子どもの学校生活について

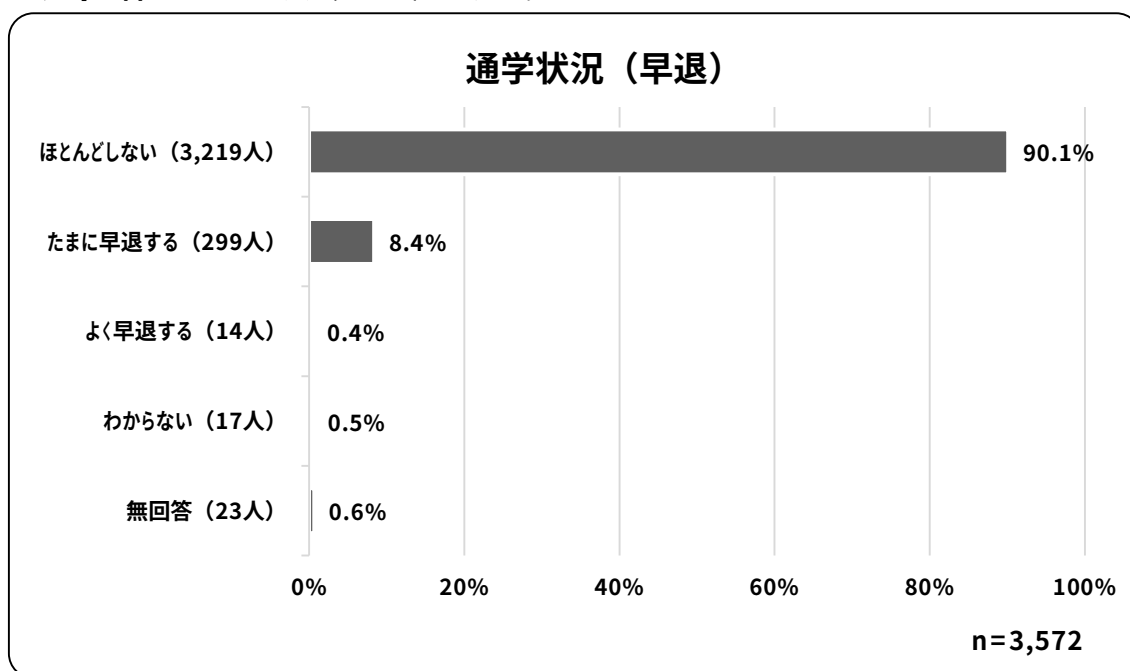
- ① 通学状況（欠席）については「ほとんどしない」が 80%を超えており、「たまに欠席する」、「よく欠席する」は合わせて 537 人（15.0%）であった。



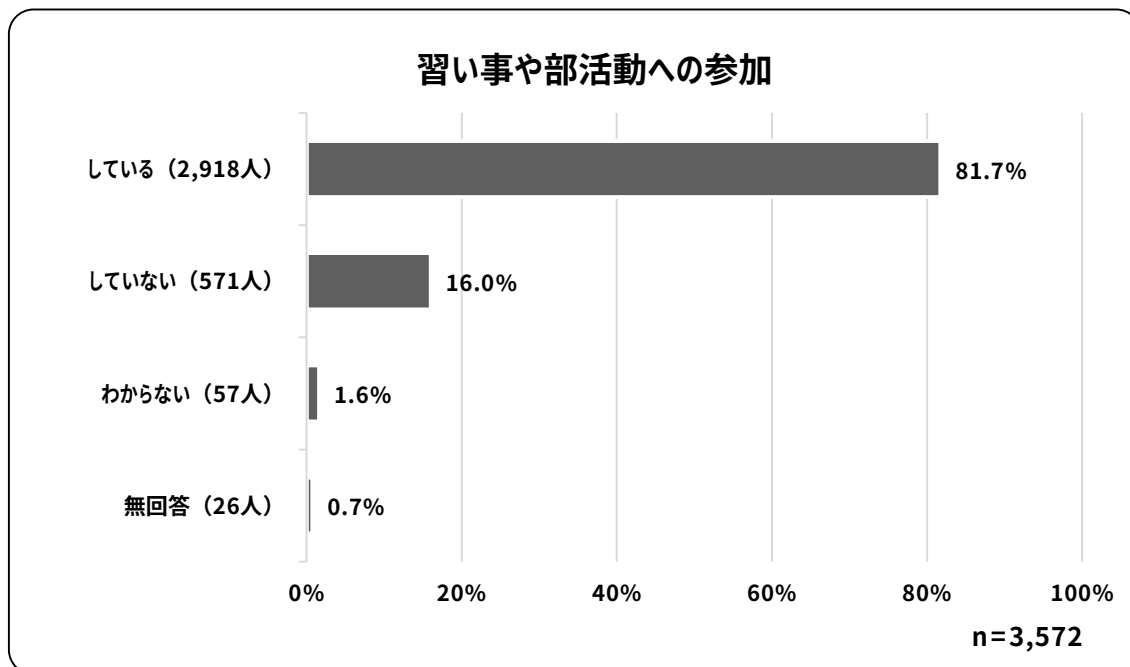
- ② 通学状況（遅刻）については「ほとんどしない」が 90%を超えており、「たまに遅刻する」、「よく遅刻する」は合わせて 227 人（6.4%）であった。



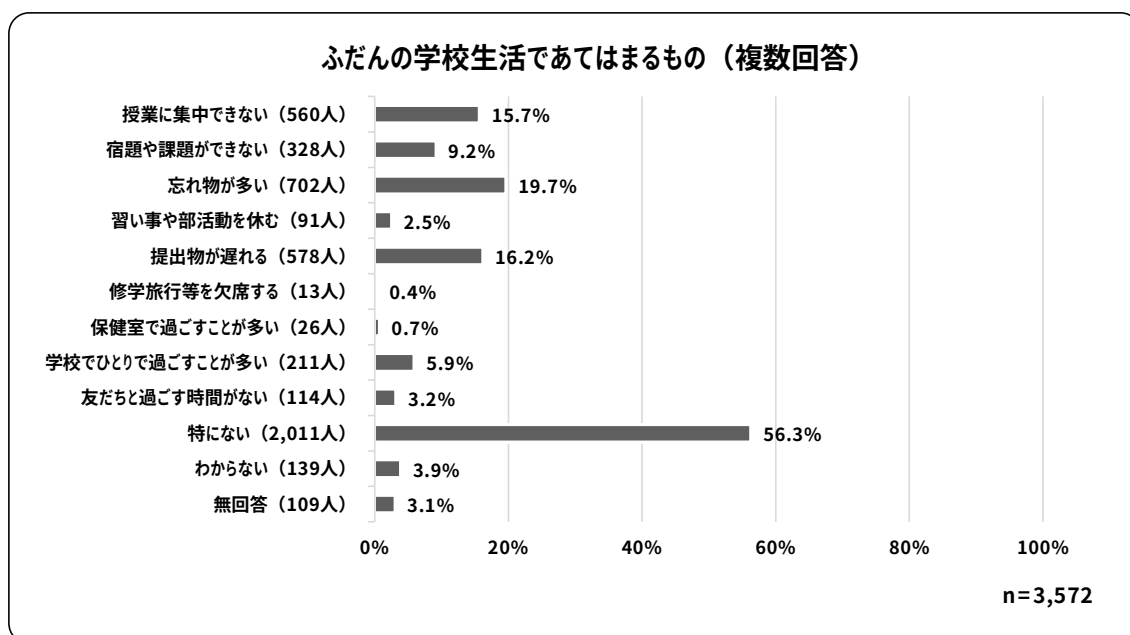
- ③ 通学状況（早退）については「ほとんどしない」が 90%を超えており、「たまに早退する」、「よく早退する」は合わせて 313 人（8.8%）であった。



- ④ 習い事や部活動への参加については「している」が 81.7%、「していない」が 16.0%であった。

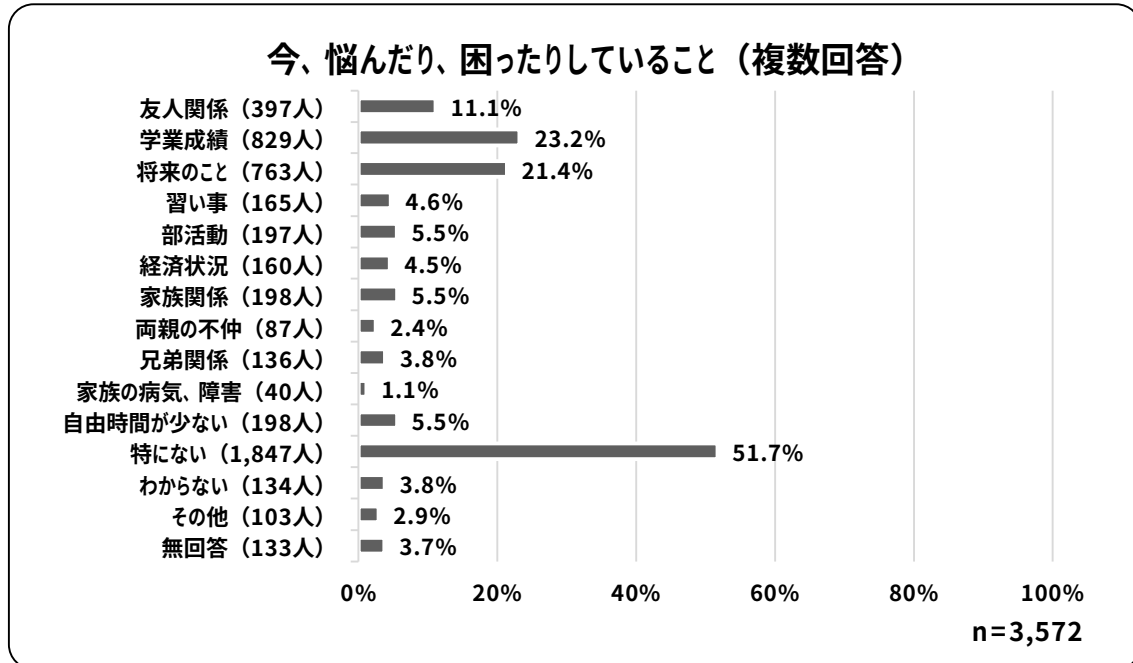


- ⑤ ふだんの学校生活であてはまるものについては「特にない」が56.3%で最も多く、続いて「忘れ物が多い」（19.7%）、「提出物が遅れる」（16.2%）であった。

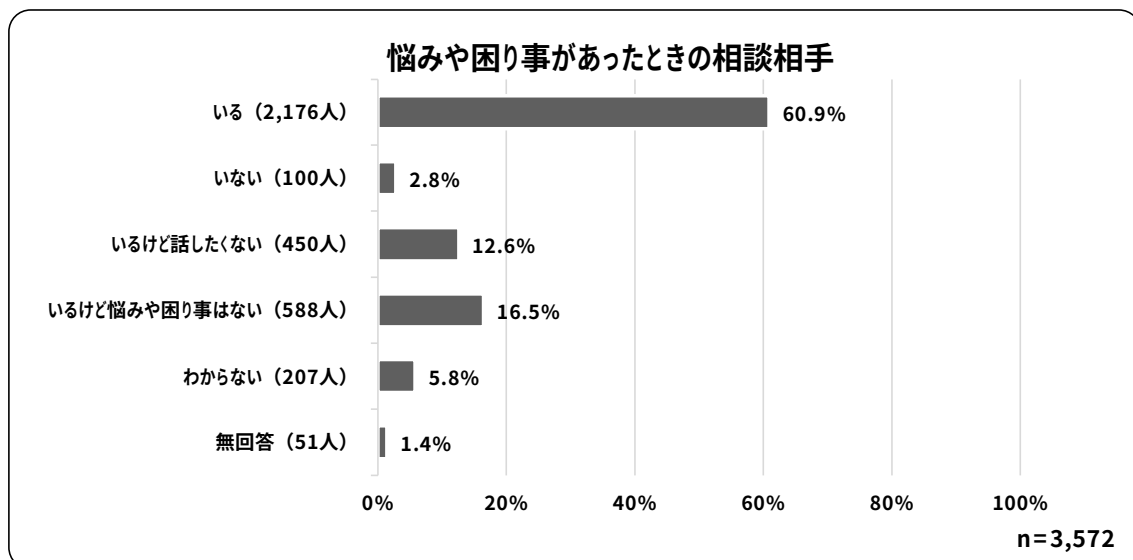


(3) 日常生活での悩み事について

- ① 今、悩んだり、困ったりしていることについては「特にない」が 51.7%で最も多く、続いて「学業成績」(23.2%)、「将来のこと」(21.4%)となった。



- ② 悩みや困り事があったときの相談相手については「いる」、「いるけど悩みや困り事はない」との回答が合わせて 77.4%。「いるけど話したくない」が 12.6%、「いない」が 2.8%となった。

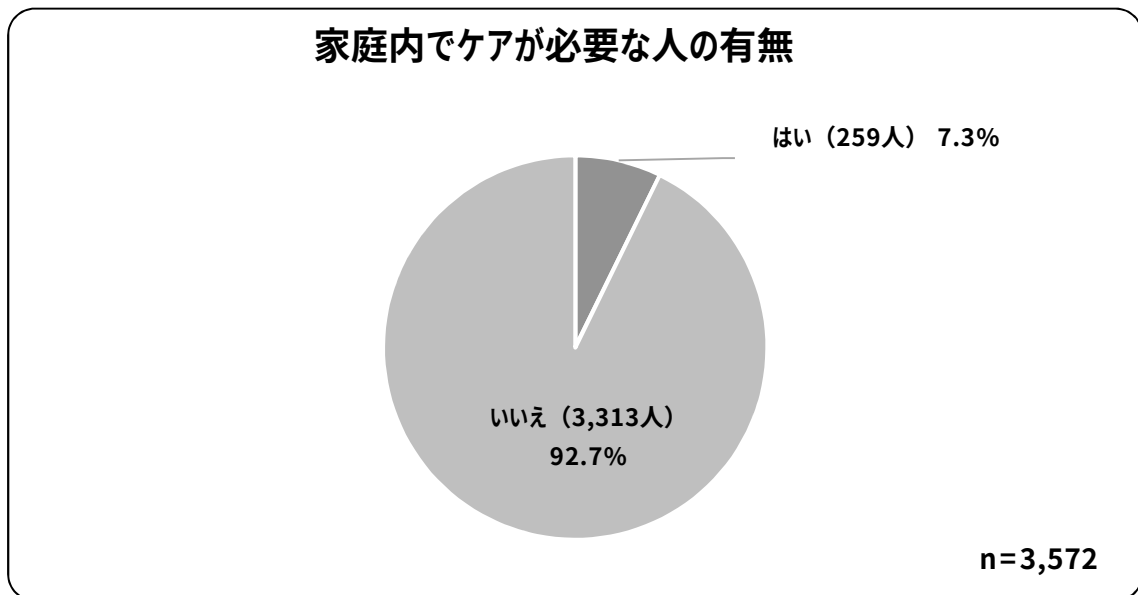


3 ケアが必要な家庭の実態について

(1) 子どもがケアを行っているかについて

① 家庭内でケアが必要な人の有無

家庭内でケアが必要な人がいるかとの問いに対し、回答者 3,572 人のうち、「はい」という回答が 259 人（7.3%）、「いいえ」という回答が 3,313 人（92.7%）だった。



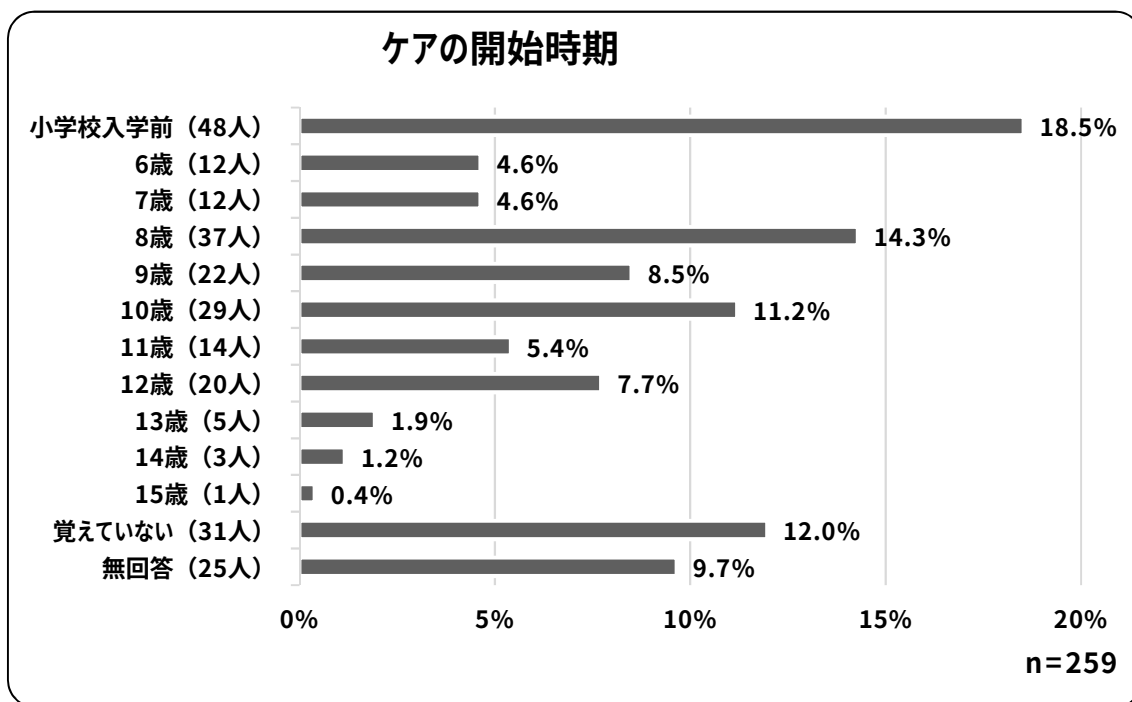
② ケアを行っている子どもの内訳

ケアを行っている子どもについて、男女差はほぼないという結果となった。

		男子	女子	無回答	合計
小学生	4年生	20	31	1	52
	5年生	27	25	2	54
	6年生	19	12	0	31
	学年不明	1	0	0	1
	小計	67	68	3	138
中学生	1年生	16	23	1	40
	2年生	9	17	3	29
	3年生	23	13	1	37
	小計	48	53	5	106
高校生	1年生	3	4	0	7
	2年生	4	1	1	6
	3年生	2	0	0	2
	小計	9	5	1	15
合計		124	126	9	259

(2) ケアの開始時期

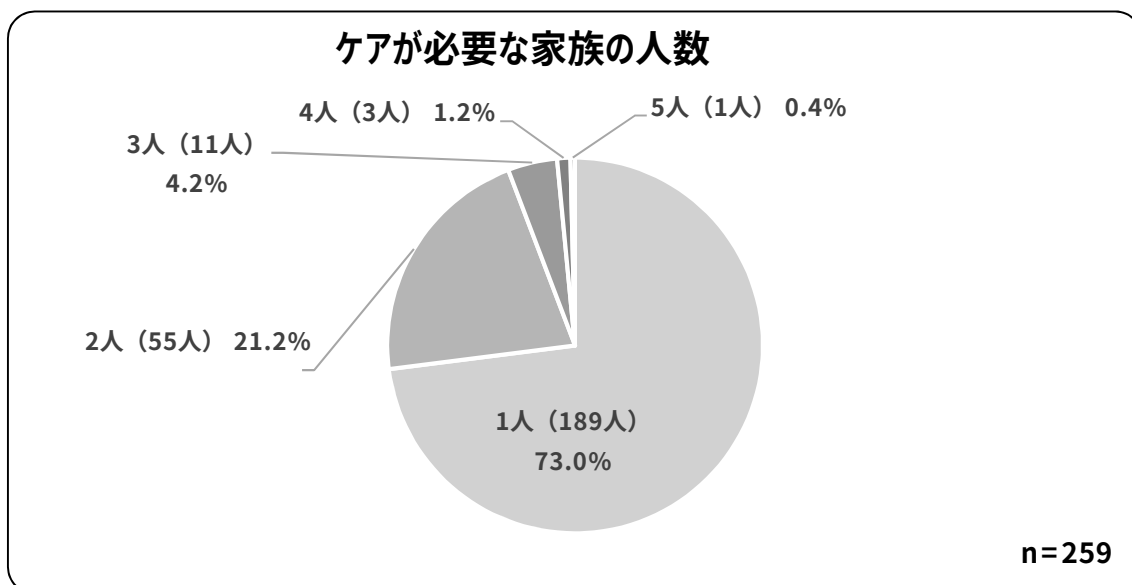
ケアを始めた年齢で回答が最も多かったのは、「小学校入学前」が最も多く、18.5%となっている。



4 ケアしている家族について

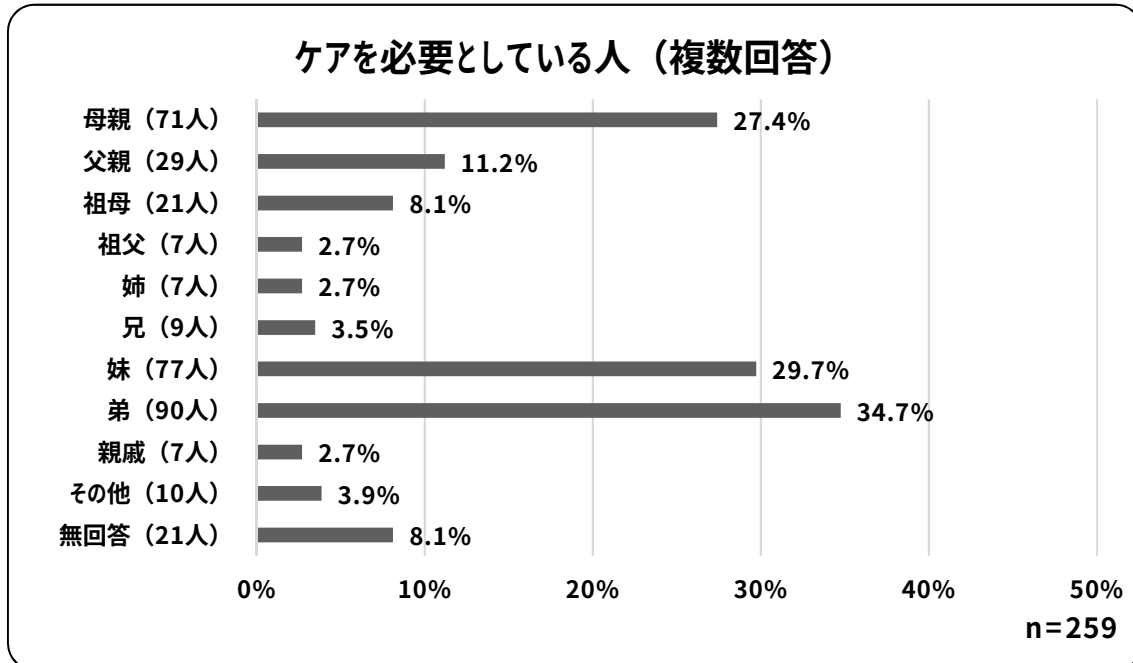
(1) ケアが必要な家族の人数

ケアが必要な家族について、「1人」という回答が259人のうち189人と、全体の73.0%を占めている。



(2) ケアを必要としている人

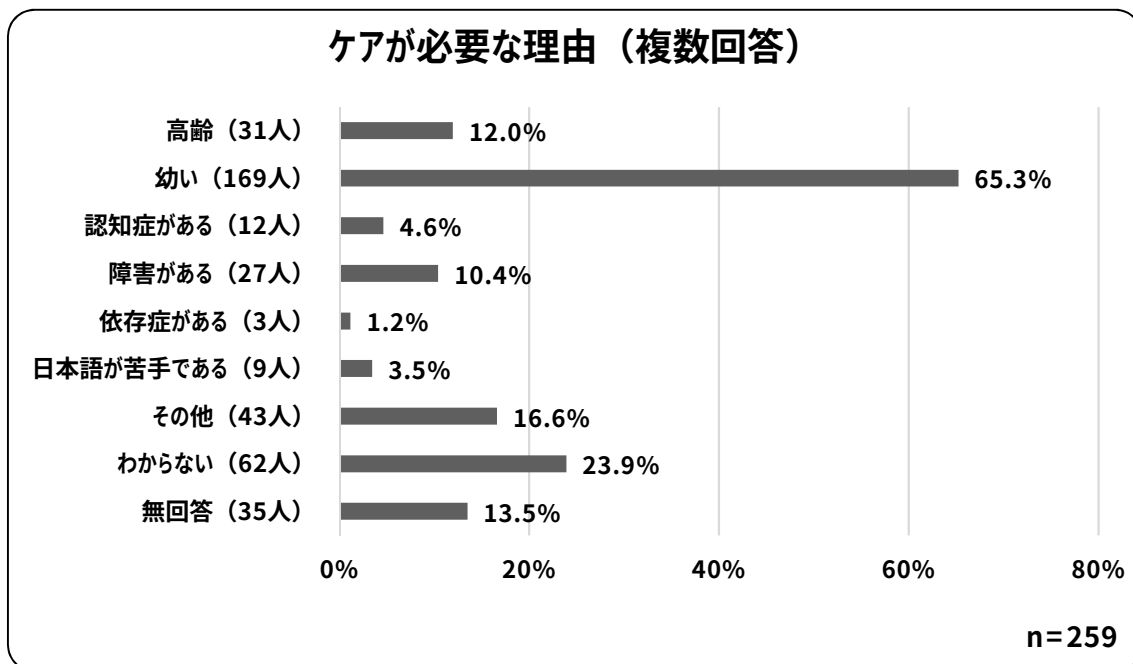
ケアを必要としている人は、妹や弟など年下のきょうだいが多い。また母親のケアをしているという回答も27.4%あった。



5 ケアの状況について

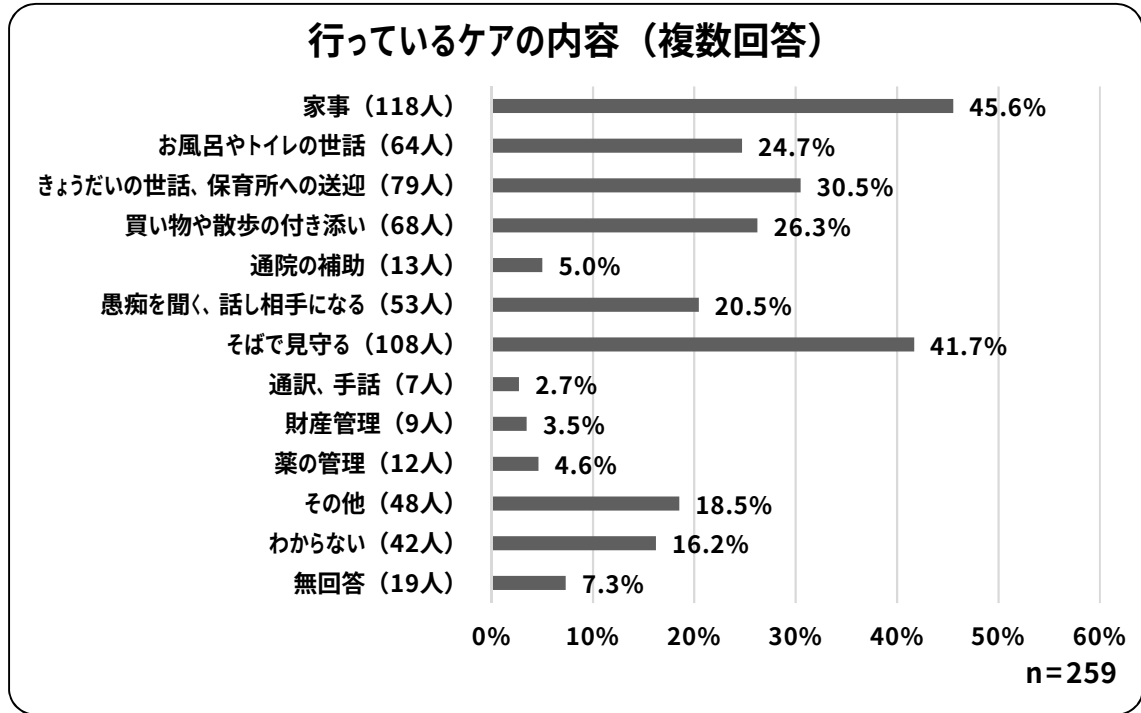
(1) ケアが必要な理由

ケアを必要としている人が年下のきょうだいである回答が多いことを受け、若いことを理由とする回答が最も多い。また、ケアが必要な理由がわからないという回答が次いで多い。



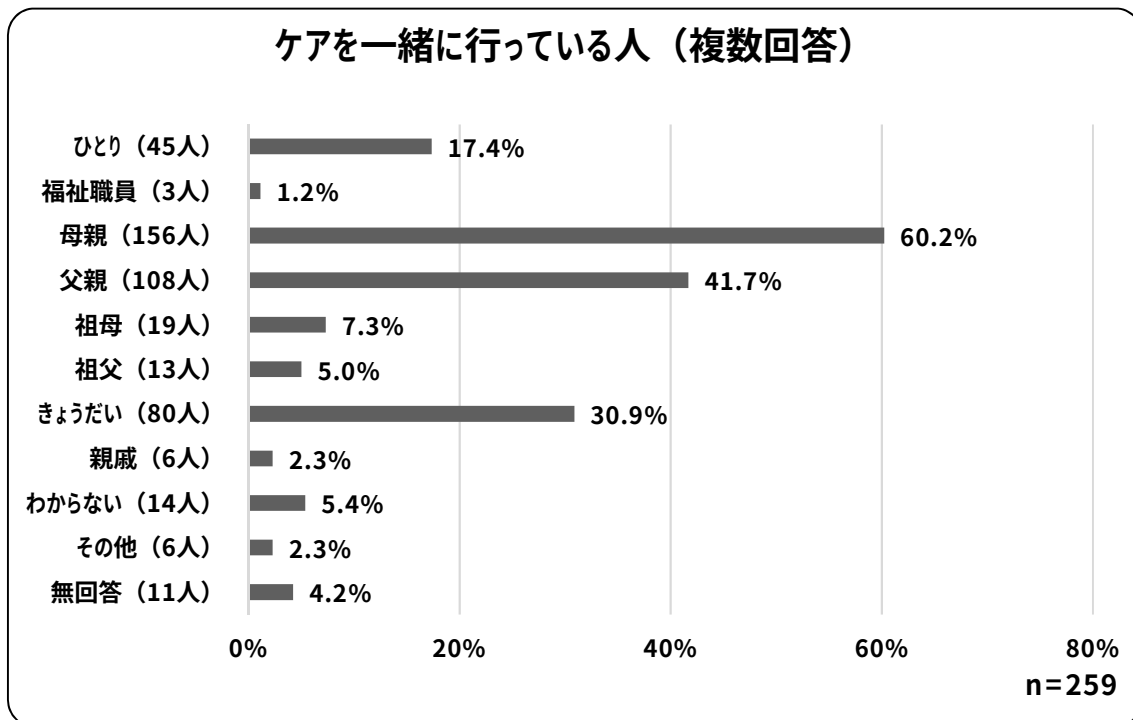
(2) 行っているケアの内容

「家事」という回答が最も多い。次いで「そばで見守る」、「きょうだいの世話、保育所への送迎」、「買い物や散歩の付き添い」の順となっている。



(3) ケアと一緒にいる人

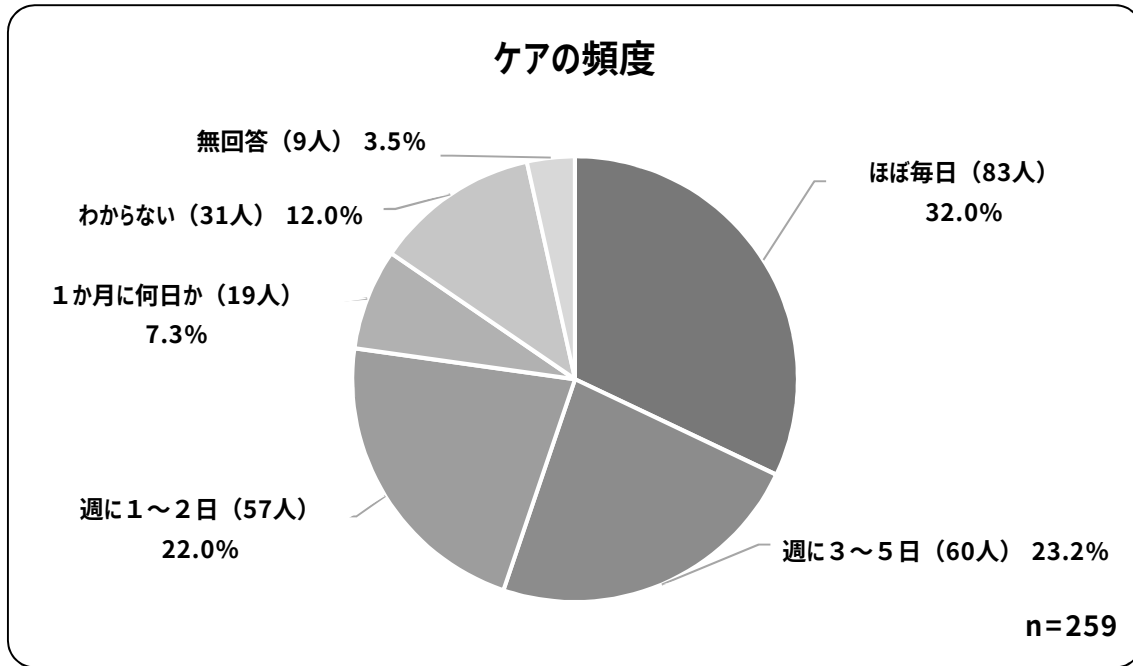
母親とともにケアを行っているという回答が最も多く、次いで父親と行っているという回答が多い。



6 ケアを行う頻度及び費やす時間について

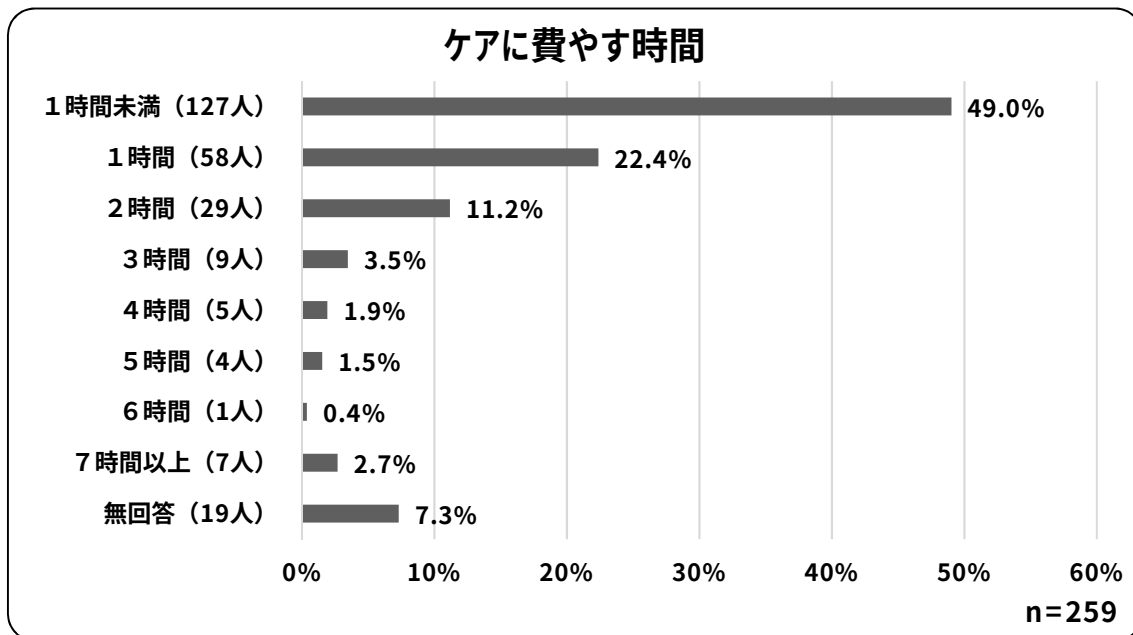
(1) ケアの頻度

ケアを行う頻度で最も多かった回答は「ほぼ毎日」で、3 割を超えている。また、1 週間に 1 日以上ケアを行っているという回答が全体の 8 割近くあった。



(2) ケアに費やす時間

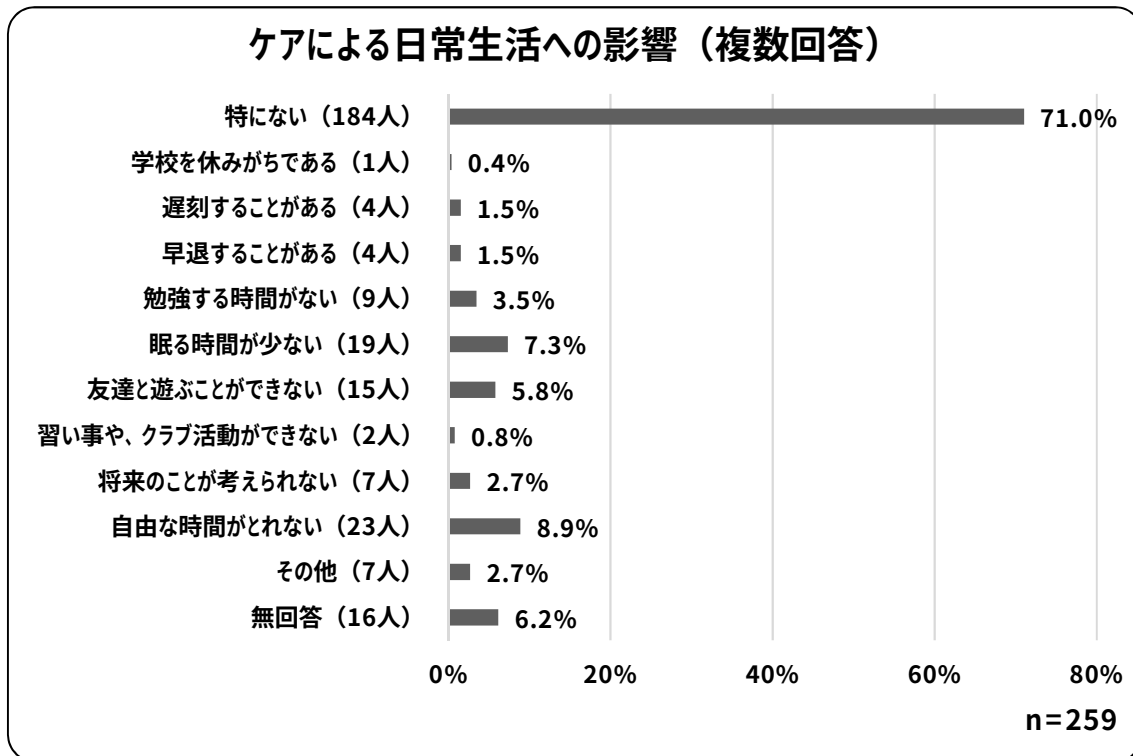
一日当たりのケアに費やす時間は、「1 時間未満」という回答が全体の半分ほどであったのに対し、「7 時間以上」という回答も 7 人あった。



7 ケアの影響について

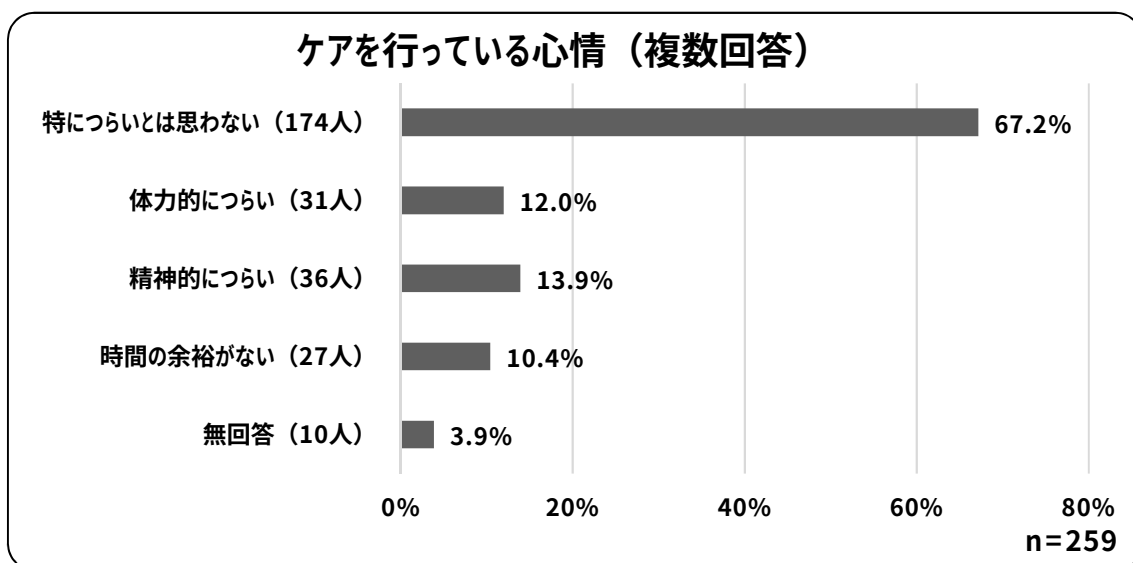
(1) ケアによる日常生活への影響

「特にない」という回答が最も多く、7割を超えている。影響があるという回答では、「自由な時間がとれない」「眠る時間が少ない」「友達と遊ぶことができない」という回答が多い。



(2) ケアを行っている心情

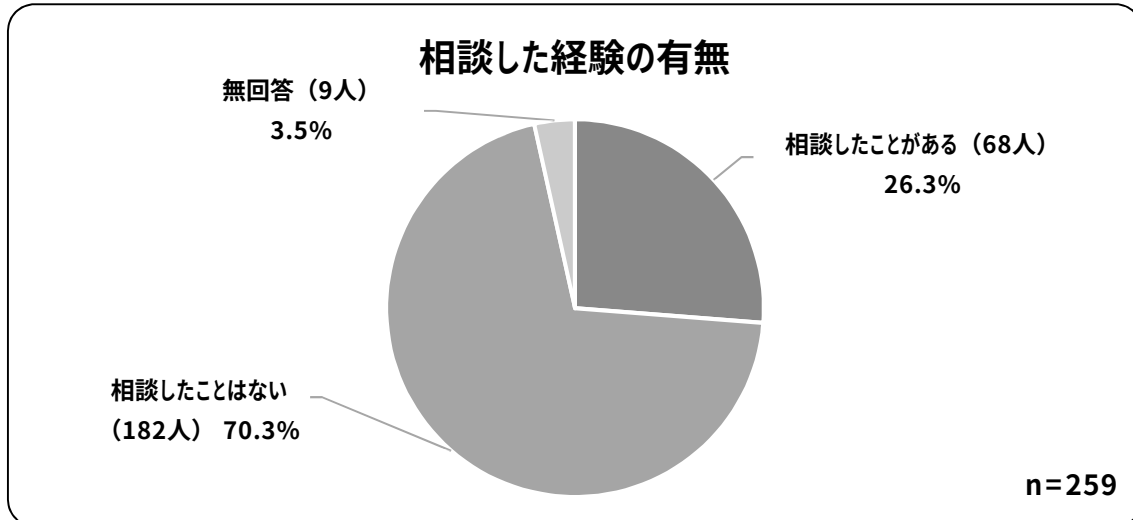
「特につらいとは思わない」とする回答が多く、6割を超えている。次いで「精神的につらい」「体力的につらい」「時間の余裕がない」という順となっている。



8 相談者、相談状況について

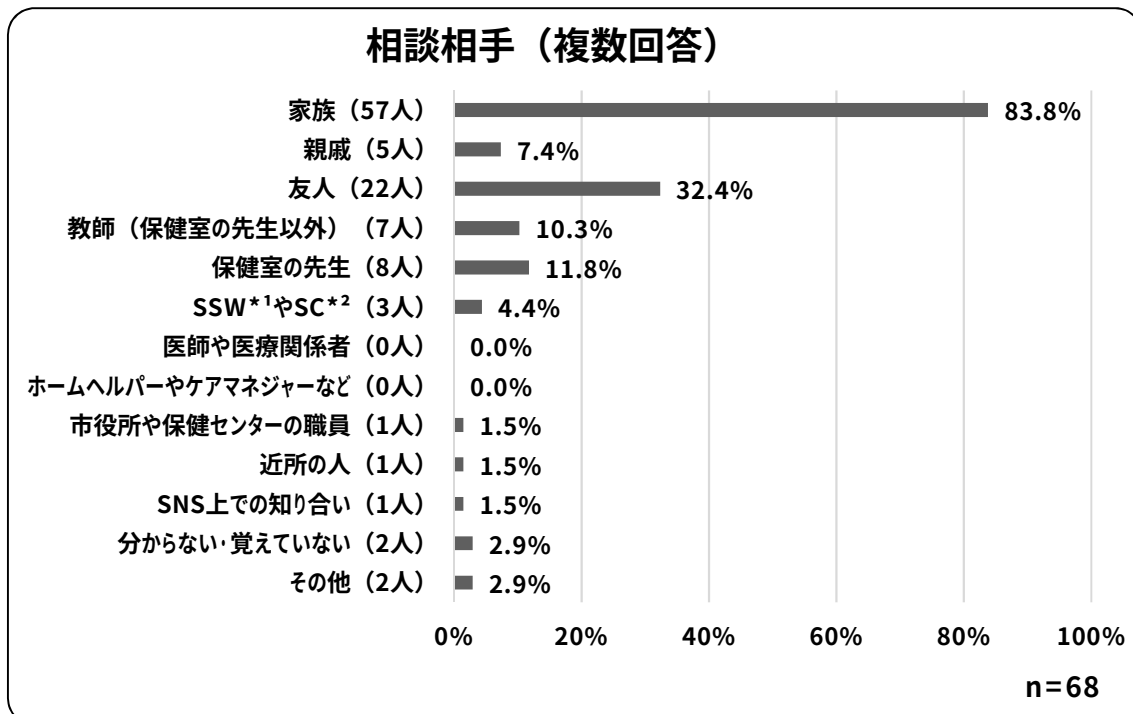
(1) 相談した経験の有無

悩みを相談したことがあるかという問いについて、「相談したことがある」という回答は3割未満であった。



① 「相談したことがある」と回答した68人の相談相手の内訳

相談相手は、「家族」という回答が83.8%と最も多い。次いで「友人」「保健室の先生」「教師（保健室の先生以外）」の順となっている。

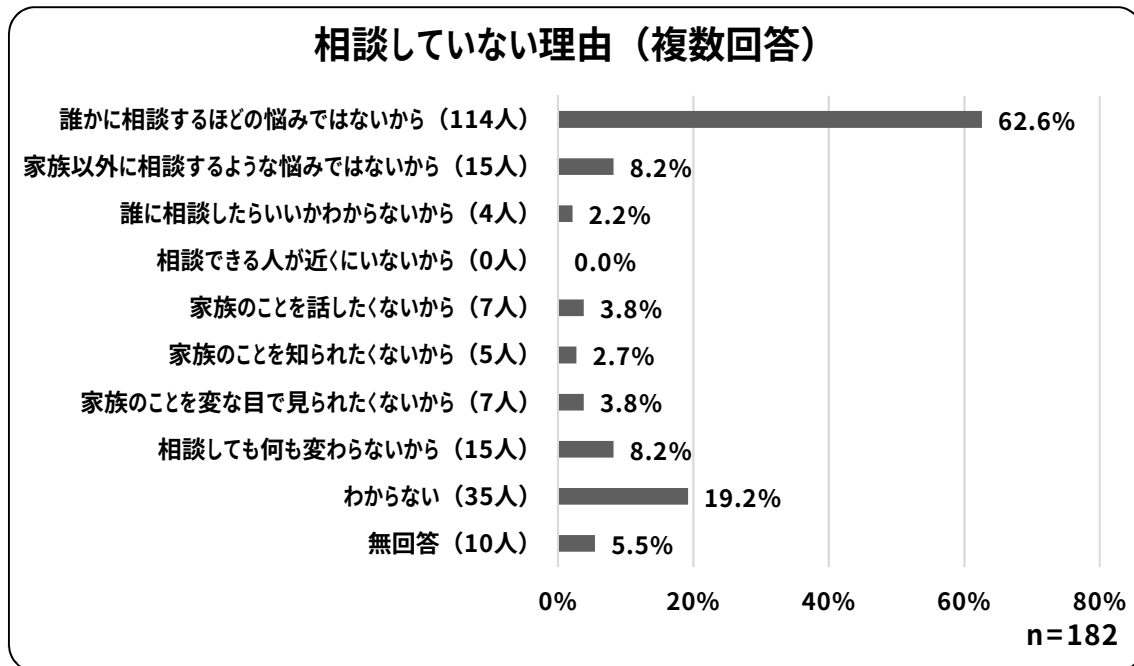


* 1 SSW：スクールソーシャルワーカー……教育機関で、主に児童が置かれている生活環境について分析し、他機関と連携を行う社会福祉士、精神保健福祉士等。

* 2 SC：スクールカウンセラー……教育機関で、主にカウンセリングを行う臨床心理士、精神科医等。

② 「相談したことはない」と回答した 182 人の相談していない理由

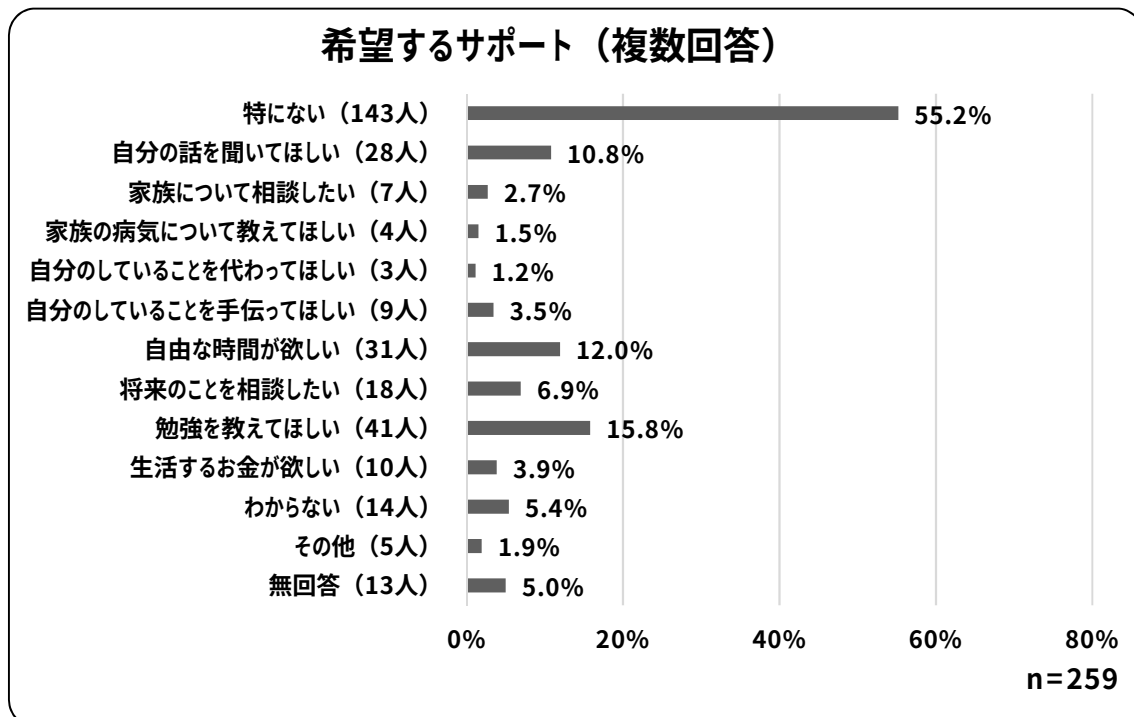
「誰かに相談するほどの悩みではないから」という回答が 62.6%と最も多い。



9 希望するサポート及び相談方法について

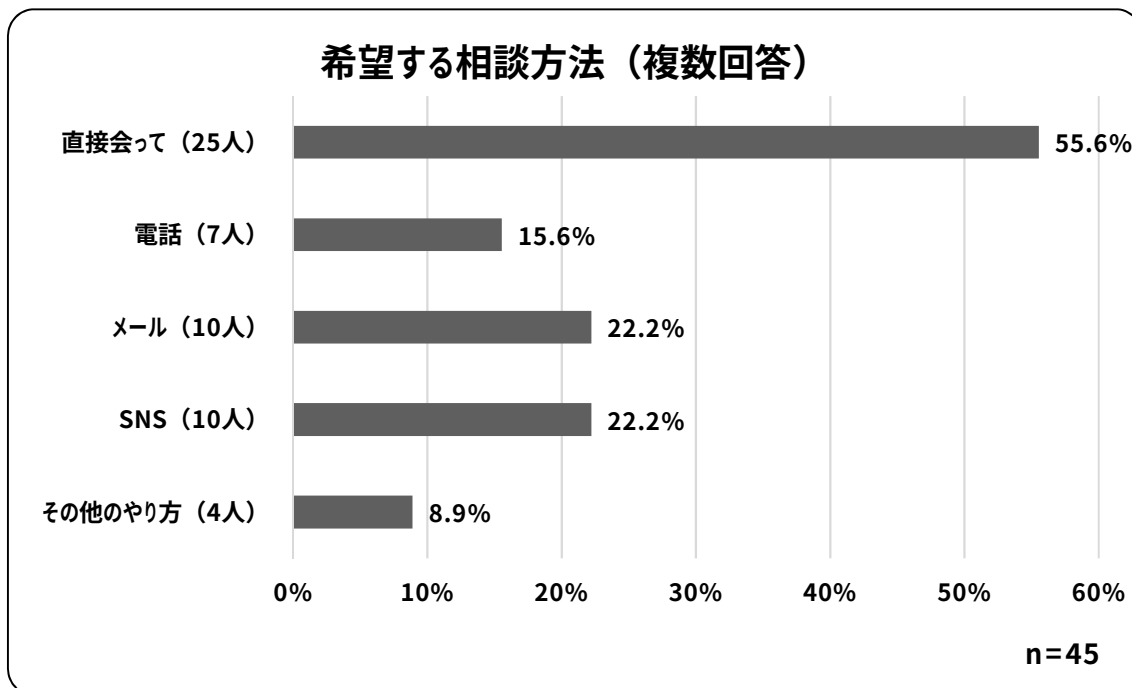
(1) 希望するサポート

「特にない」とする回答が半数以上となった。サポートを希望する回答では「勉強を教えてほしい」「自由な時間が欲しい」「自分の話を聞いてほしい」という回答が多い。



(2) 希望する相談方法

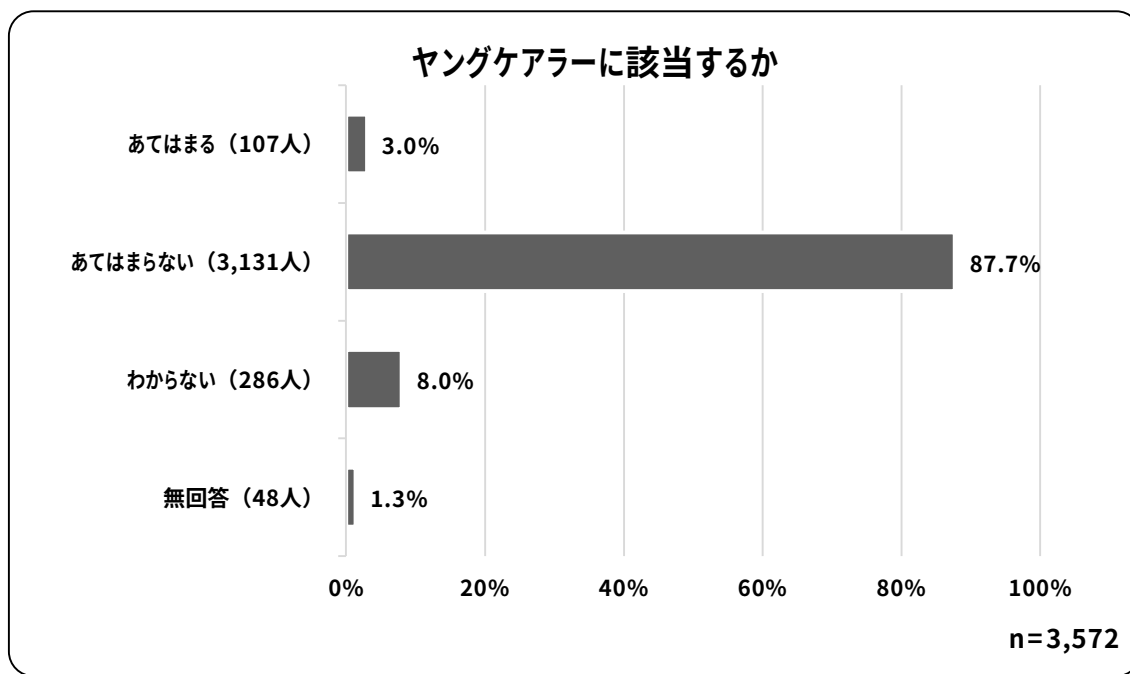
希望するサポートで「自分の話を聞いてほしい」、「相談したい」を選択した45人を対象に希望する相談方法について尋ねた。その結果、「直接会って」相談したいという回答が最も多かった。



10 ヤングケアラーについて

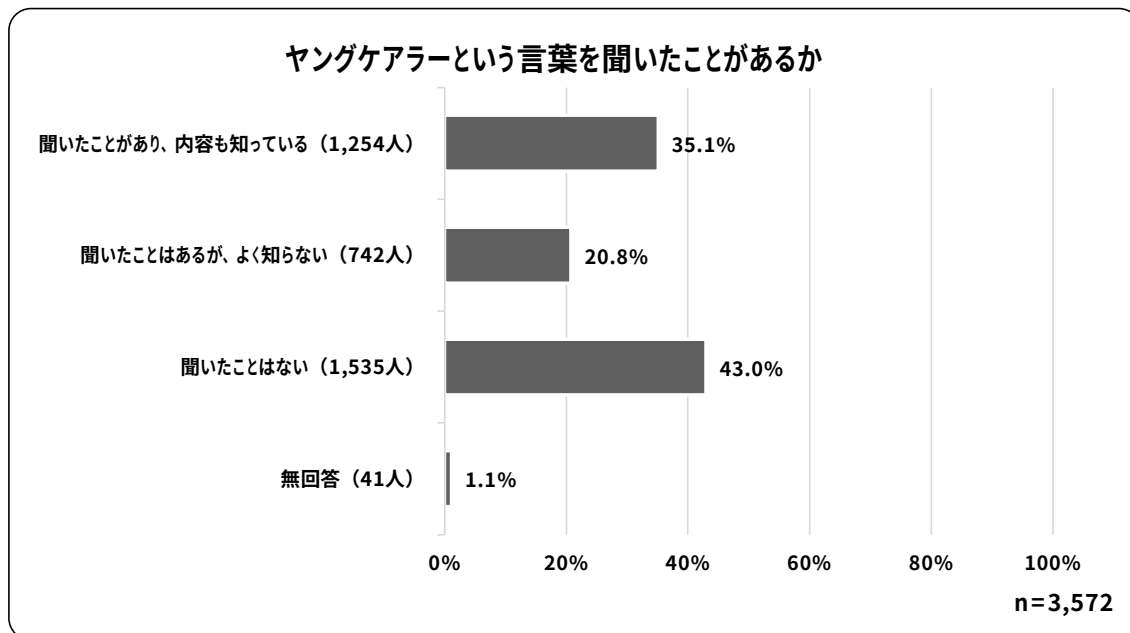
(1) 自身がヤングケアラーに該当するか

自身がヤングケアラーに「あてはまらない」と回答した人が 3,131 人（87.7%）で「あてはまる」と回答した人が 107 人（3.0%）であった。



(2)ヤングケアラーという言葉を知っているか

ヤングケアラーという言葉について「聞いたことがあり、内容も知っている」が 35.1%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が 20.8%と回答者の半数以上がこれまでに聞いたことがあるとの結果になった。一方で「聞いたことはない」との回答も 43.0%あった。



IV 小学生の調査結果

1 回答者内訳

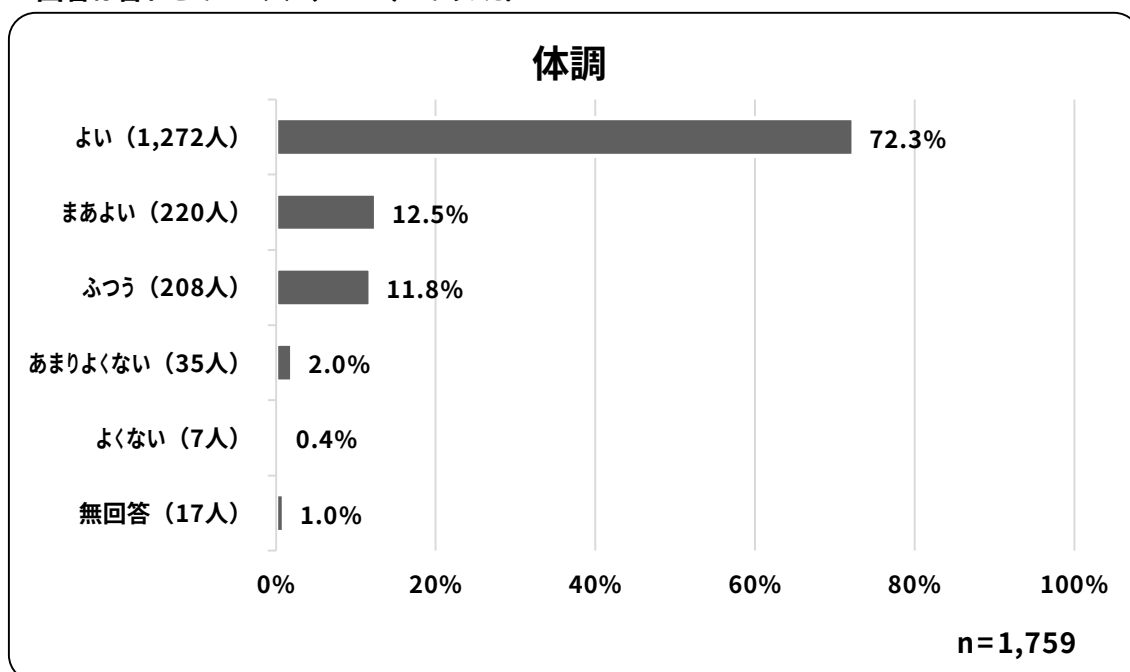
	男子	女子	無回答	合計
4 年生	301	309	12	622
5 年生	290	291	18	599
6 年生	262	253	10	525
学年不明	6	4	3	13
合計	859	857	43	1,759

※性別未記入は「無回答」に合算した。

2 子どもの日常生活について

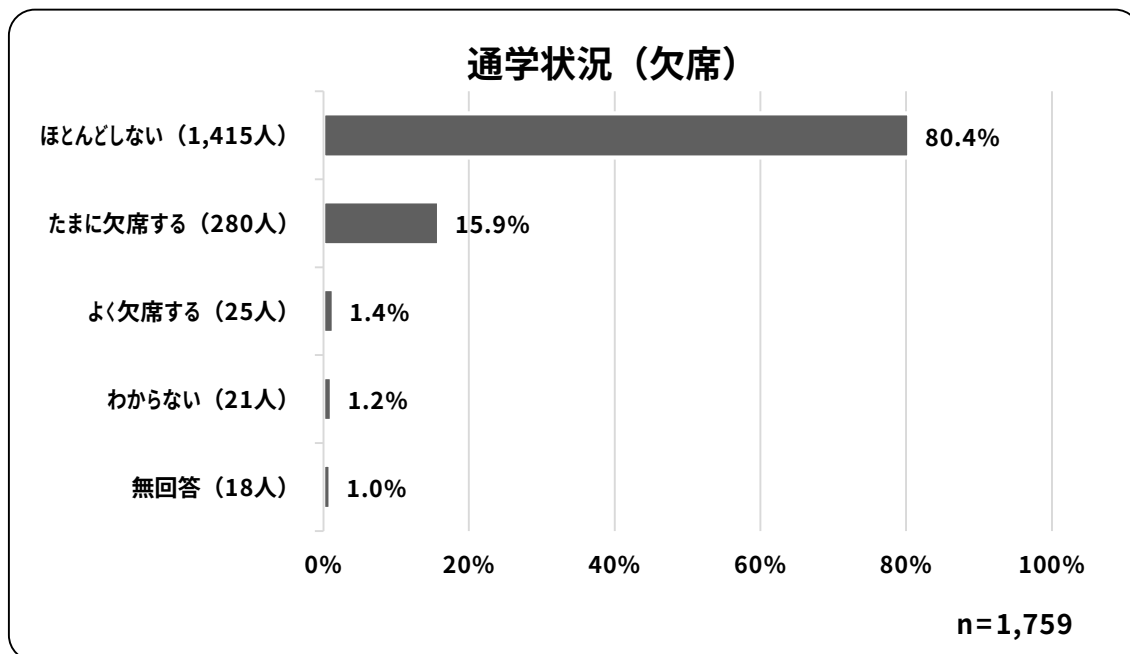
(1) 子どもの体調について

「よい」、「まあよい」とする回答が多く、合わせて 80%を超えている。「あまりよくない」、「よくない」とする回答は合わせて 42 人（2.4%）であった。

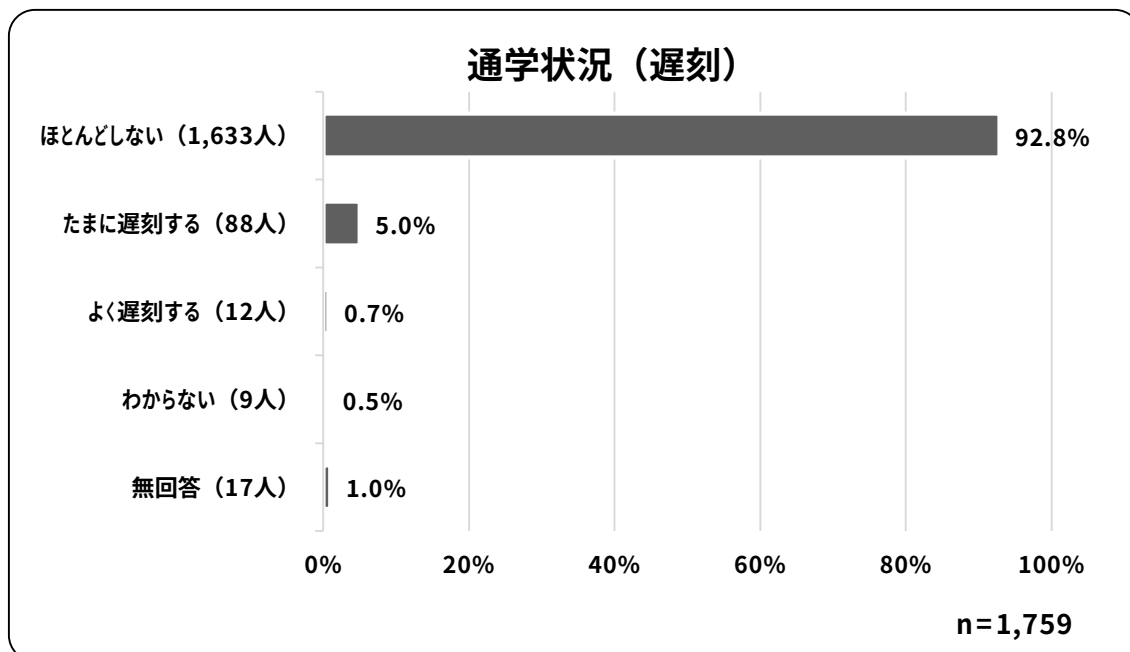


(2) 子どもの学校生活について

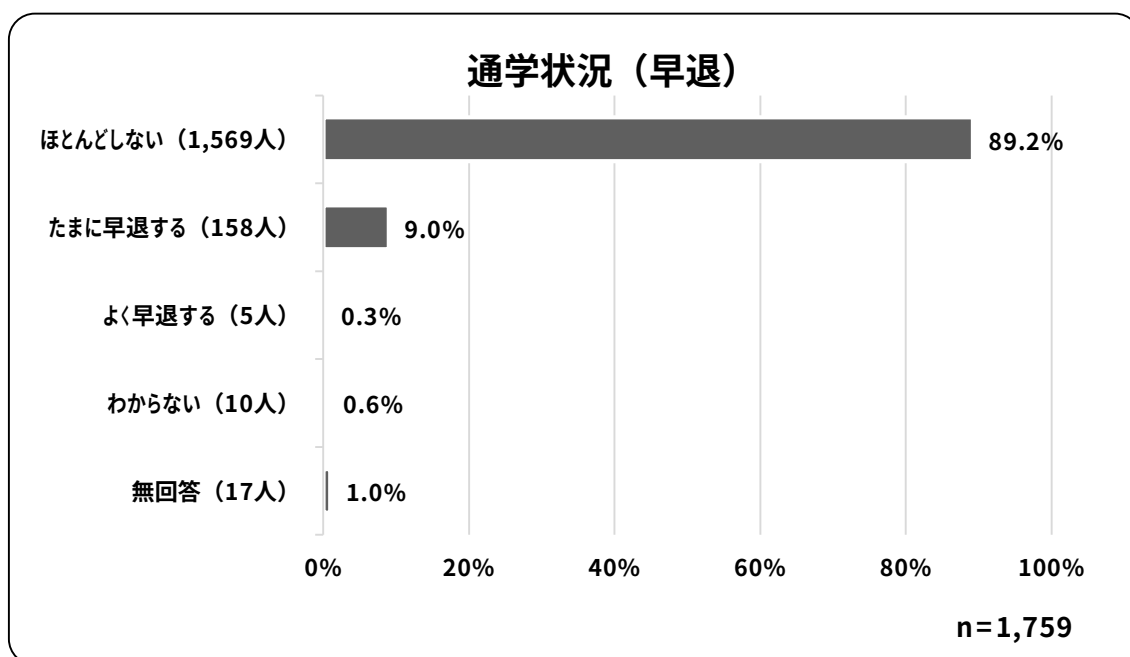
- ① 通学状況（欠席）については「ほとんどしない」が 80%を超えており、「たまに欠席する」、「よく欠席する」は合わせて 305 人（17.3%）であった。



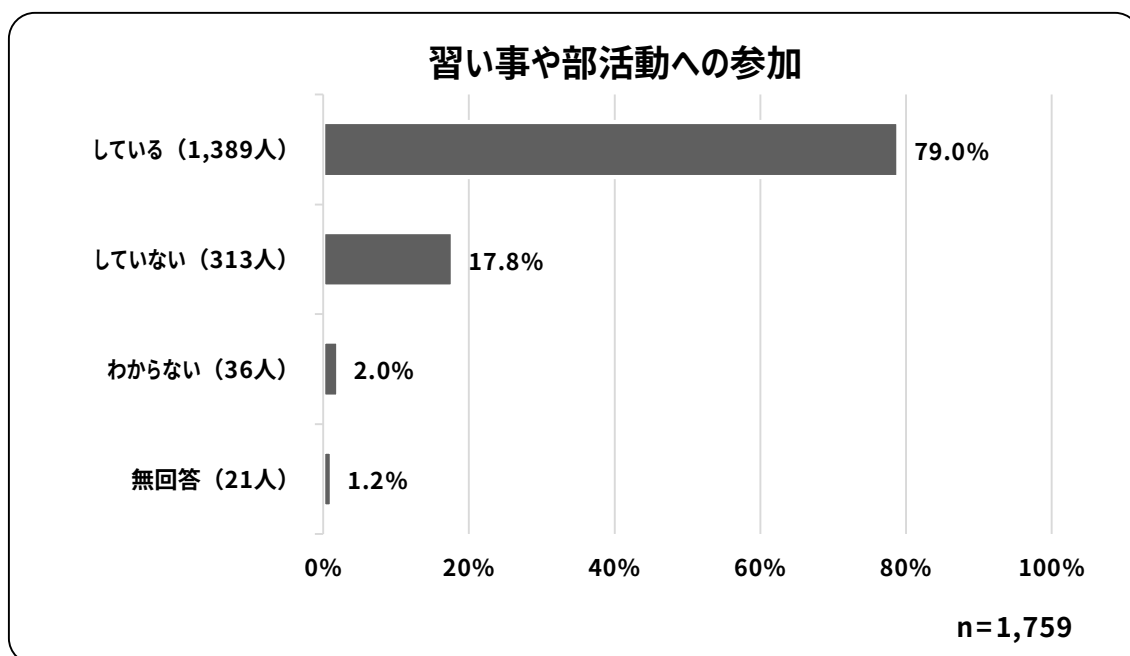
- ② 通学状況（遅刻）については「ほとんどしない」が 90%を超えており、「たまに遅刻する」、「よく遅刻する」は合わせて 100 人（5.7%）であった。



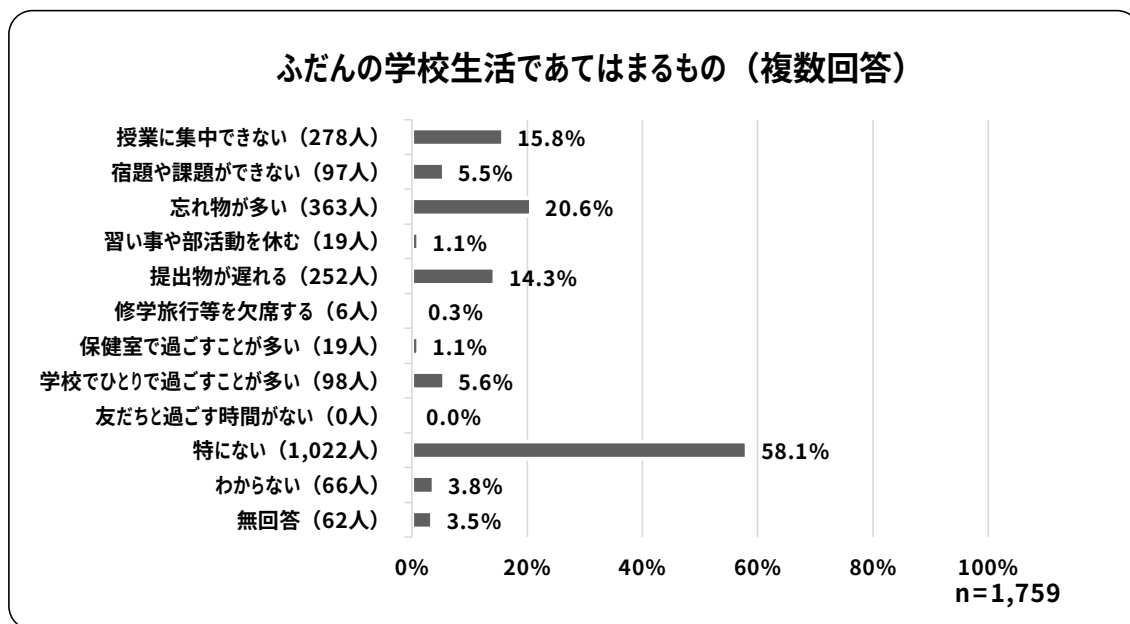
- ③ 通学状況（早退）については「ほとんどしない」が 90%近くとなっており、「たまに早退する」、「よく早退する」は合わせて 163 人（9.3%）であった。



- ④ 習い事や部活動への参加については「している」が 79.0%、「していない」が 17.8%であった。

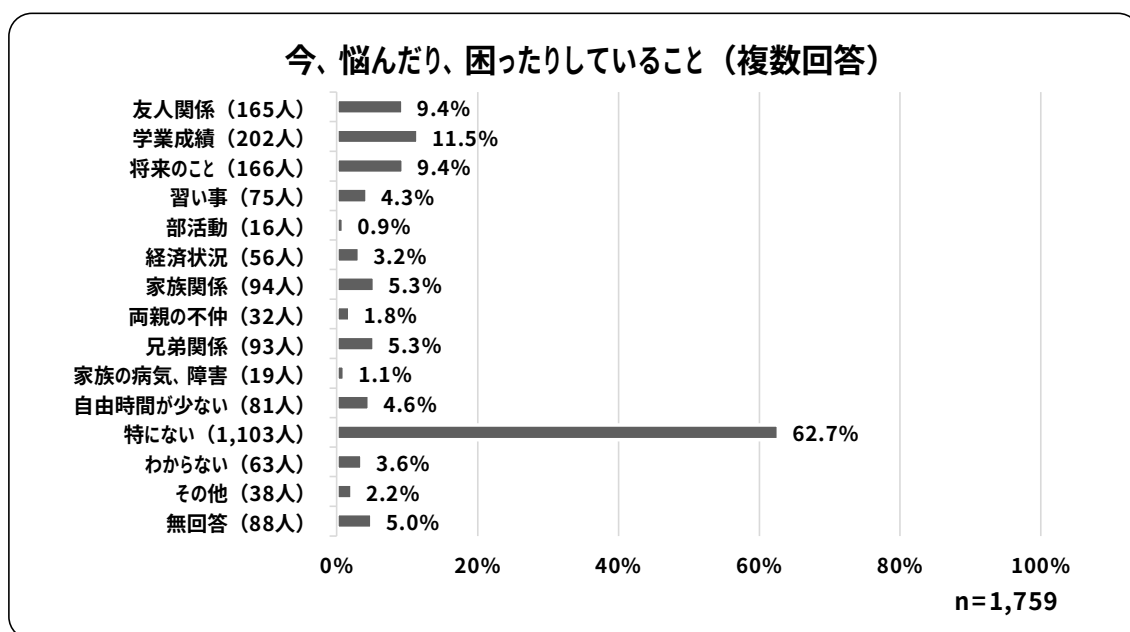


- ⑤ ふだんの学校生活であてはまるものについては「特にない」が58.1%で最も多く、続いて「忘れ物が多い」（20.6%）、「授業に集中できない」（15.8%）であった。

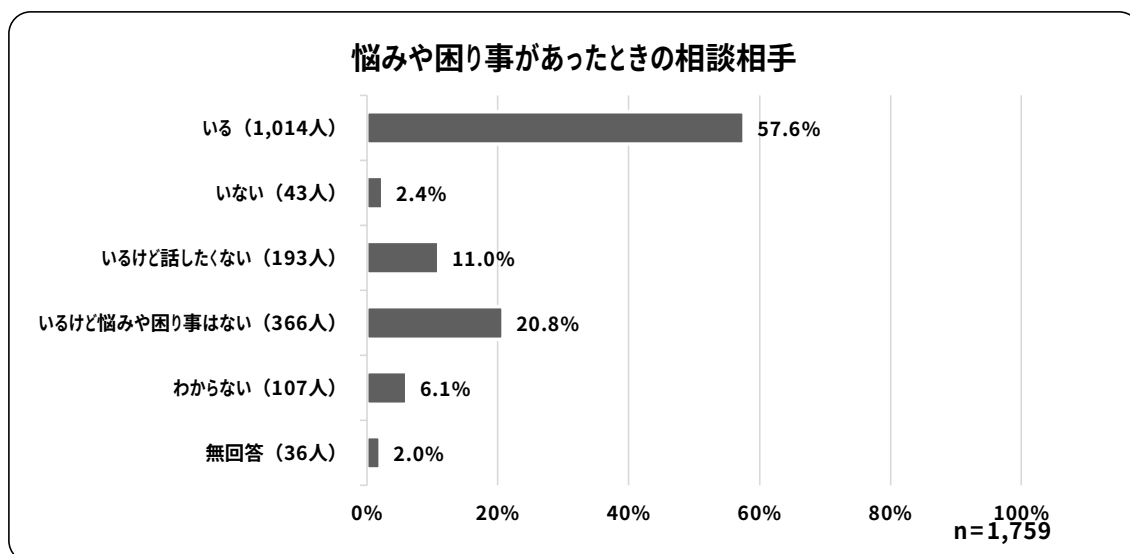


(3) 日常生活での悩み事について

- ① 今、悩んだり、困ったりしていることについては「特にない」が62.7%で最も多く、続いて「学業成績」（11.5%）、「友人関係」、「将来のこと」（9.4%）となった。



- ② 悩みや困り事があったときの相談相手については「いる」、「いるけど悩みや困り事はない」との回答が合わせて 78.5%、「いるけど話したくない」が 11.0%、「いない」が 2.4%となった。

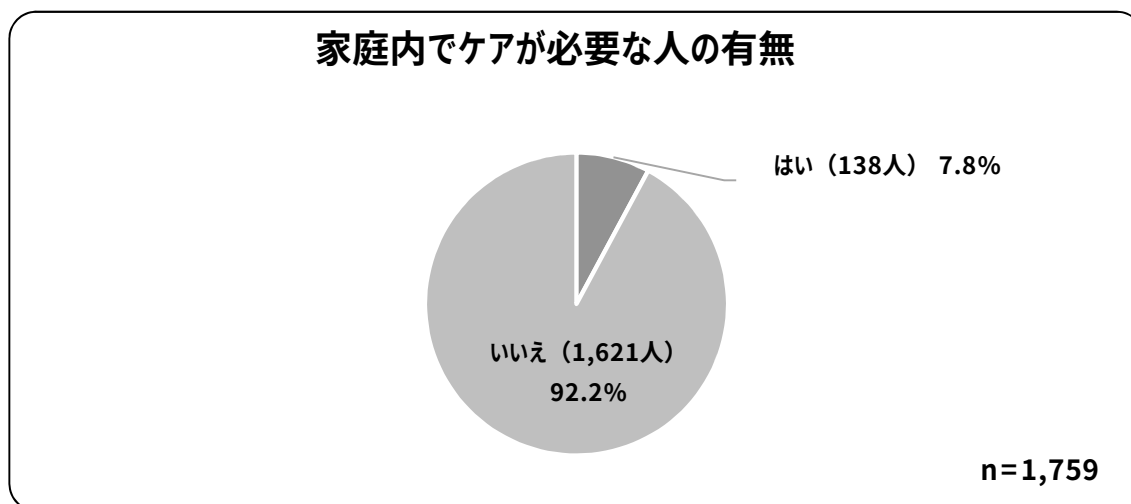


3 ケアが必要な家庭の実態について

(1) 子どもがケアを行っているかについて

① 家庭内でケアが必要な人の有無

家庭内でお世話をしている人がいるかとの問いに対し、回答者 1,759 人のうち、「はい」という回答が 138 人（7.8%）、「いいえ」という回答が 1,621 人（92.2%）だった。



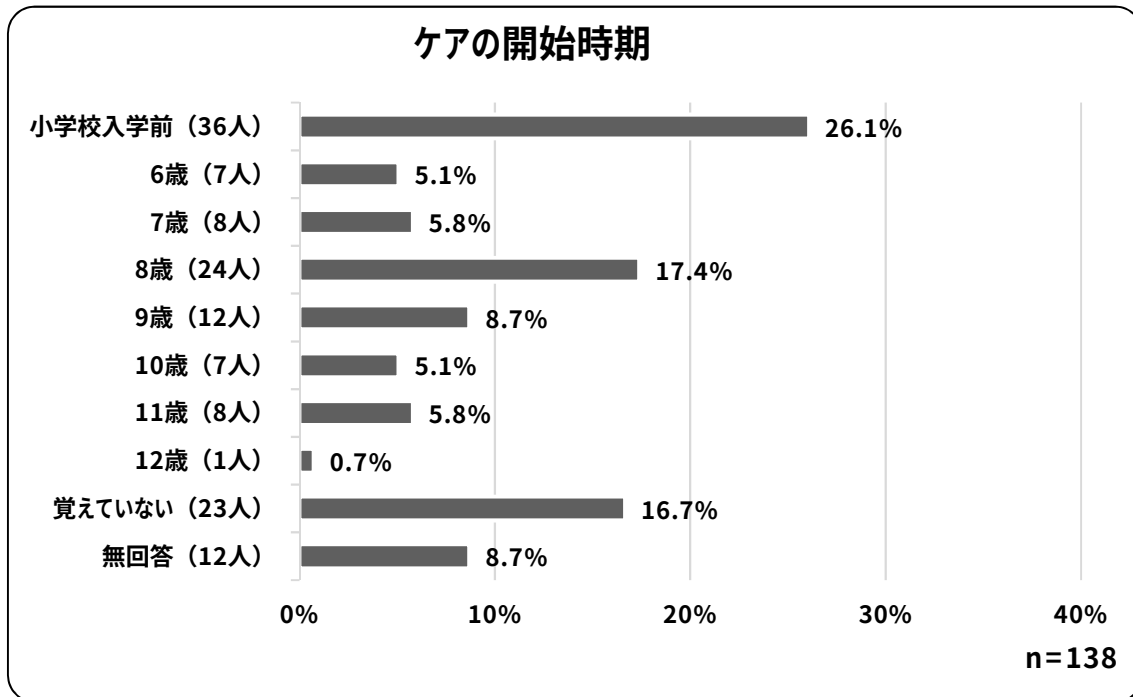
② ケアを行っている子どもの内訳

ケアを行っている子どもについて、男女差はほぼないという結果となった。

	男子	女子	無回答	合計
4 年生	20	31	1	52
5 年生	27	25	2	54
6 年生	19	12	0	31
学年不明	1	0	0	1
合計	67	68	3	138

(2) ケアの開始時期

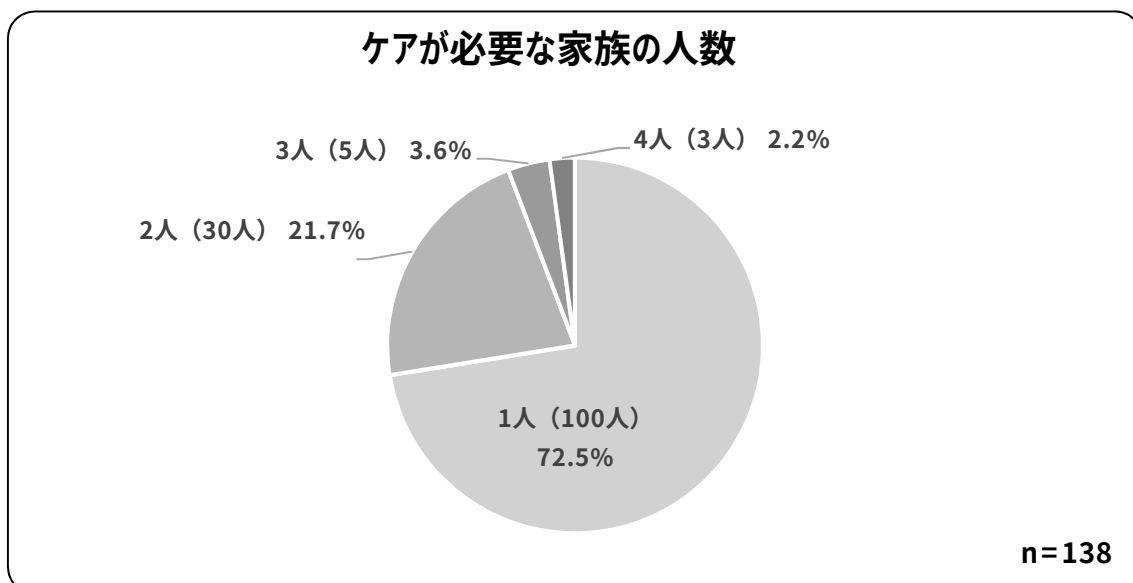
ケアを始めた年齢で回答が最も多かったのは、「小学校入学前」が最も多く、26.1%となっている。



4 ケアしている家族について

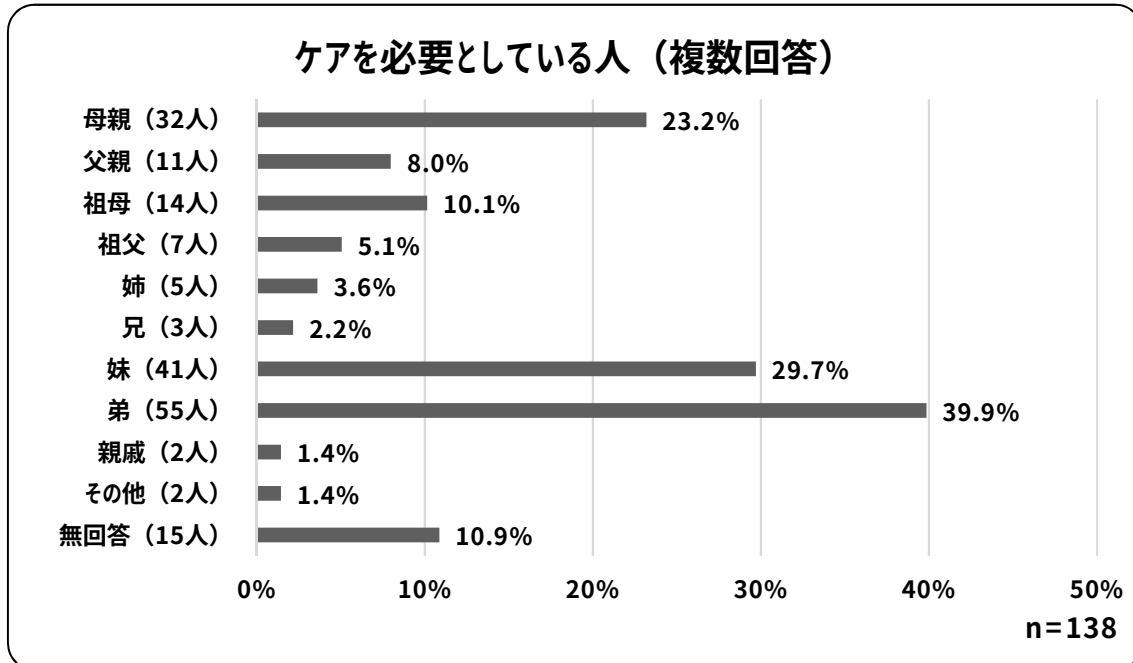
(1) 家庭内でのケアが必要な人数

ケアが必要な家族について、「1人」という回答が138人のうち100人と、全体の72.5%を占めている。



(2) ケアを必要としている人

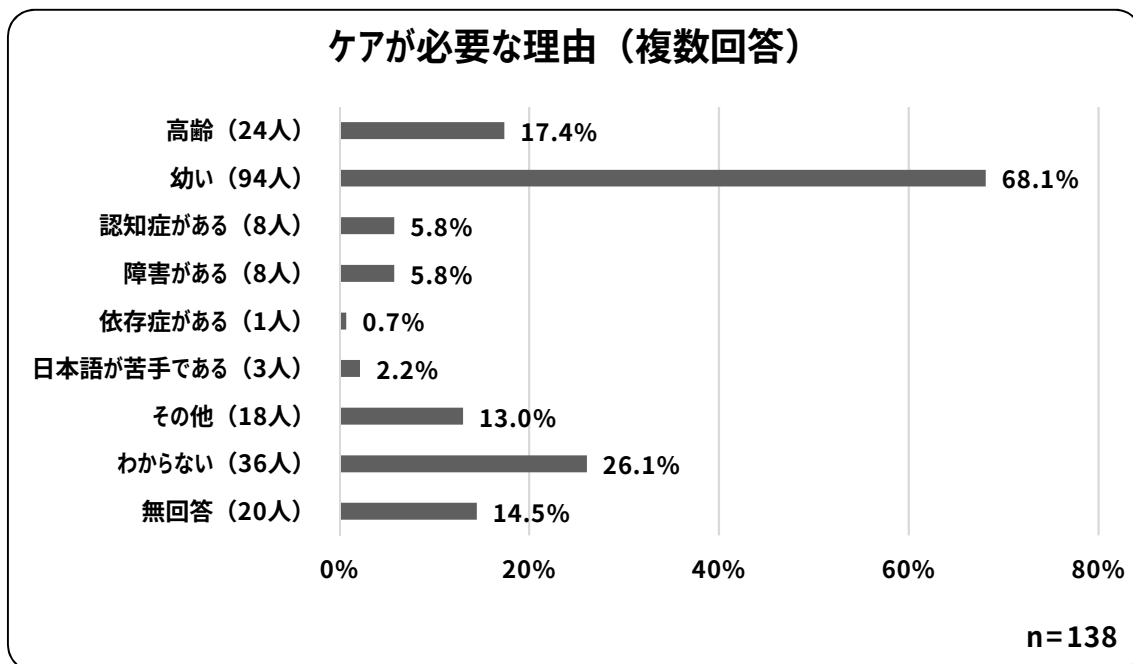
ケアを必要としている人は、妹や弟など年下のきょうだいが多い。また母親のケアをしているという回答も23.2%あった。



5 ケアの状況について

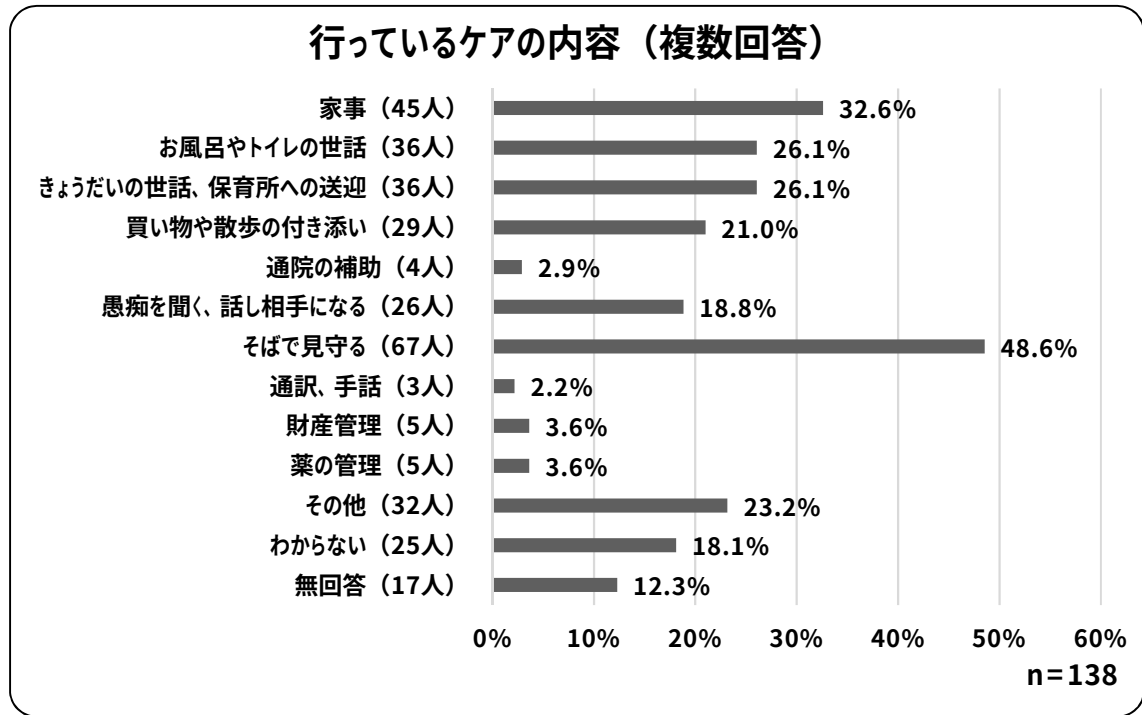
(1) ケアが必要な理由

ケアを必要としている人が年下のきょうだいである回答が多いことを受け、若いことを理由とする回答が最も多い。また、ケアが必要な理由がわからないという回答が次いで多い。



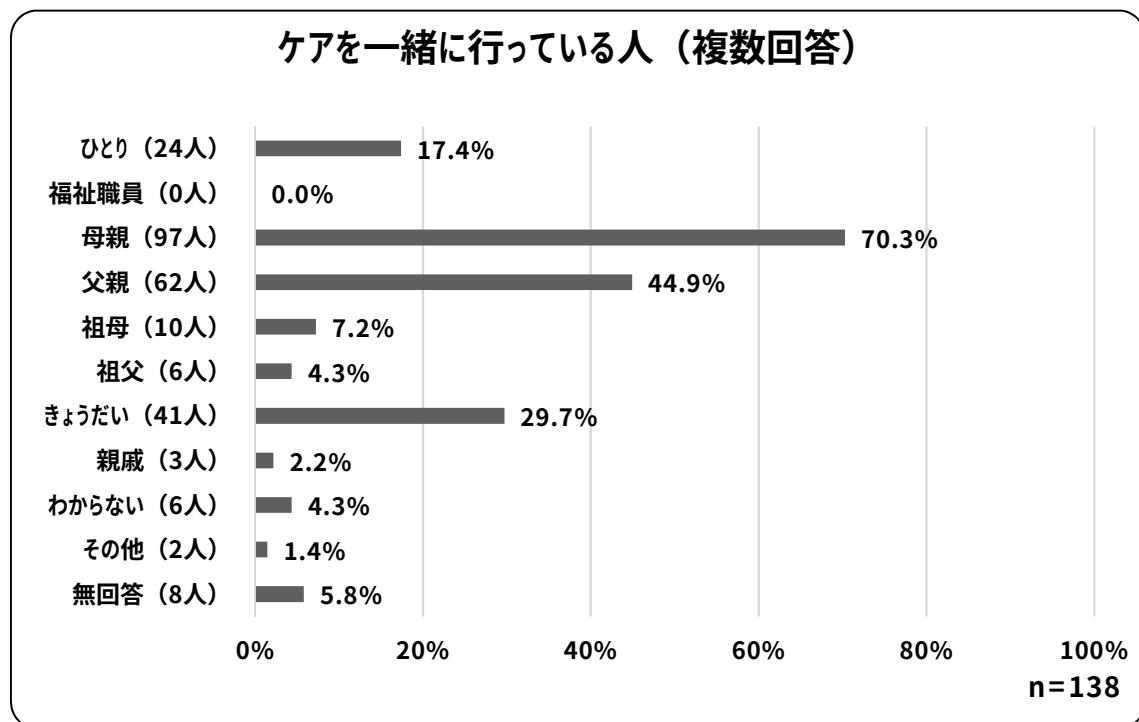
(2) 行っているケアの内容

「そばで見守る」という回答が最も多い。次いで「家事」「お風呂やトイレの世話」「きょうだいの世話、保育所への送迎」となっている。



(3) ケアと一緒にいる人

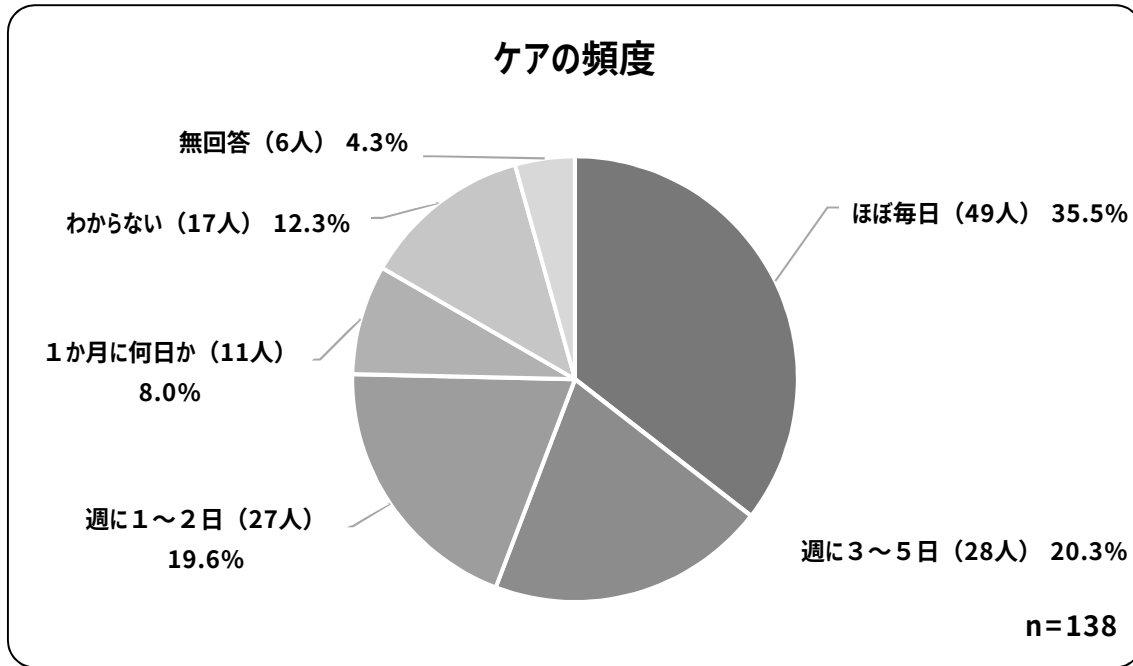
母親とともにケアを行っているという回答が最も多く、次いで父親と行っているという回答が多い。



6 ケアを行う頻度及び費やす時間について

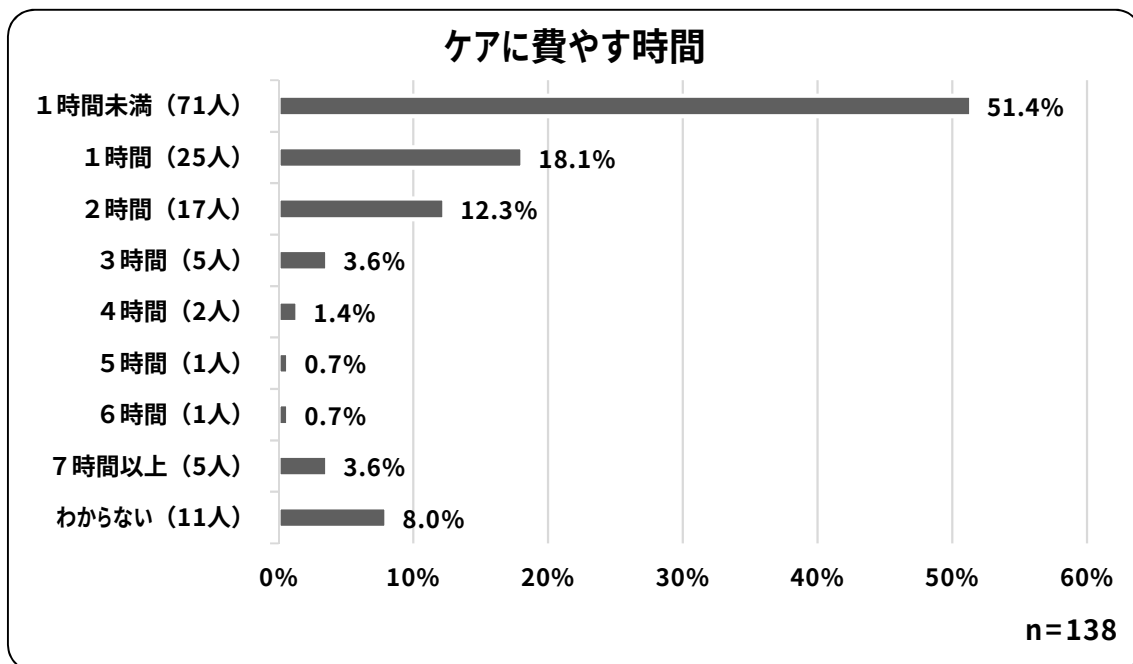
(1) ケアの頻度

ケアを行う頻度で最も多かった回答は「ほぼ毎日」で、3 割を超えている。また、1 週間に 1 日以上ケアを行っているという回答が全体の 8 割近くあった。



(2) ケアに費やす時間

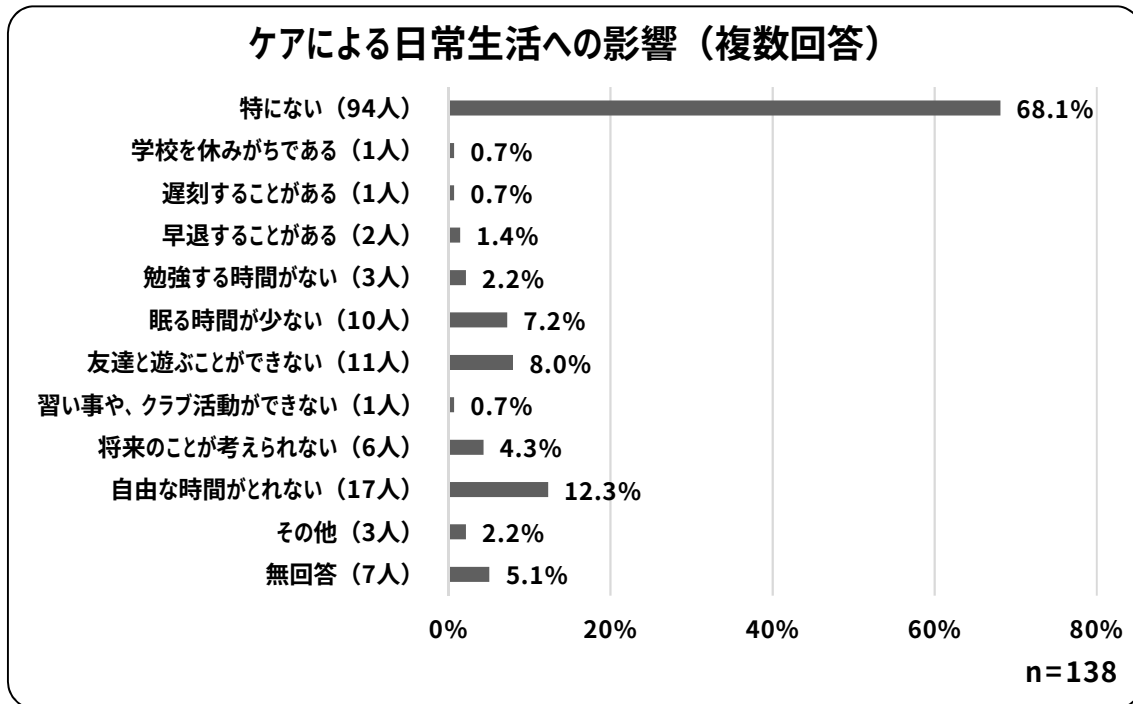
一日当たりのケアに費やす時間は、「1 時間未満」という回答が全体の半分以上であったのに対し、「7 時間以上」という回答も 5 人あった。



7 ケアの影響について

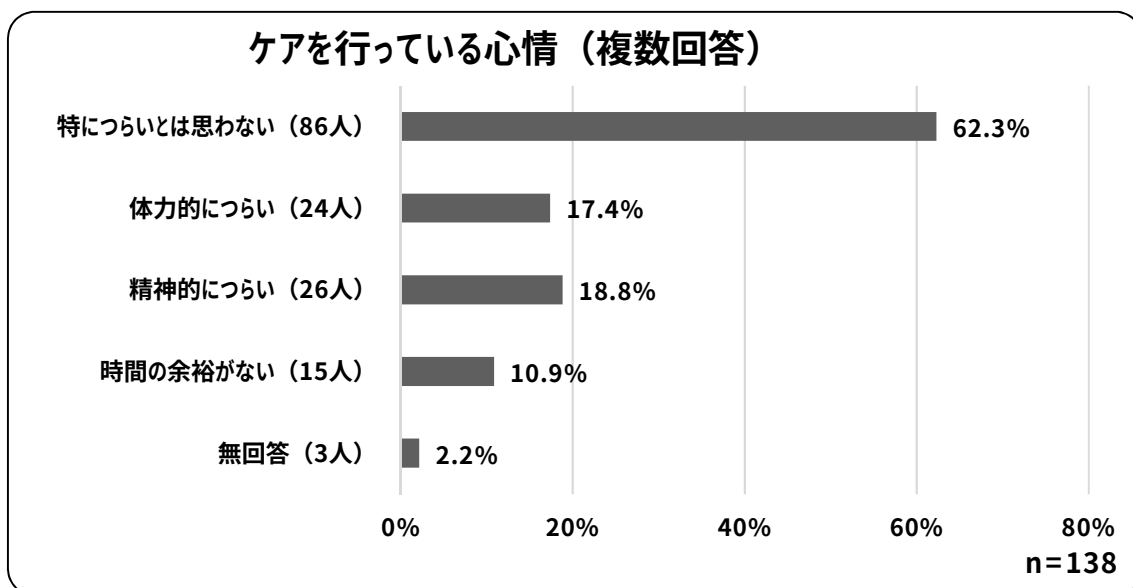
(1) ケアによる日常生活への影響

「特にない」という回答が最も多く、7割近くとなっている。影響があるという回答では、「自由な時間がとれない」「友達と遊ぶことができない」「眠る時間が少ない」という回答が多い。



(2) ケアを行っている心情

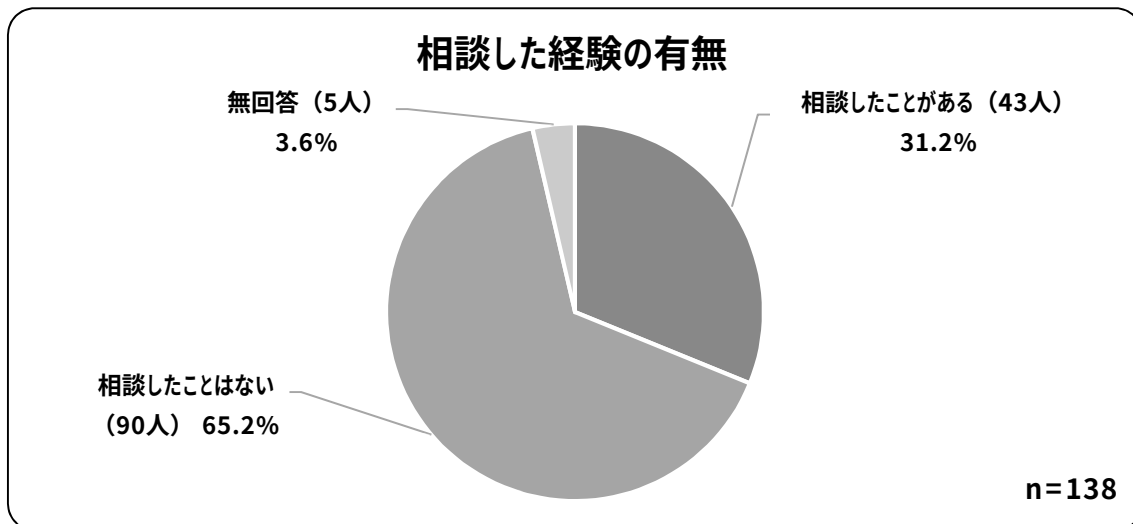
「特につらいとは思わない」とする回答が多く、6割を超えている。次いで「精神的につらい」「体力的につらい」「時間の余裕がない」という順となっている。



8 相談者、相談状況について

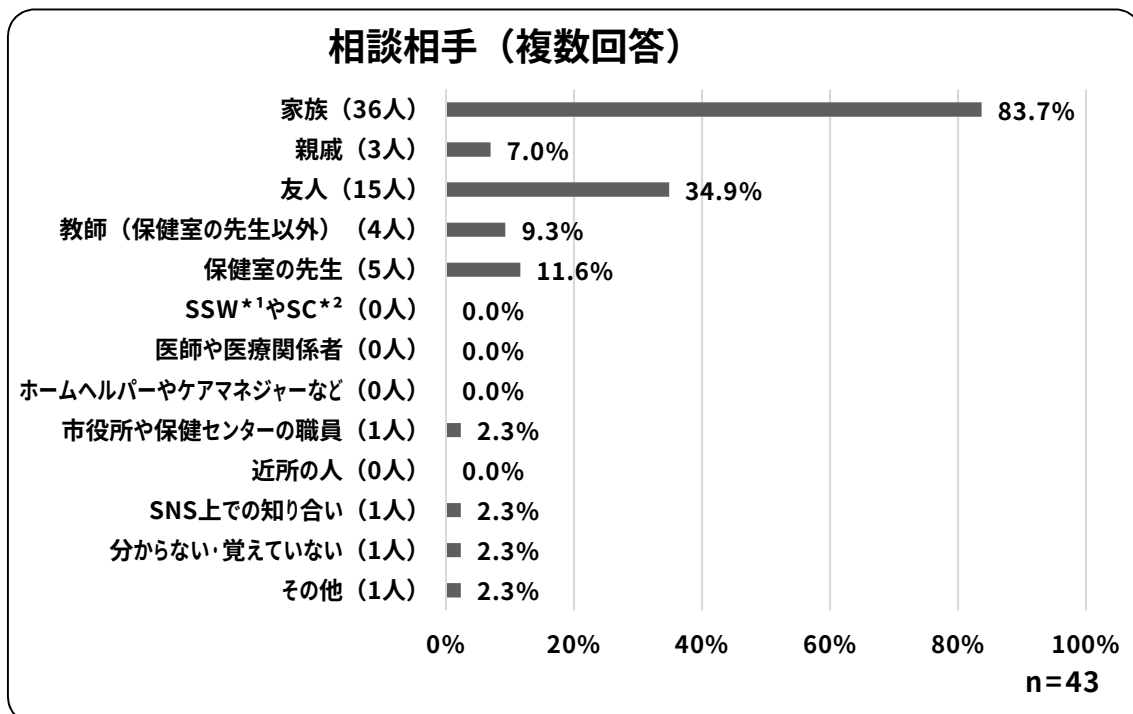
(1) 相談した経験の有無

悩みを相談したことがあるかという問いについて、「相談したことがある」という回答は約 3 割に留まった。



① 「相談したことがある」と回答した 43 人の相談相手の内訳

相談相手は、「家族」という回答が 83.7%と最も多い。次いで「友人」「保健室の先生」「教師（保健室の先生以外）」と続いている。

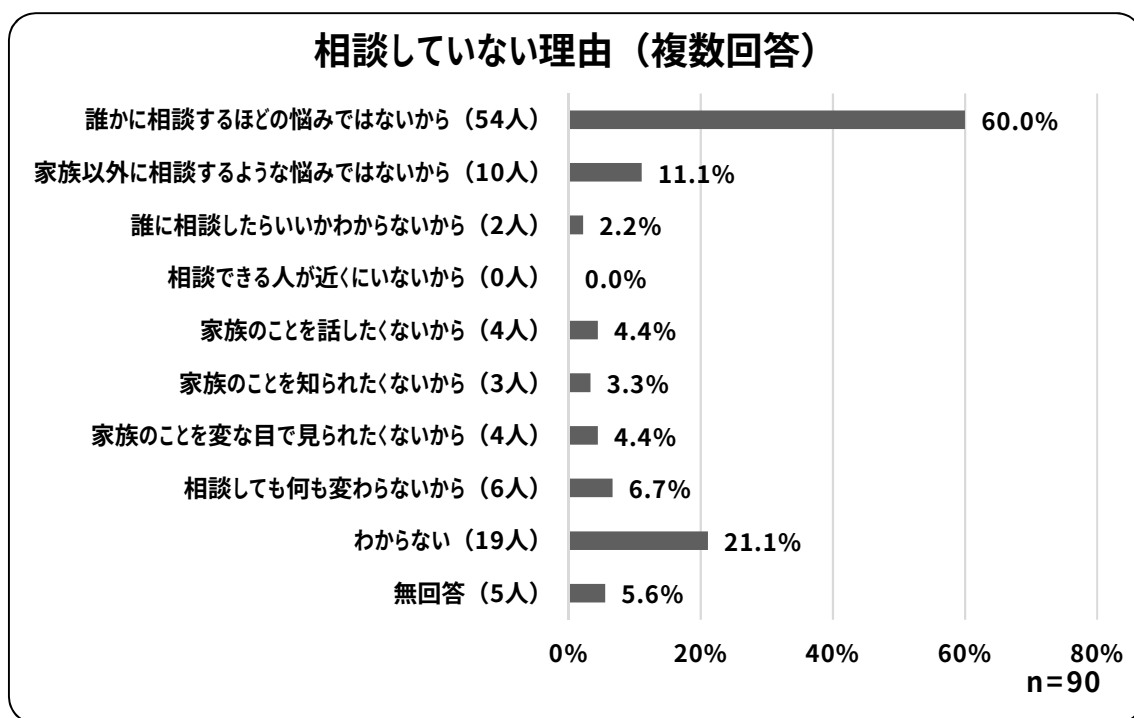


* 1 SSW：スクールソーシャルワーカー……教育機関で、主に児童が置かれている生活環境について分析し、他機関と連携を行う社会福祉士、精神保健福祉士等。

* 2 SC：スクールカウンセラー……教育機関で、主にカウンセリングを行う臨床心理士、精神科医等。

② 「相談したことはない」と回答した 90 人の相談していない理由

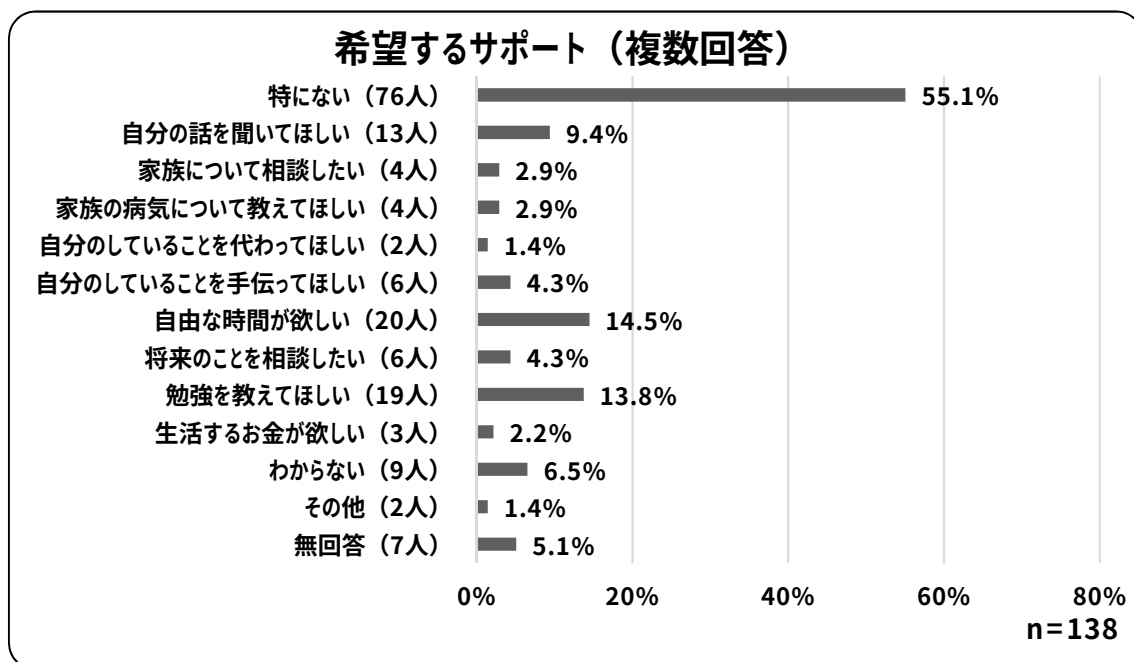
「誰かに相談するほどの悩みではないから」という回答が 60.0%と最も多い。



9 希望するサポート及び相談方法について

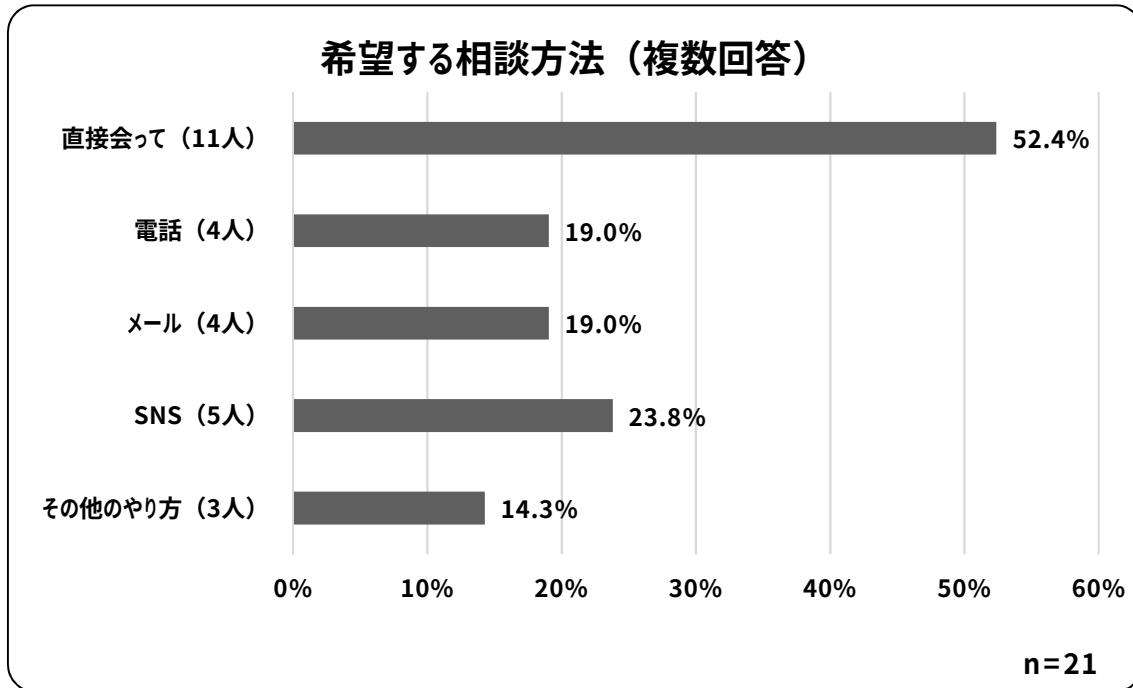
(1) 希望するサポート

「特になし」とする回答が半数以上となった。サポートを希望する回答では「自由な時間が欲しい」「勉強を教えてほしい」「自分の話を聞いてほしい」という回答が多い。



(2) 希望する相談方法

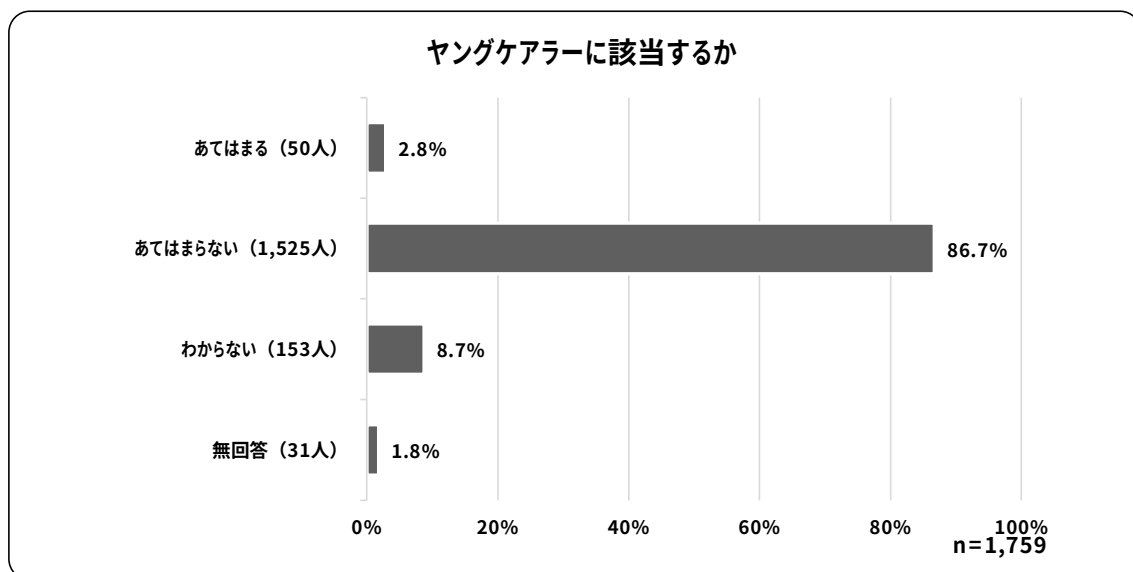
希望するサポートで「自分の話を聞いてほしい」、「相談したい」を選択した 21 人を対象に希望する相談方法について尋ねた。その結果、「直接会って」相談したいという回答が最も多かった。



10 ヤングケアラーについて

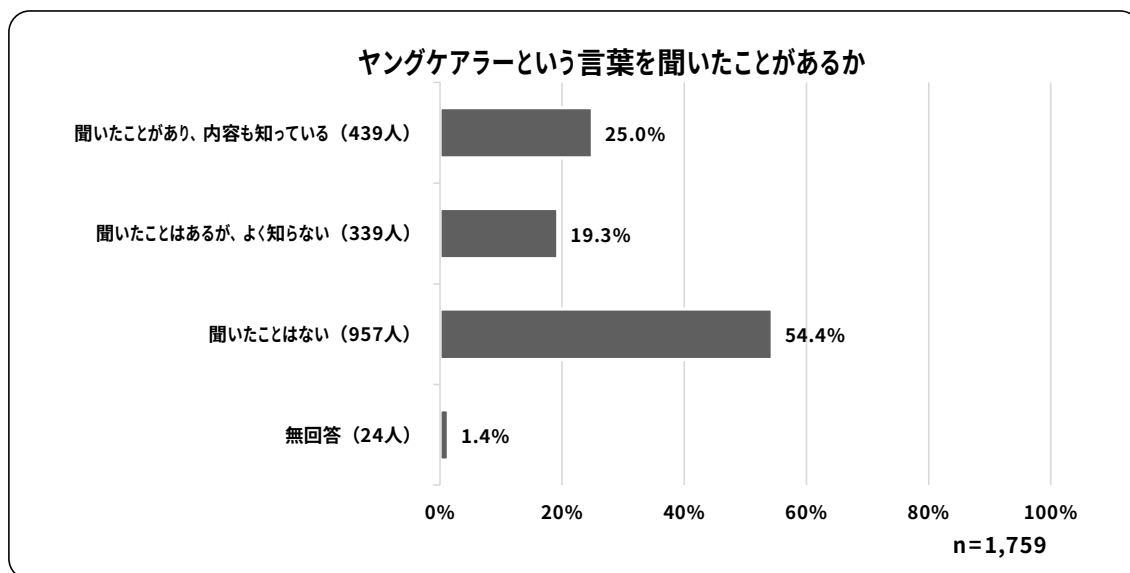
(1) 自身がヤングケアラーに該当するか

自身がヤングケアラーに「あてはまらない」と回答した人が 1,525 人（86.7%）で、「あてはまる」と回答した人が 50 人（2.8%）であった。



(2)ヤングケアラーという言葉を知っているか

ヤングケアラーという言葉について「聞いたことはない」との回答が 54.4%と回答者の半数以上が聞いたことがないとの結果となった。聞いたことがある人については「聞いたことがあり、内容も知っている」が 25.0%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が 19.3%であった。



V 中学生の調査結果

1 回答者内訳

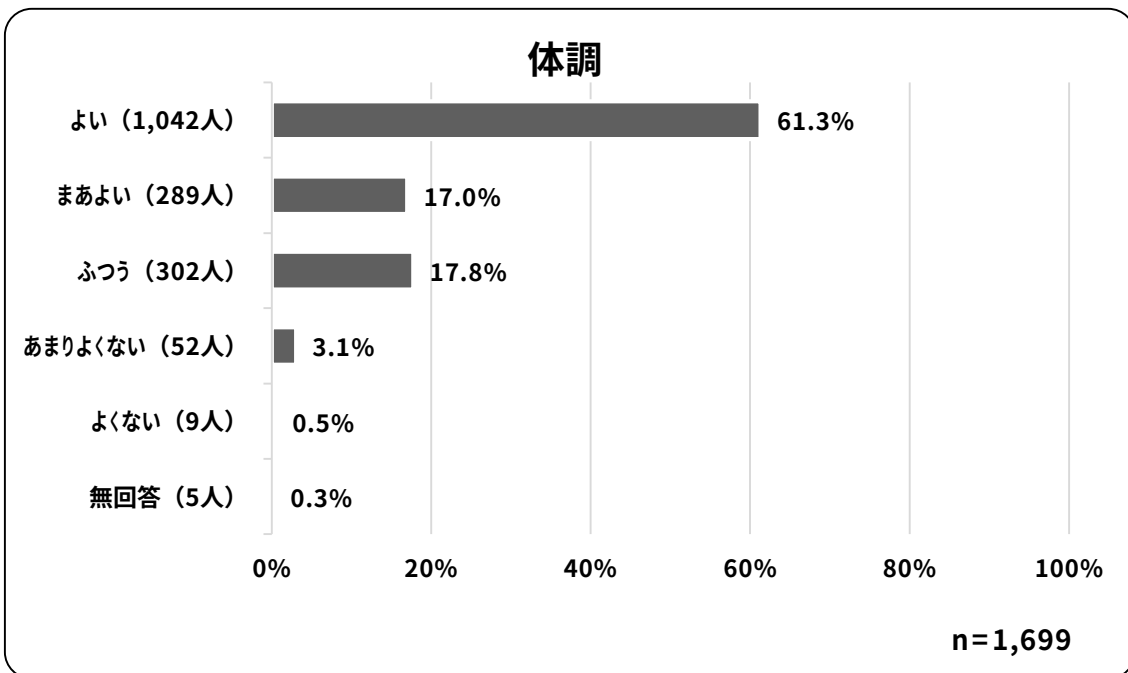
	男子	女子	無回答	合計
1年生	279	306	13	598
2年生	237	277	21	535
3年生	276	262	24	562
学年不明	2	1	1	4
合計	794	846	59	1,699

※性別未記入は「無回答」に合算した。

2 子どもの日常生活について

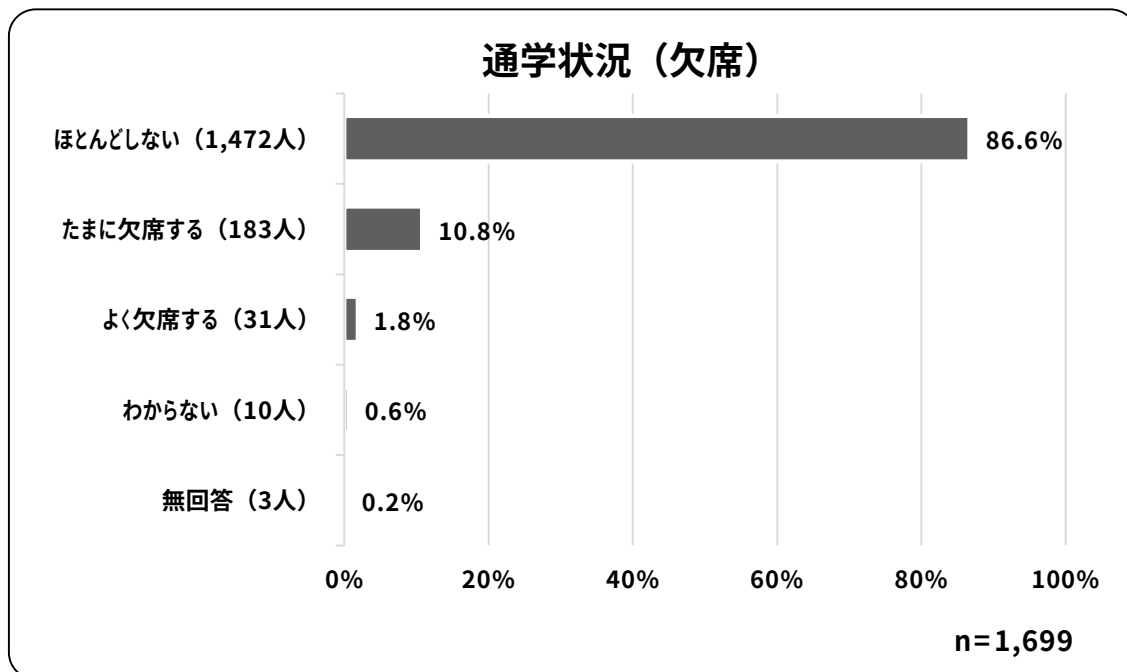
(1) 子どもの体調について

「よい」、「まあよい」とする回答が多く、合わせて 70%を超えている。「あまりよくない」、「よくない」とする回答は合わせて 61 人（3.6%）であった。

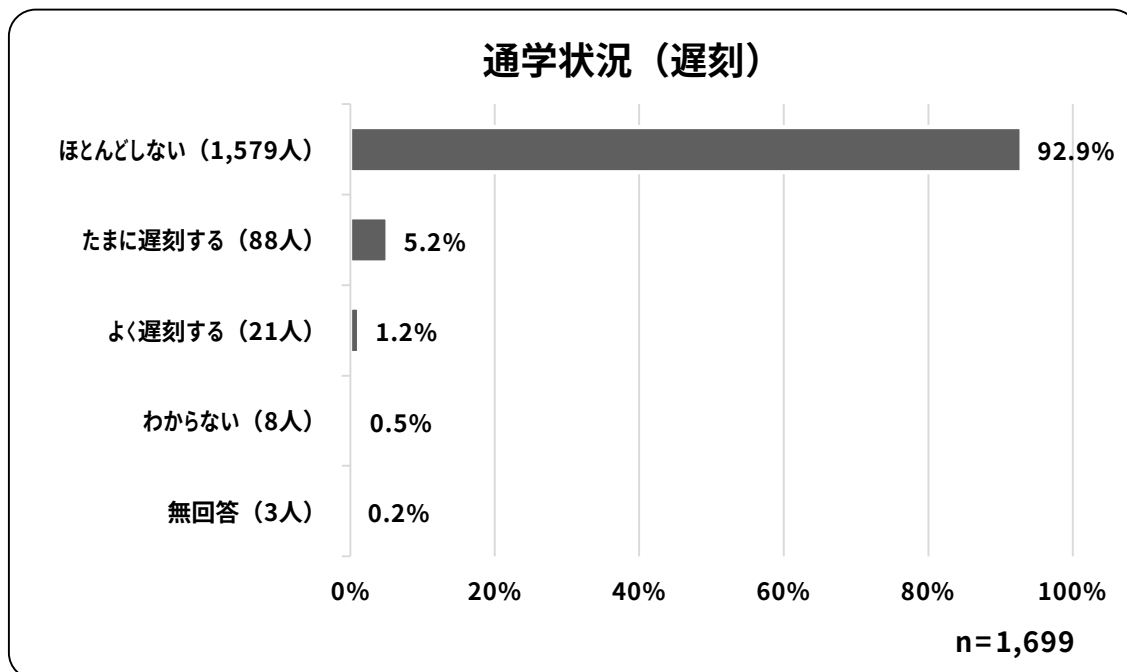


(2) 子どもの学校生活について

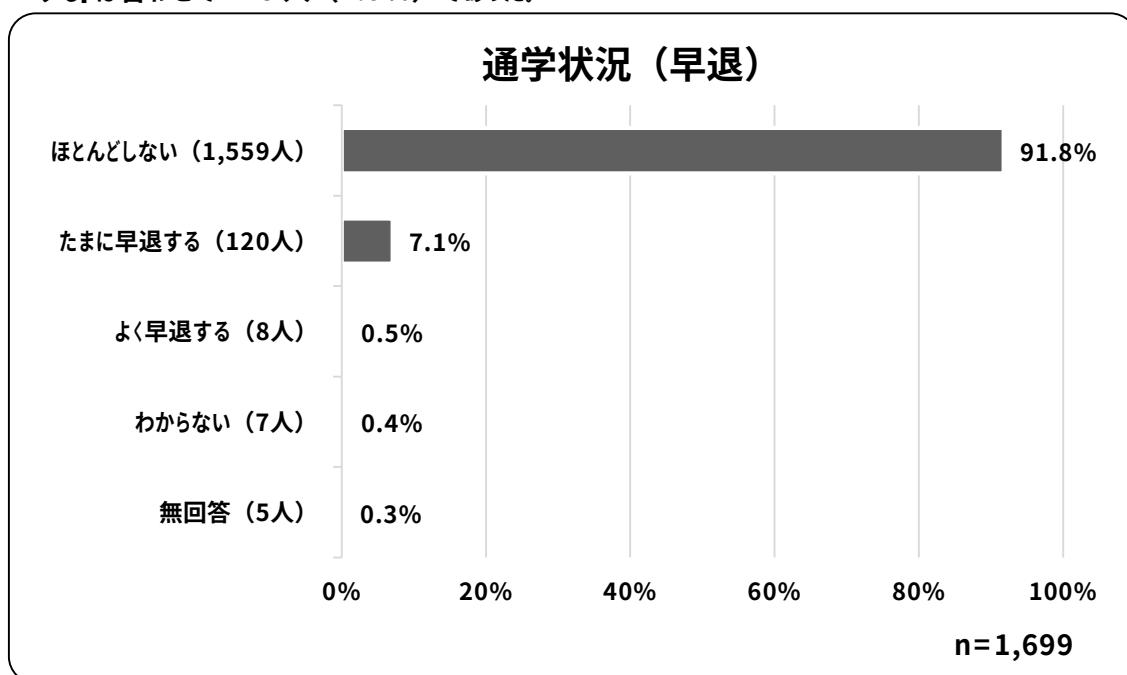
- ① 通学状況（欠席）については「ほとんどしない」が 80%を超えており、「たまに欠席する」、「よく欠席する」は合わせて 214 人（12.6%）であった。



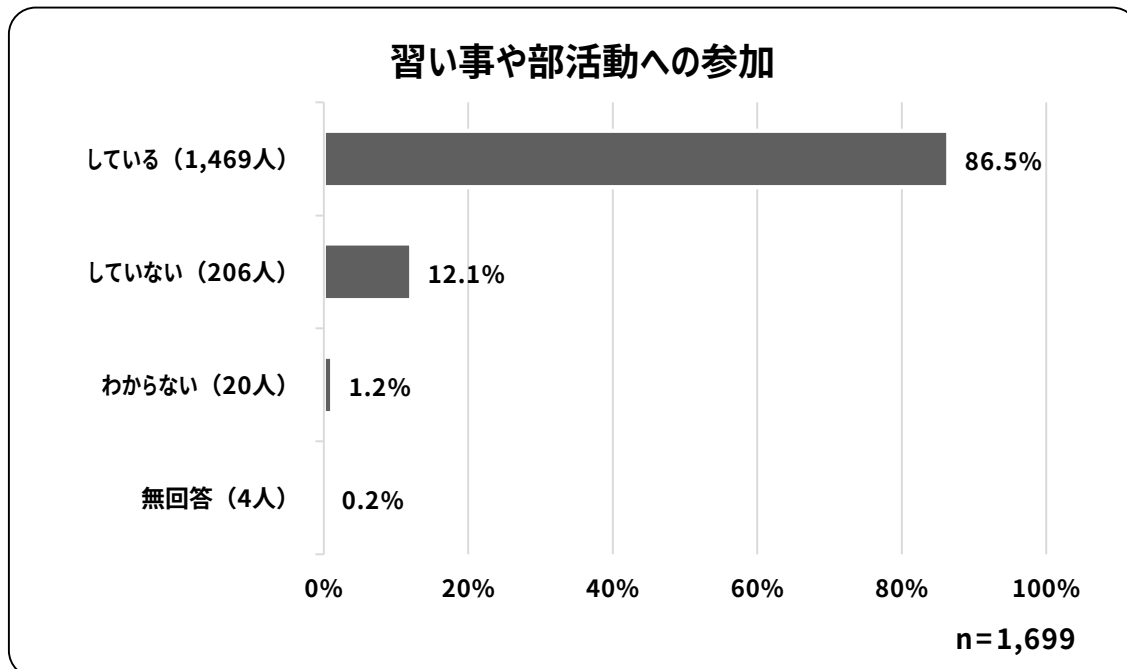
- ② 通学状況（遅刻）については「ほとんどしない」が 90%を超えており、「たまに遅刻する」、「よく遅刻する」は合わせて 109 人（6.4%）であった。



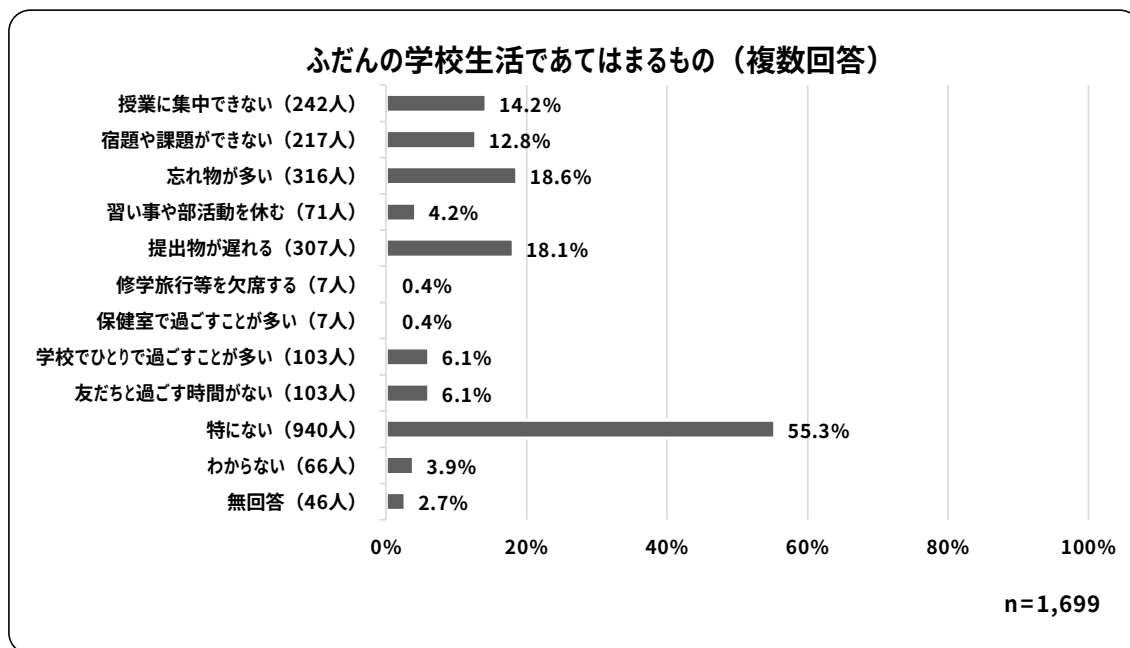
- ③ 通学状況（早退）については「ほとんどしない」が 90%を超えており、「たまに早退する」、「よく早退する」は合わせて 128 人（7.5%）であった。



- ④ 習い事や部活動への参加については「している」が 86.5%、「していない」が 12.1%であった。

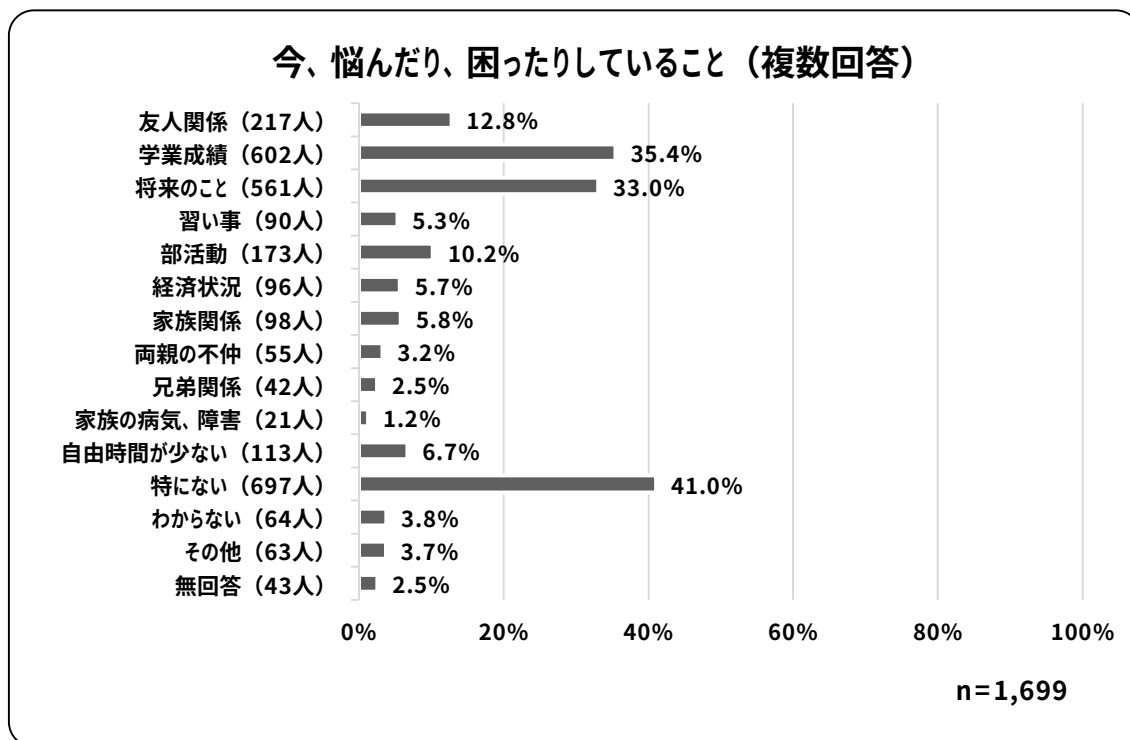


- ⑤ ふだんの学校生活であてはまるものについては「特にない」が55.3%で最も多く、続いて「忘れ物が多い」（18.6%）、「提出物が遅れる」（18.1%）であった。

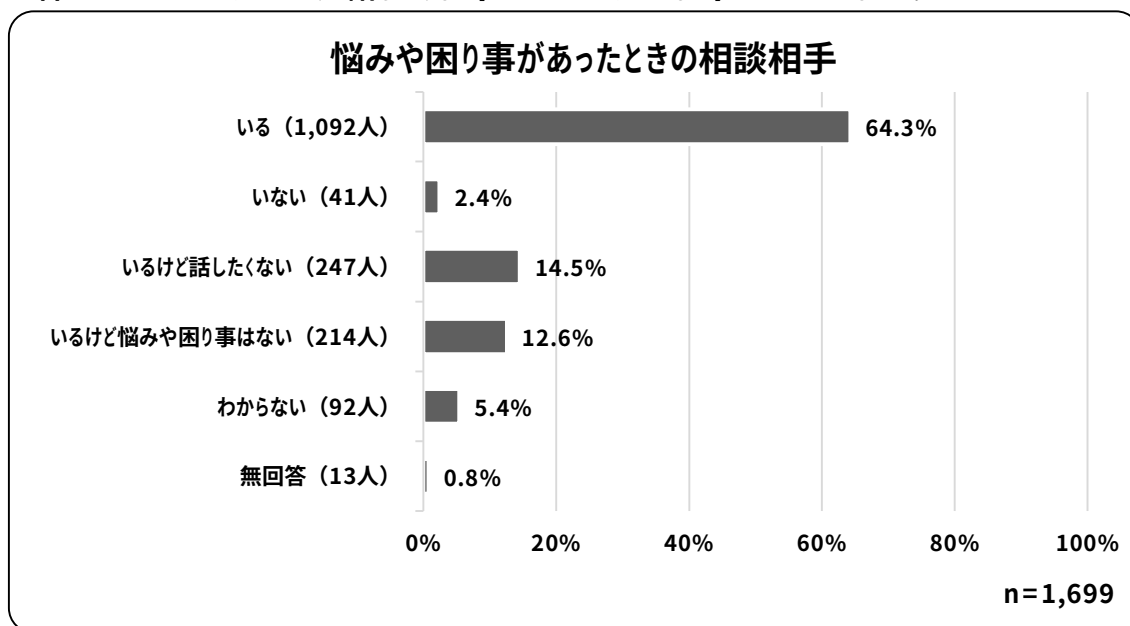


(3) 日常生活での悩み事について

- ① 今、悩んだり、困ったりしていることについては「特にない」が41.0%で最も多く、続いて「学業成績」（35.4%）、「将来のこと」（33.0%）となった。



- ② 悩みや困り事があったときの相談相手については「いる」、「いるけど悩みや困りごとはない」との回答が合わせて 76.9%、「いるけど話したくない」が 14.5%、「いない」が 2.4%となった。

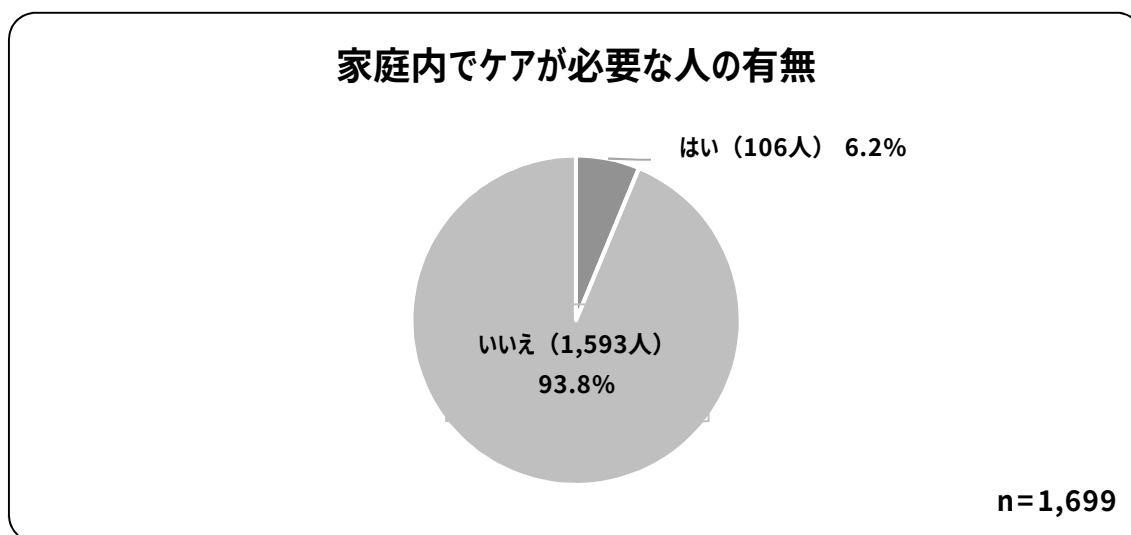


3 ケアが必要な家庭の実態について

(1) 子どもがケアを行っているかについて

① 家庭内でケアが必要な人の有無

家庭内でケアが必要な人があるかとの問いに対し、回答者 1,699 人のうち、「はい」という回答が 106 人（6.2%）、「いいえ」という回答が 1,593 人（93.8%）だった。



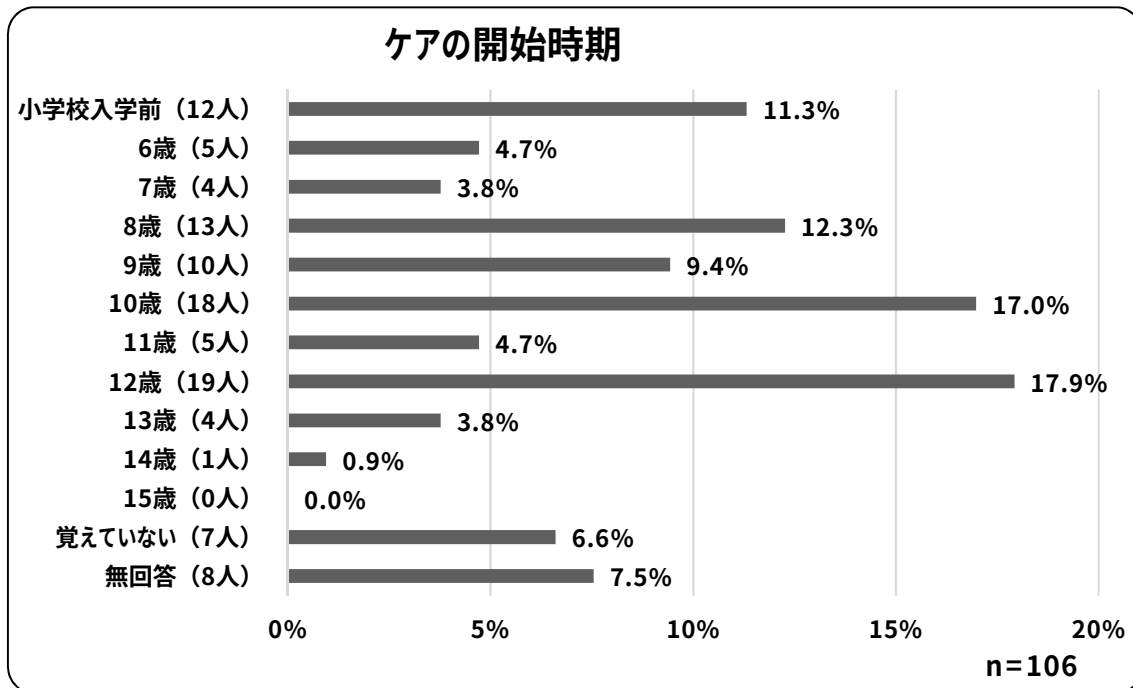
② ケアを行っている子どもの内訳

ケアを行っている子どもについて、男女差はほぼないという結果となった。

	男子	女子	無回答	合計
1 年生	16	23	1	40
2 年生	9	17	3	29
3 年生	23	13	1	37
合計	48	53	5	106

(2) ケアの開始時期について

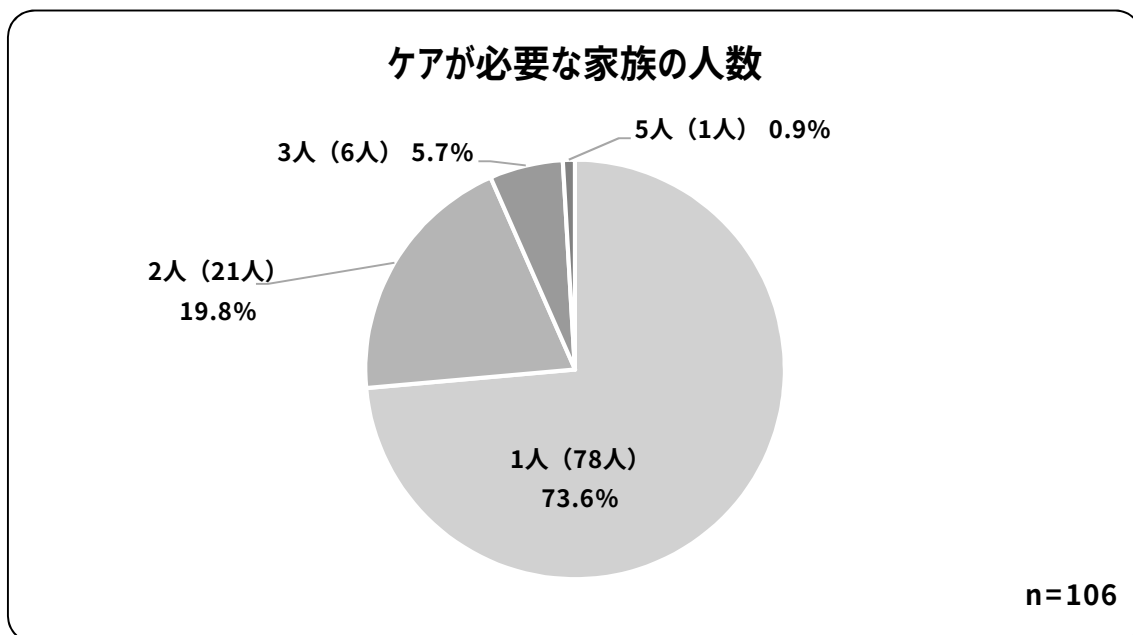
ケアを始めた年齢で回答が最も多かったのは、「12 歳」で、次いで「10 歳」「8 歳」「小学校入学前」の順となっている。



4 ケアしている家族について

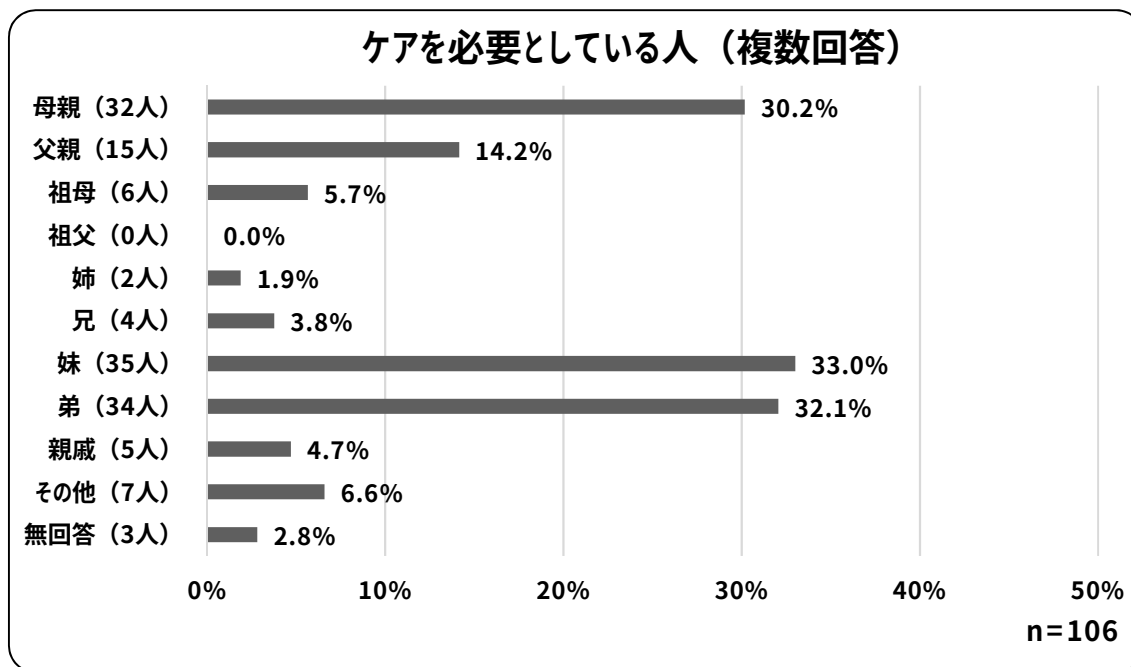
(1) 家庭内でのケアが必要な人数に

ケアが必要な家族について、「1 人」という回答が 106 人のうち 78 人と、全体の 73.6%を占めている。



(2) ケアを必要としている人

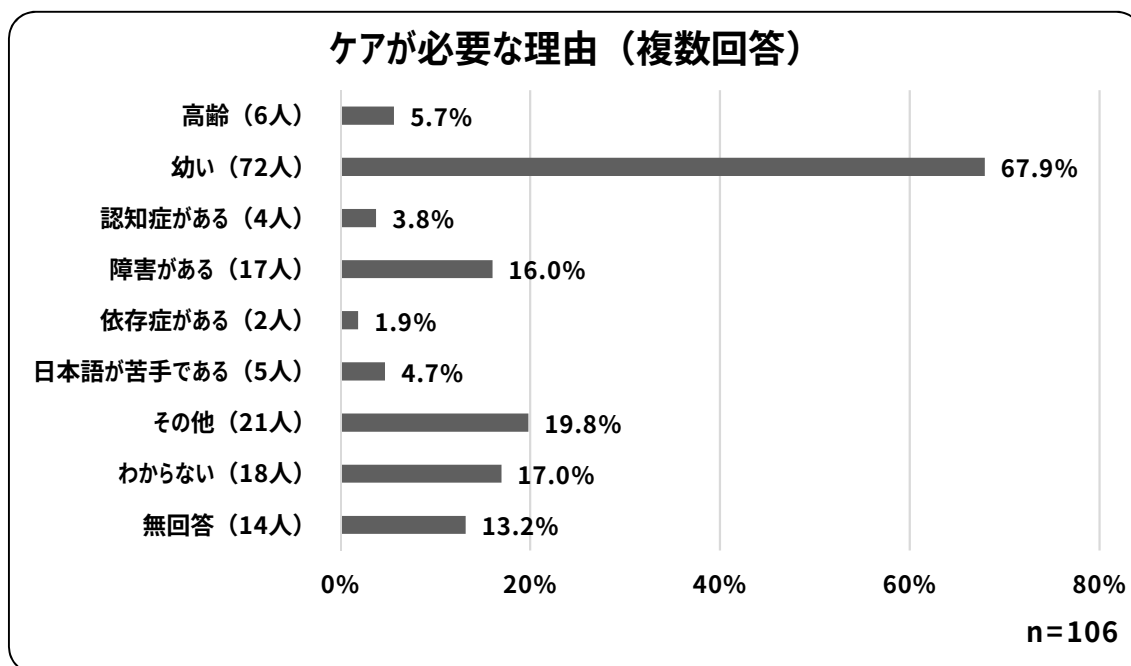
ケアを必要としている人は、妹や弟など年下のきょうだいが多い。また母親のケアをしているという回答も30.2%あった。



5 ケアの状況について

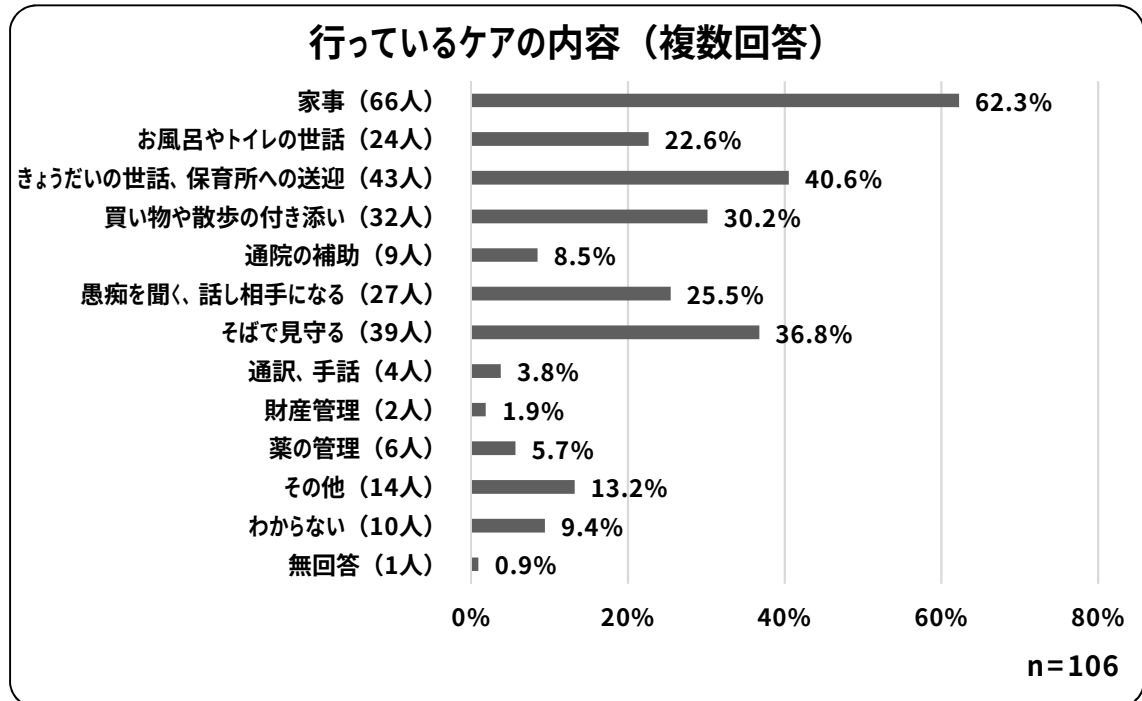
(1) ケアが必要な理由

ケアを必要としている人が年下のきょうだいである回答が多いことを受け、若いことを理由とする回答が最も多い。



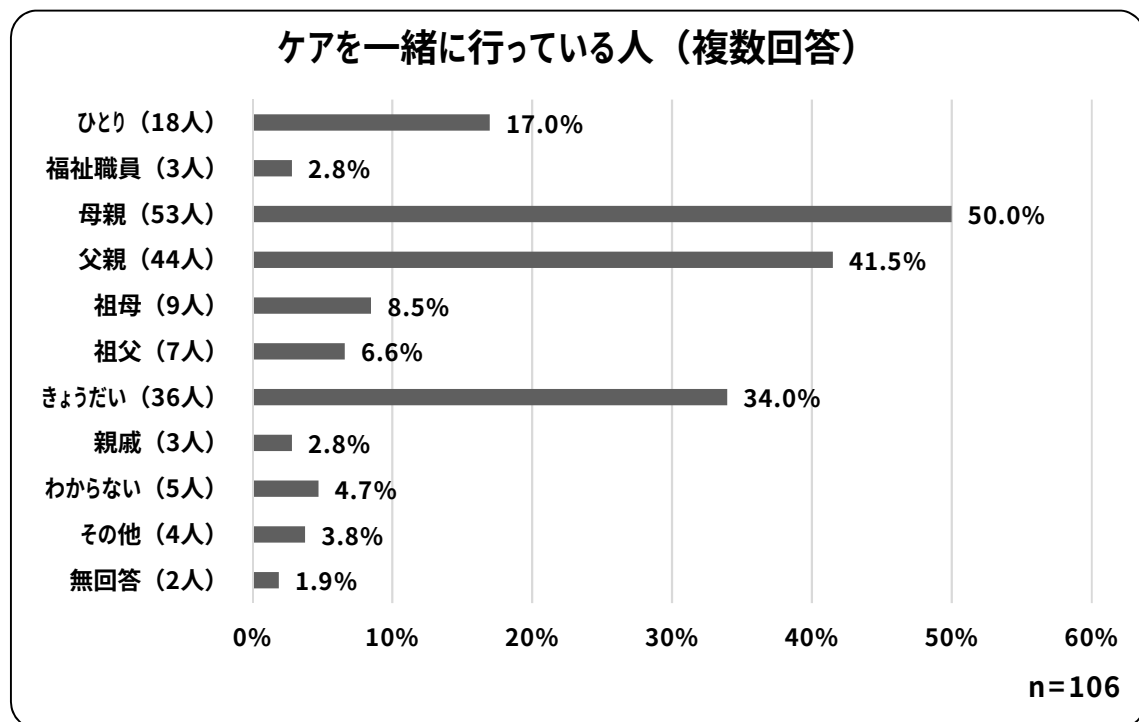
(2) 行っているケアの内容

「家事」という回答が最も多い。次いで「きょうだいの世話、保育所への送迎」「そばで見守る」「買い物や散歩の付き添い」となっている。



(3) ケアを一緒に行っている人

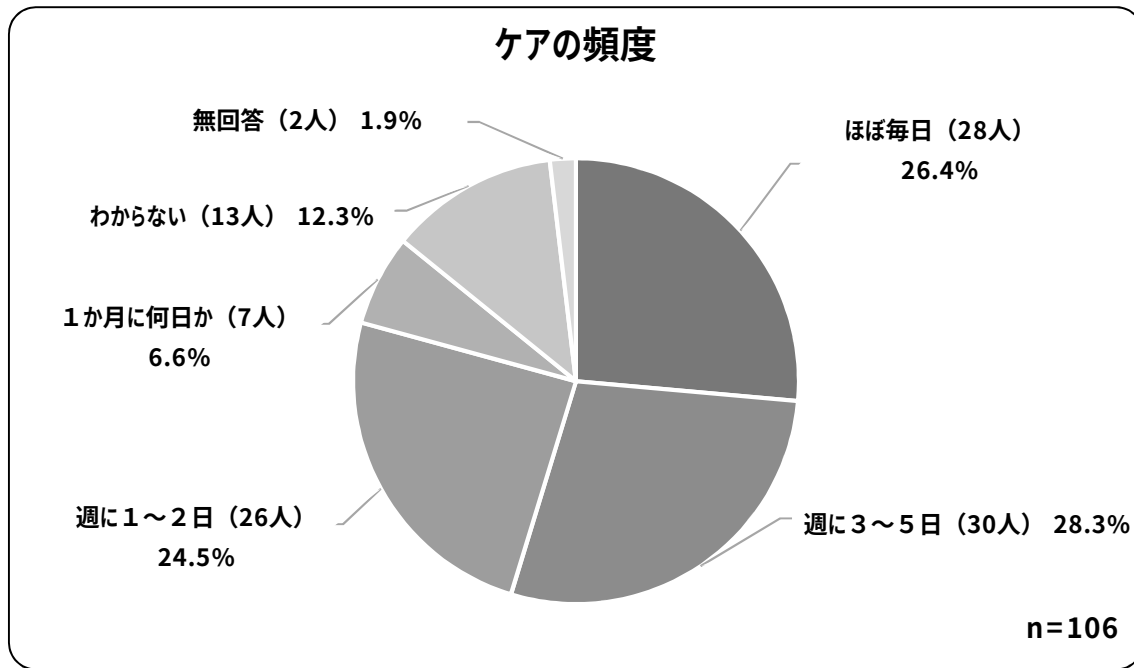
母親とともにケアを行っている回答が最も多く、次いで父親と行っているという回答が多い。



6 ケアを行う頻度及び費やす時間について

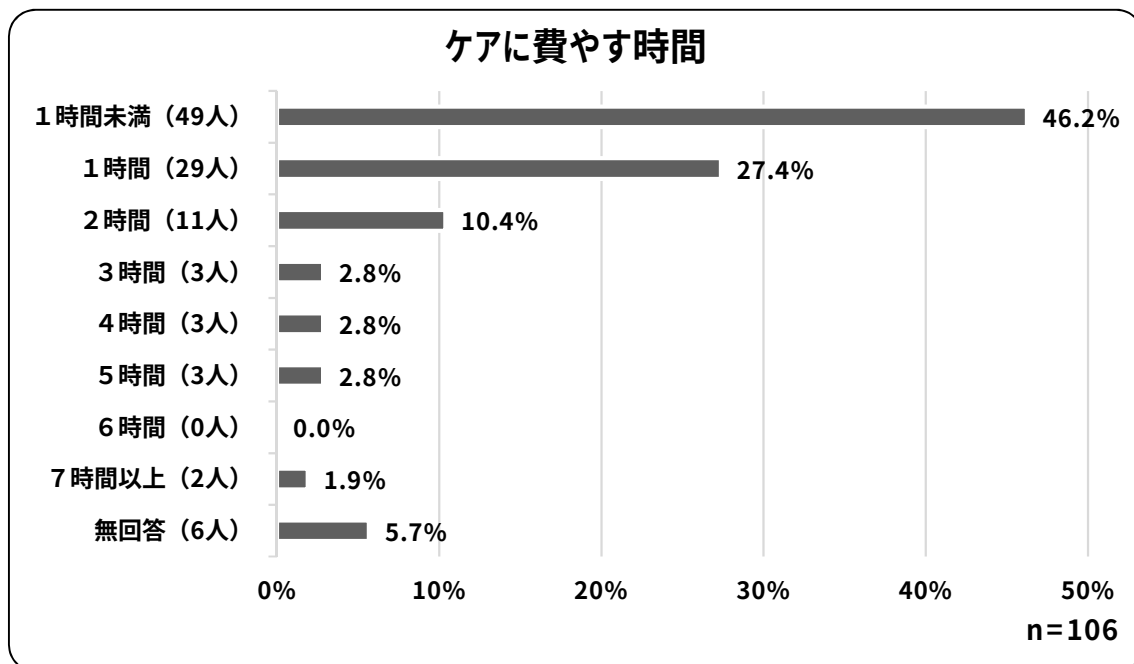
(1) ケアの頻度

ケアを行う頻度で最も多かった回答は「週に 3～5 日」とであった。また、1 週間に 1 日以上ケアを行っているという回答が全体の 8 割近くあった。



(2) ケアに費やす時間

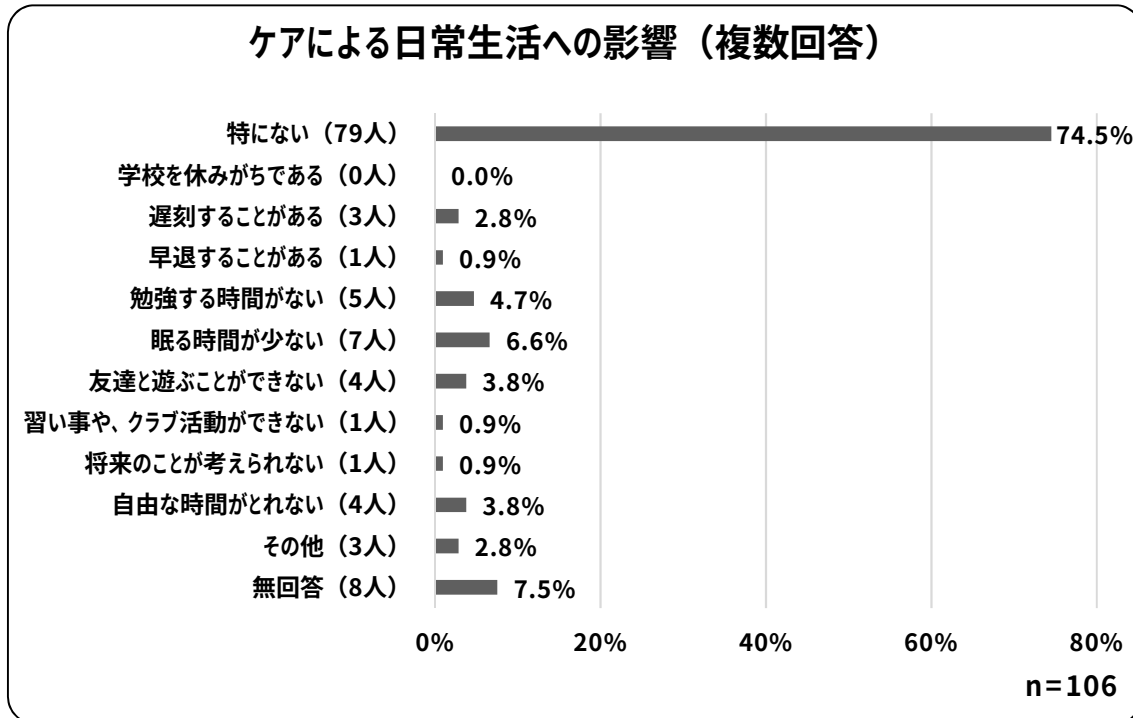
一日当たりのケアに費やす時間は、「1 時間未満」と回答が全体の半分ほどであったのに対し、「7 時間以上」という回答も 2 人あった。



7 ケアの影響について

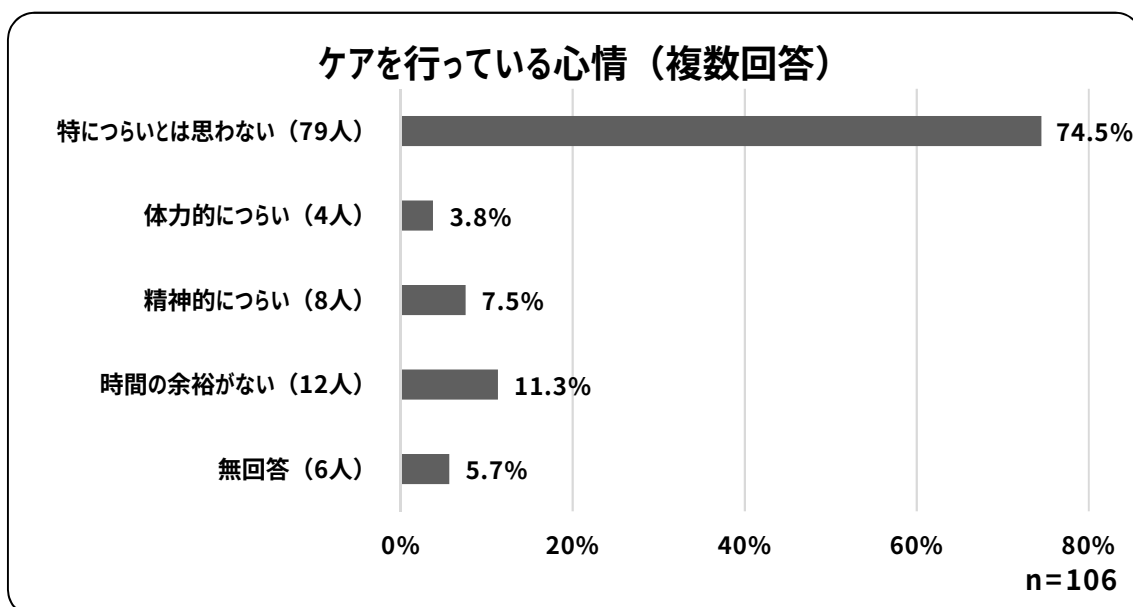
(1) ケアによる日常生活への影響

「特にない」という回答が最も多く、7割を超えている。影響があるという回答では、「眠る時間が少ない」「勉強する時間がない」「友達と遊ぶことができない」という回答が多い。



(2) ケアを行っている心情

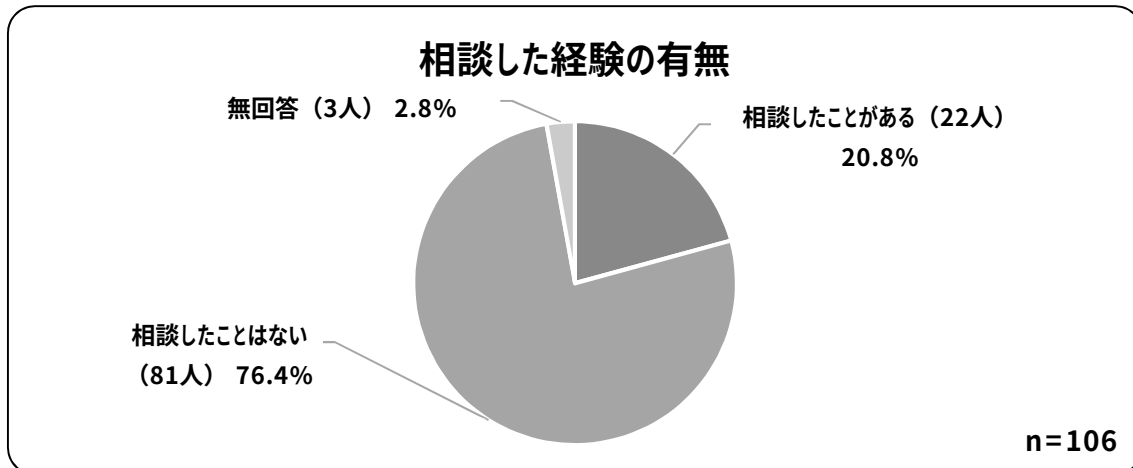
「特につらいとは思わない」とする回答が多く、8割を超えている。次いで「時間の余裕がない」「精神的につらい」「体力的につらい」という順となっている。



8 相談者、相談状況について

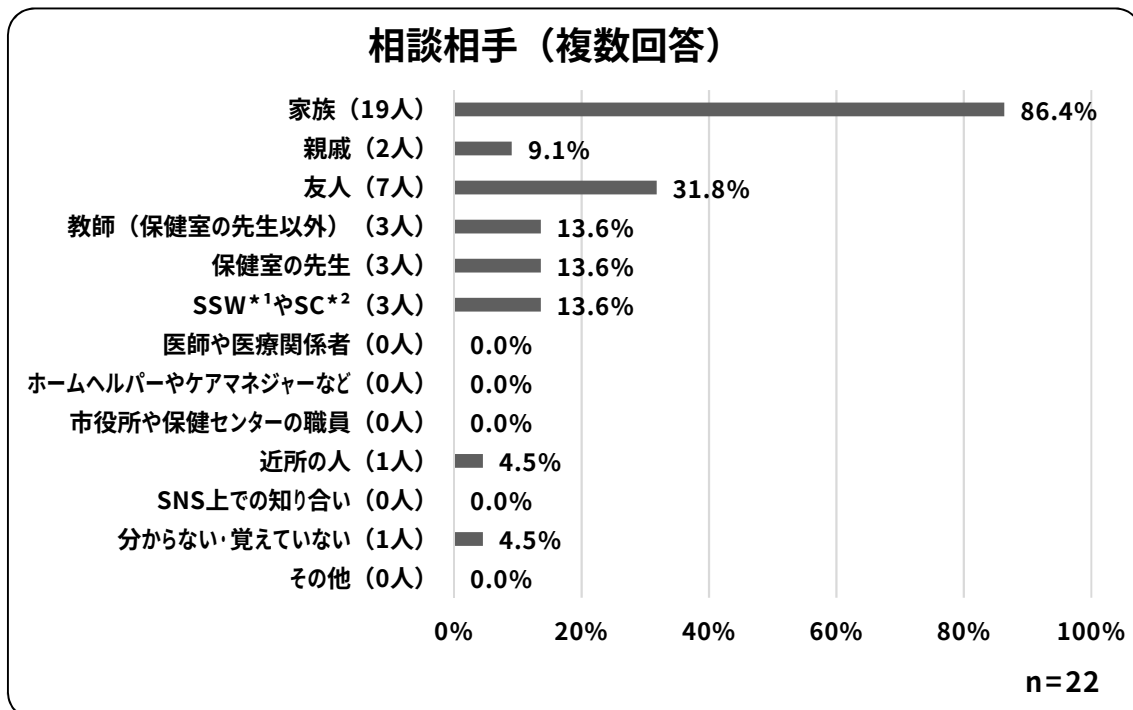
(1) 相談した経験の有無

悩みを相談したことがあるかという問いについて、「相談したことがある」という回答は約 2 割に留まった。



① 「相談したことがある」と回答した 22 人の相談相手の内訳

相談相手は、「家族」という回答が 86.4%と最も多い。次いで「友人」が多く、「教師（保健室の先生以外）」「保健室の先生」「SSW や SC」が同数で続いている。

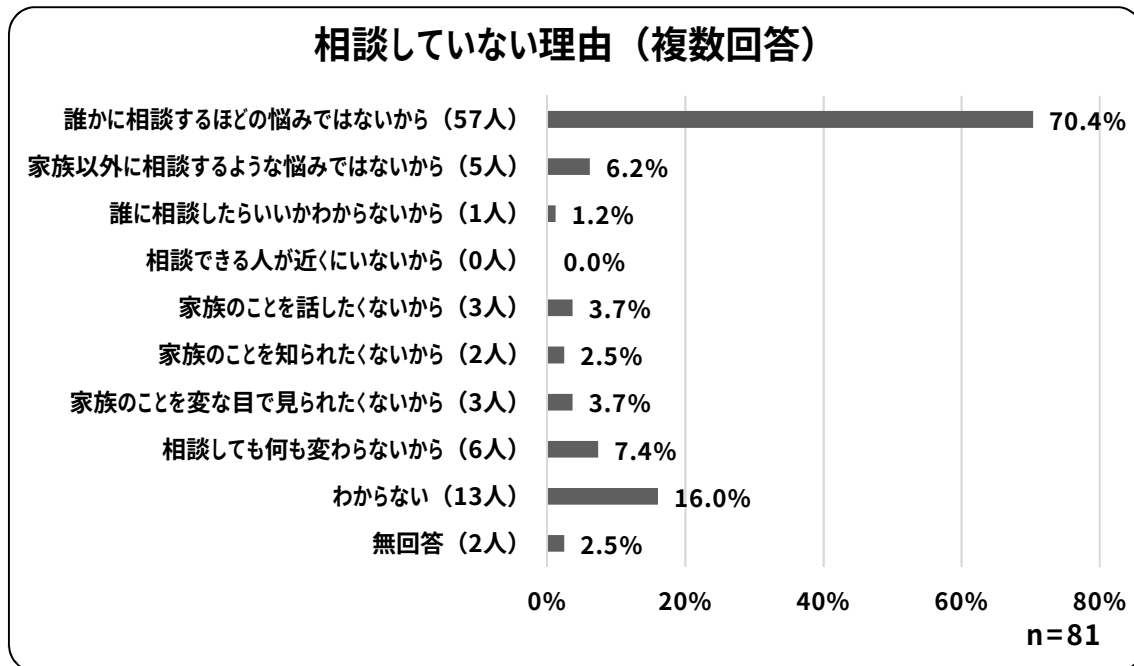


* 1 SSW：スクールソーシャルワーカー……教育機関で、主に児童が置かれている生活環境について分析し、他機関と連携を行う社会福祉士、精神保健福祉士等。

* 2 SC：スクールカウンセラー……教育機関で、主にカウンセリングを行う臨床心理士、精神科医等。

② 「相談したことはない」と回答した 81 人の相談していない理由

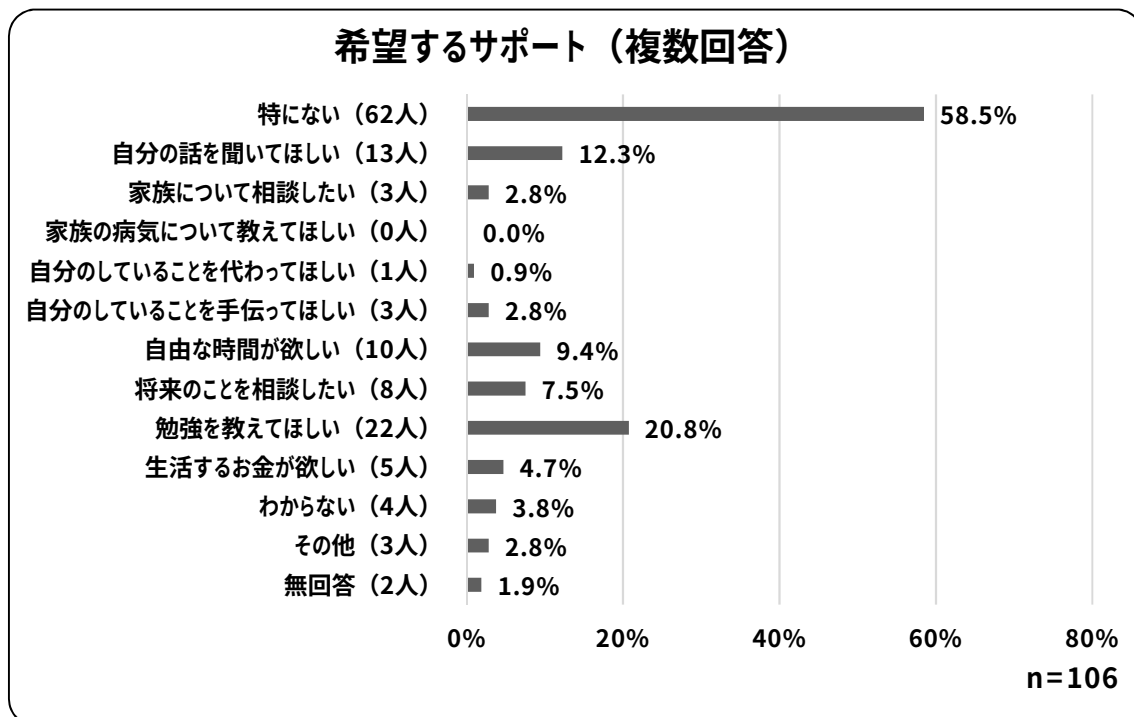
「誰かに相談するほどの悩みではないから」という回答が 70.4%と最も多い。



9 希望するサポート及び相談方法について

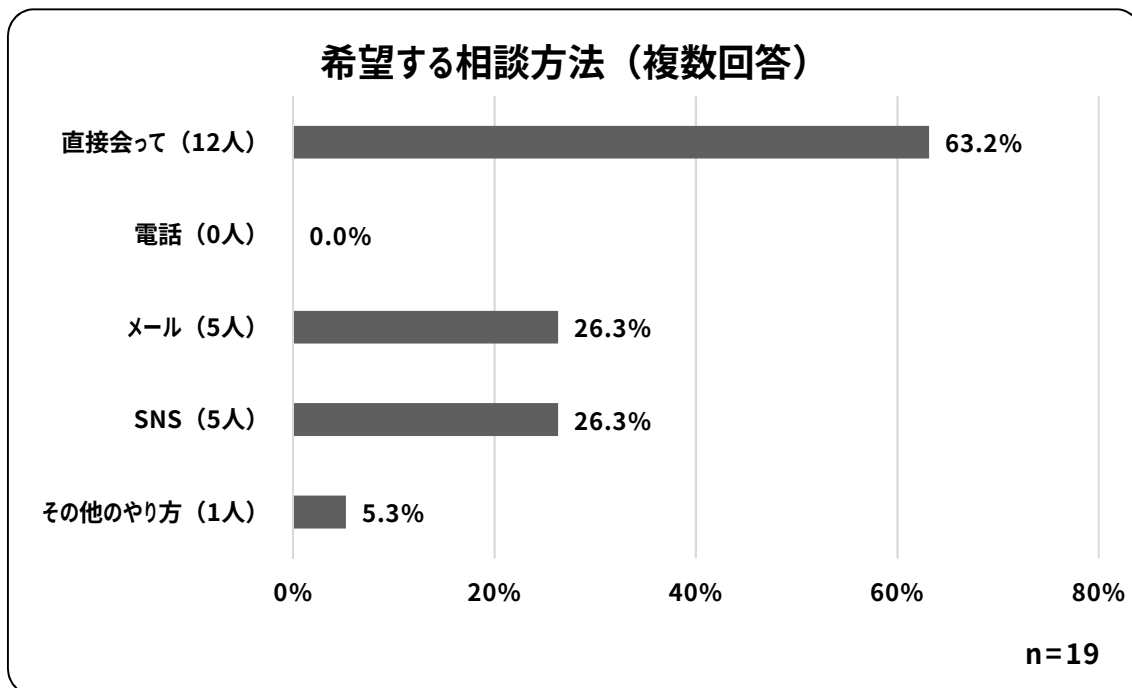
(1) 希望するサポート

「特にない」とする回答が半数以上となった。サポートを希望する回答では「勉強を教えてほしい」「自分の話を聞いてほしい」「自由な時間が欲しい」という回答が多い。



(2) 希望する相談方法

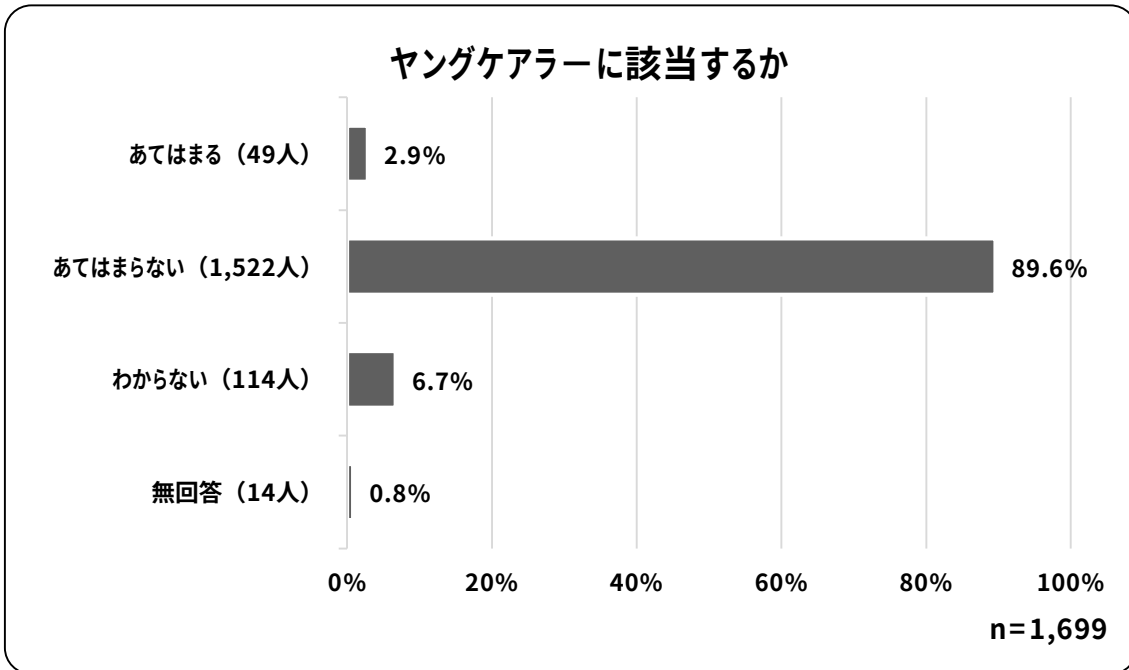
希望するサポートで「自分の話を聞いてほしい」、「相談したい」を選択した 19 人を対象に希望する相談方法について尋ねた。その結果、「直接会って」相談したいという回答が最も多かった。



10 ヤングケアラーについて

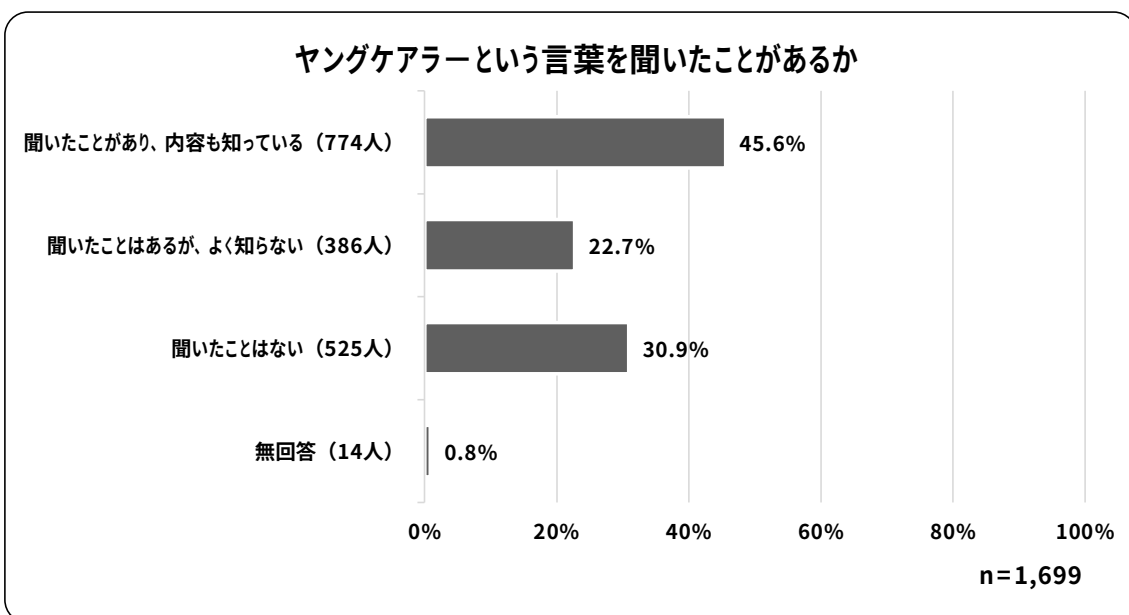
(1) 自身がヤングケアラーに該当するか

自身がヤングケアラーに「あてはまらない」と回答した人が 1,522 人（89.6%）で「あてはまる」と回答した人が 49 人（2.9%）であった。



(2) ヤングケアラーという言葉聞いたことがあるか

ヤングケアラーという言葉について「聞いたことがあり、内容も知っている」が 45.6%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が 22.7%と回答者の半数以上がこれまでに聞いたことがあるとの結果になった。一方で「聞いたことはない」との回答も 30.9%あった。



VI 高校生の調査結果

1 回答者内訳

回答のあった高校生の性別、学年の内訳は以下の通り。

	男子	女子	無回答	合計
1年生	11	22	0	33
2年生	20	30	3	53
3年生	11	17	0	28
合計	42	69	3	114

※性別未記入は「無回答」に合算した。

(1) 上記回答者のうち、市立川越高校の生徒の内訳

	男子	女子	無回答	合計
1年生	1	15	0	16
2年生	9	24	3	36
3年生	2	12	0	14
合計	12	51	3	66

※性別未記入は「無回答」に合算した。

(2) 上記回答者のうち、市立特別支援学校の生徒の内訳

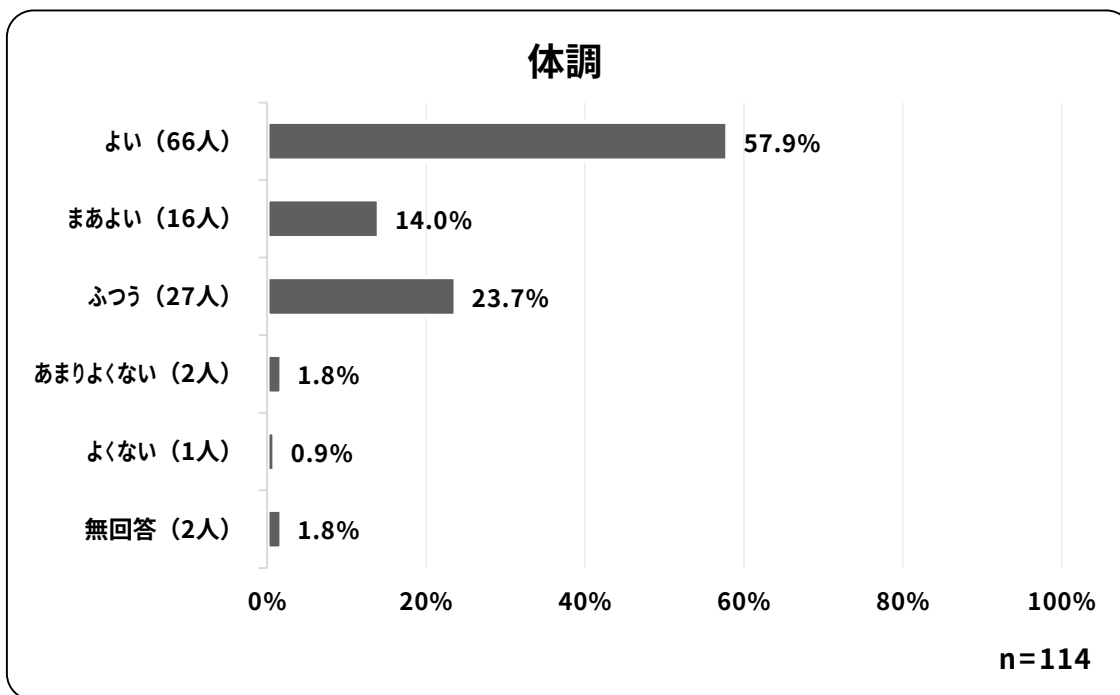
	男子	女子	無回答	合計
1年生	10	7	0	17
2年生	11	6	0	17
3年生	9	5	0	14
合計	30	18	0	48

※なお以降の設問は高校生全体の数値をもとに集計した。

2 子どもの日常生活について

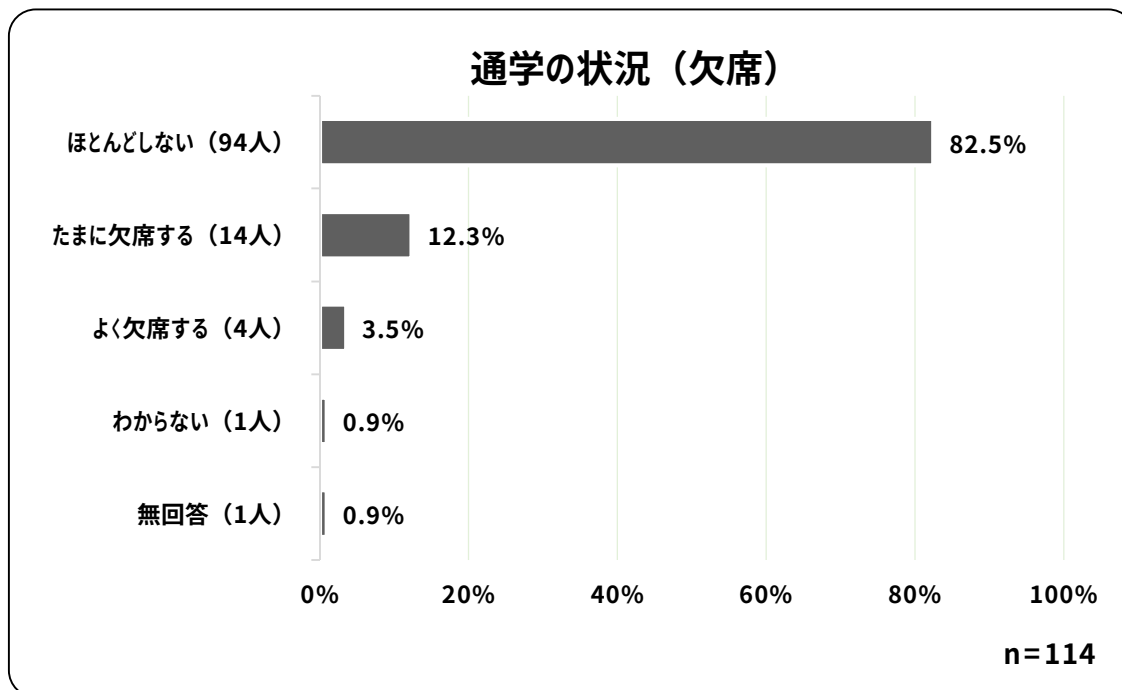
(1) 子どもの体調について

「よい」、「まあよい」とする回答が多く、合わせて 70%を超えている。「あまりよくない」、「よくない」とする回答は合わせて 3 人（2.6%）であった。

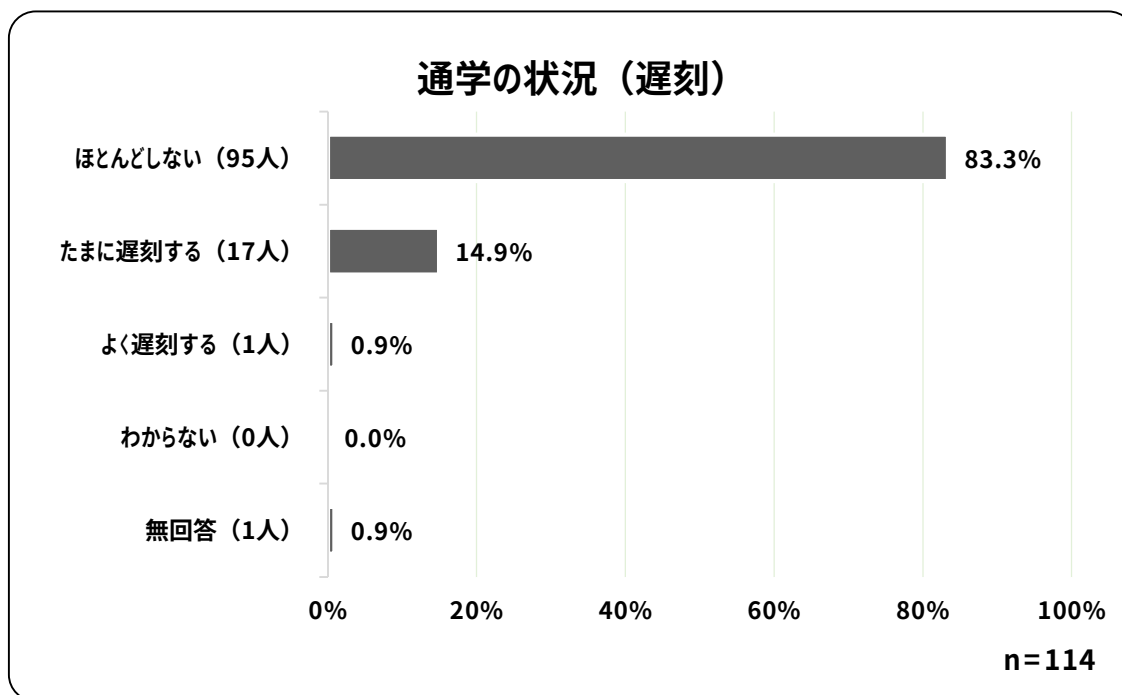


(2) 子どもの学校生活について

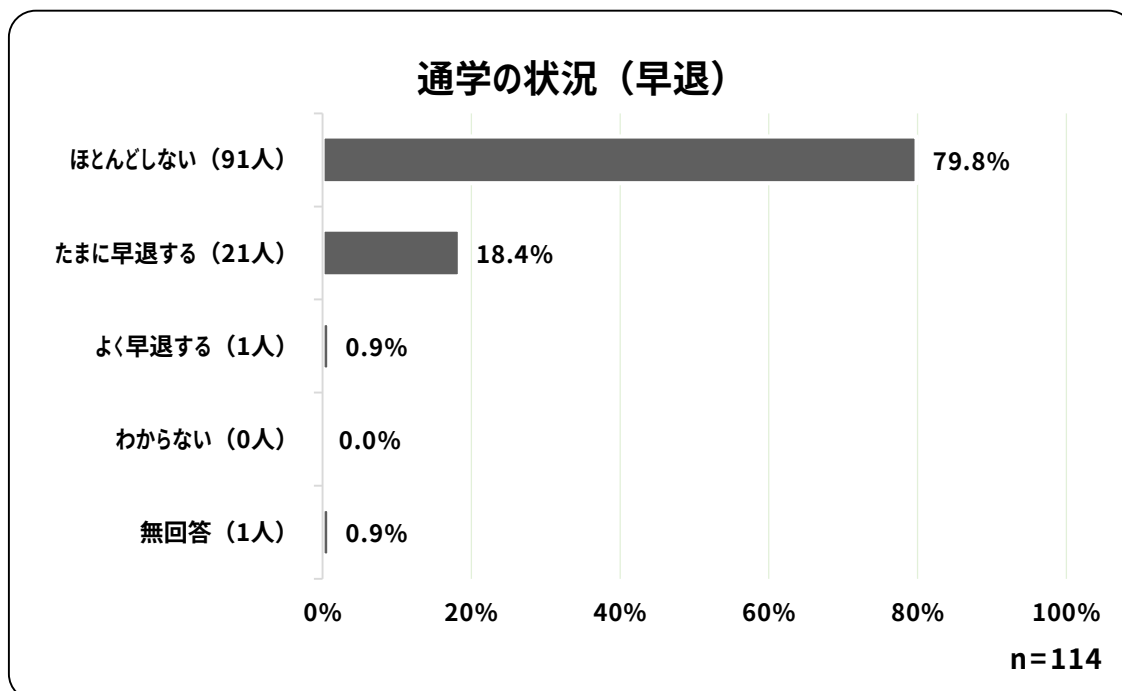
- ① 通学状況（欠席）については「ほとんどしない」が 80%を超えており、「たまに欠席する」、「よく欠席する」は合わせて 18 人（15.8%）であった。



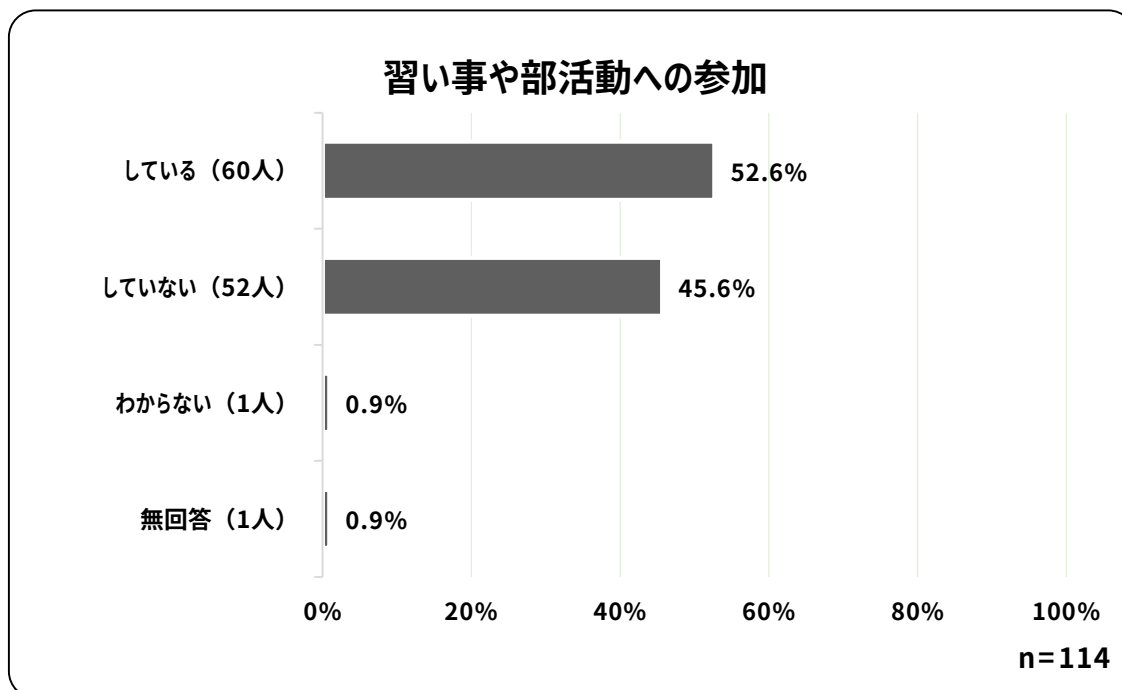
- ② 通学状況（遅刻）については「ほとんどしない」が 80%を超えており、「たまに遅刻する」、「よく遅刻する」は合わせて 18 人（15.8%）であった。



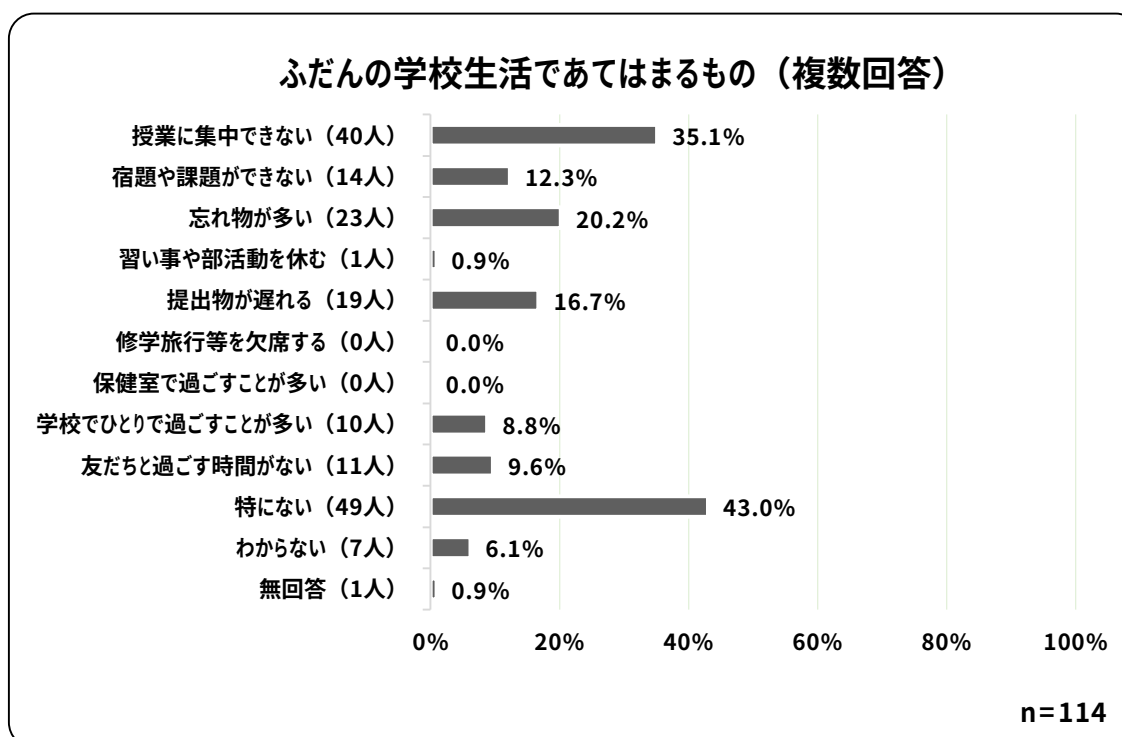
- ③ 通学状況（早退）については「ほとんどしない」が約 80%となっており、「たまに早退する」、「よく早退する」は合わせて 22 人（19.3%）であった。



- ④ 習い事や部活動への参加については「している」が 52.6%、「していない」が 45.6%であった。

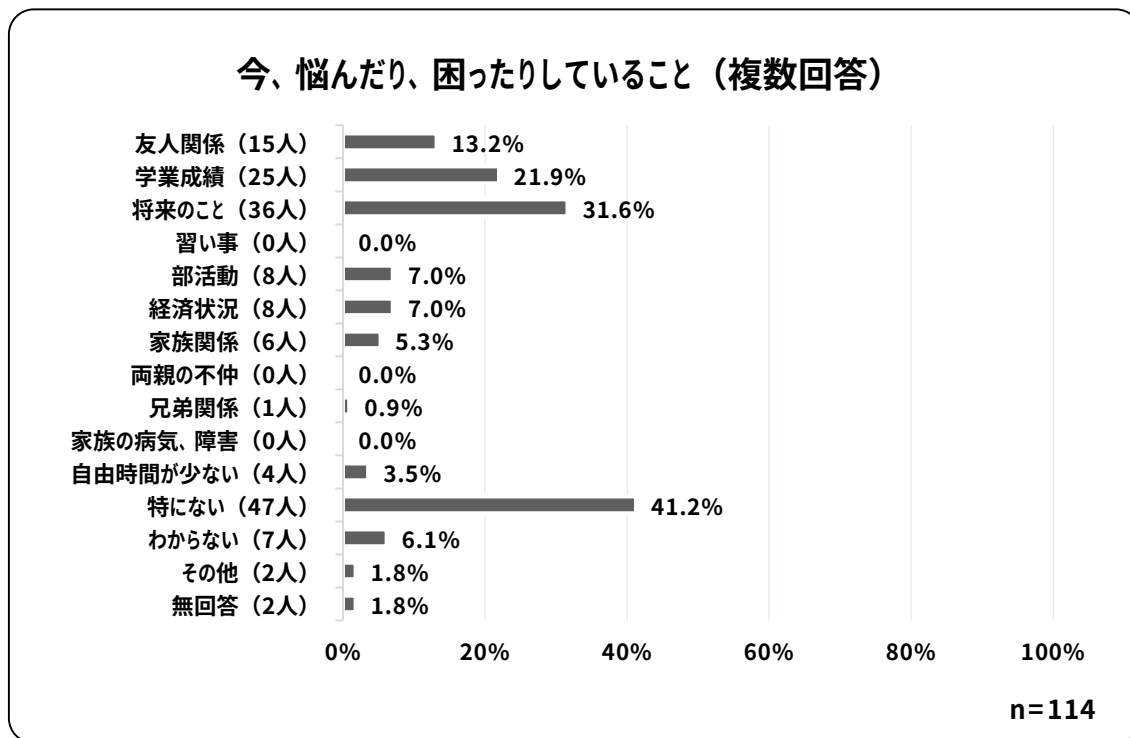


- ⑤ ふだんの学校生活であてはまるものについては「特にない」が 43.0%で最も多く、続いて「授業に集中できない」(35.1%)、「忘れ物が多い」(20.2%)であった。

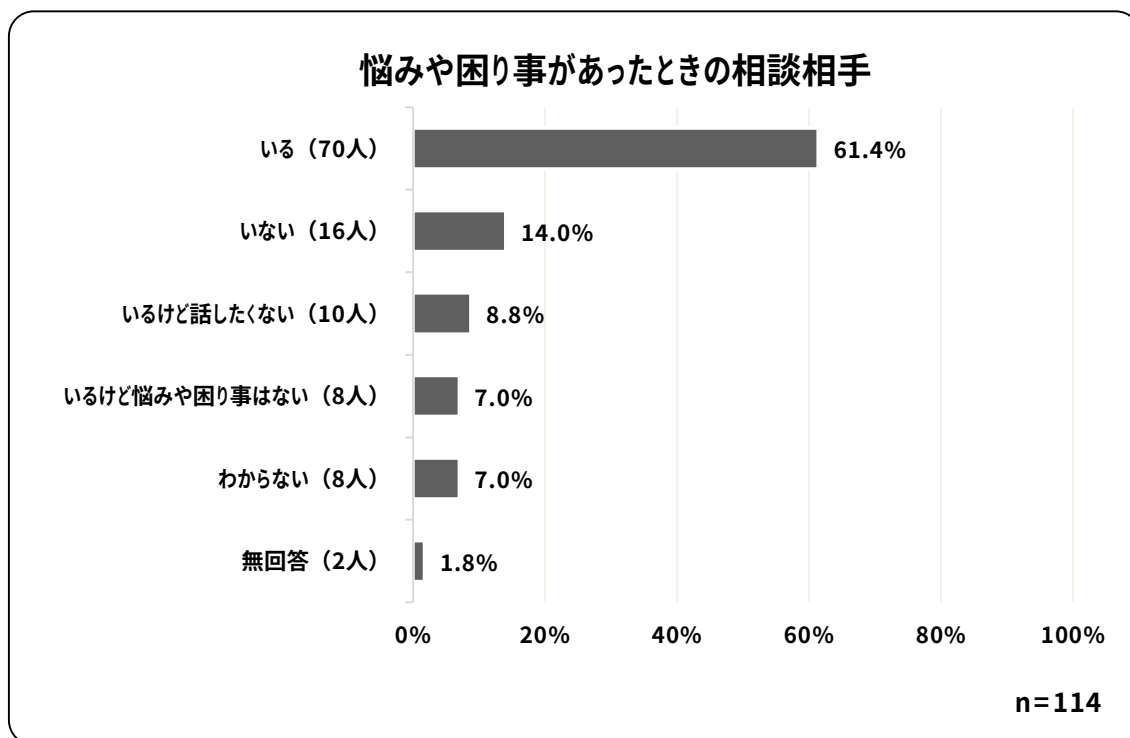


(3) 日常生活での悩み事について

- ① 今、悩んだり困ったりしていることについては「特にない」が 41.2%で最も多く、次いで「将来のこと」(31.6%)、「学業成績」(21.9%)となった。



- ② 悩みや困り事があったときの相談相手については「いる」、「いるけど悩みや困り事はない」との回答が合わせて 68.4%、「いるけど話したくない」が 8.8%、「いない」が 14.0%となった。

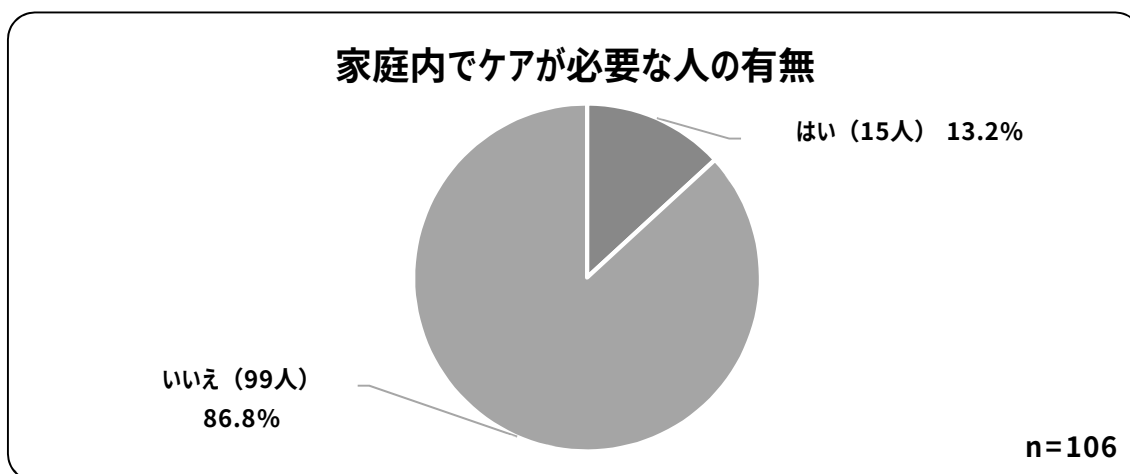


3 ケアが必要な家庭の実態について

(1) 子どもがケアを行っているかについて

① 家庭内でケアが必要な人の有無

家庭内でケアが必要な人がいるかとの問いに対し、回答者 114 人のうち、「はい」という回答が 15 人 (13.2%)、「いいえ」という回答が 99 人 (86.8%) だった。



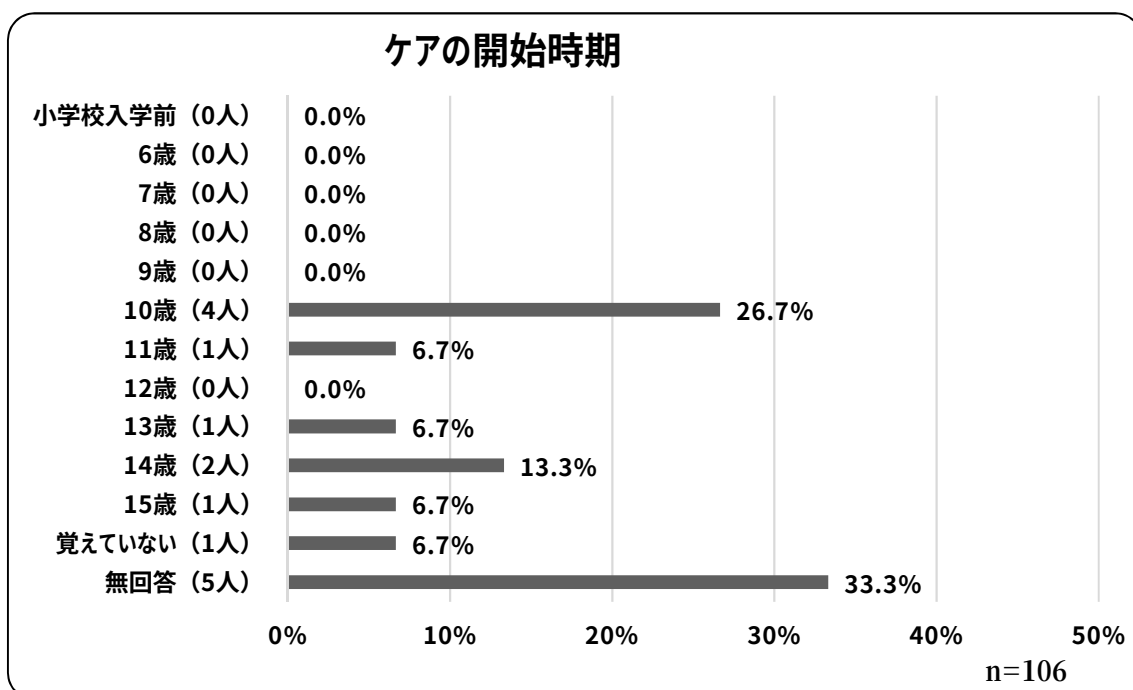
②ケアを行っている子どもの内訳

ケアを行っている子どもについて、高校生では男子のほうがやや多かった。

	男子	女子	無回答	合計
1 年生	3	4	0	7
2 年生	4	1	1	6
3 年生	2	0	0	2
合計	9	5	1	15

(2) ケアの開始時期

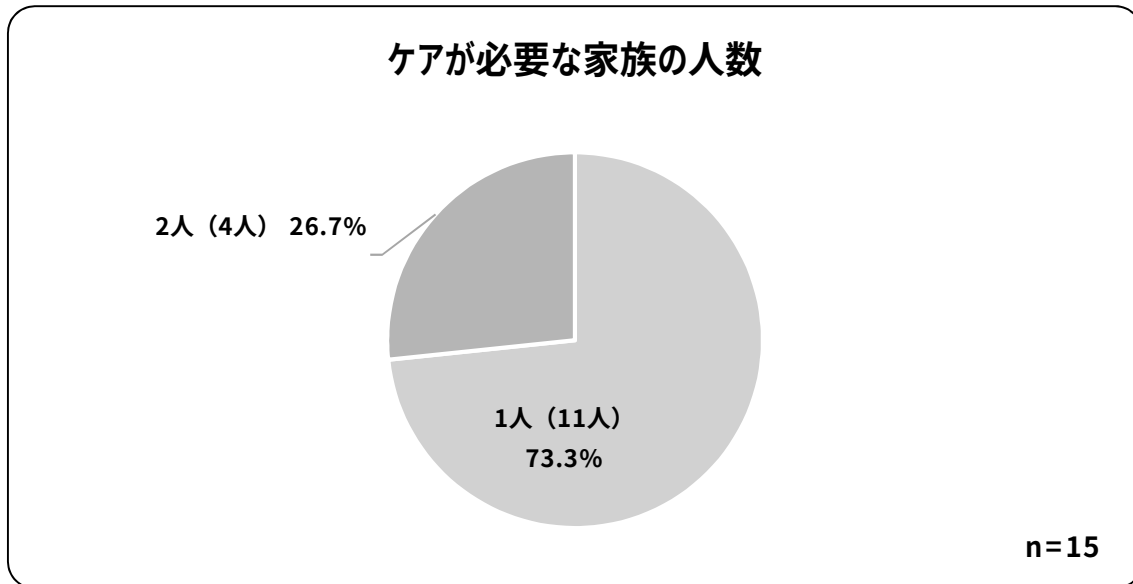
ケアを始めた年齢で回答が最も多かったのは「10 歳」で、次いで「14 歳」が多かった。



4 ケアしている家族について

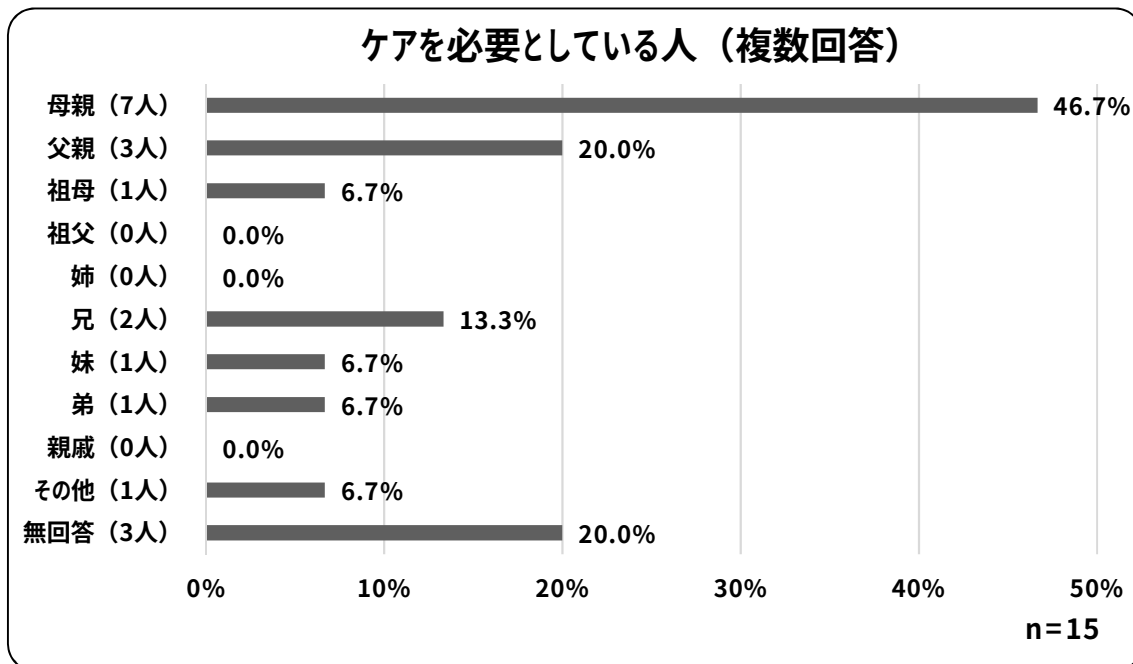
(1) 家庭内でのケアが必要な人数

ケアが必要な家族について、「1人」という回答が15人のうち11人と全体の73.3%を占めている。



(2) ケアを必要としている人

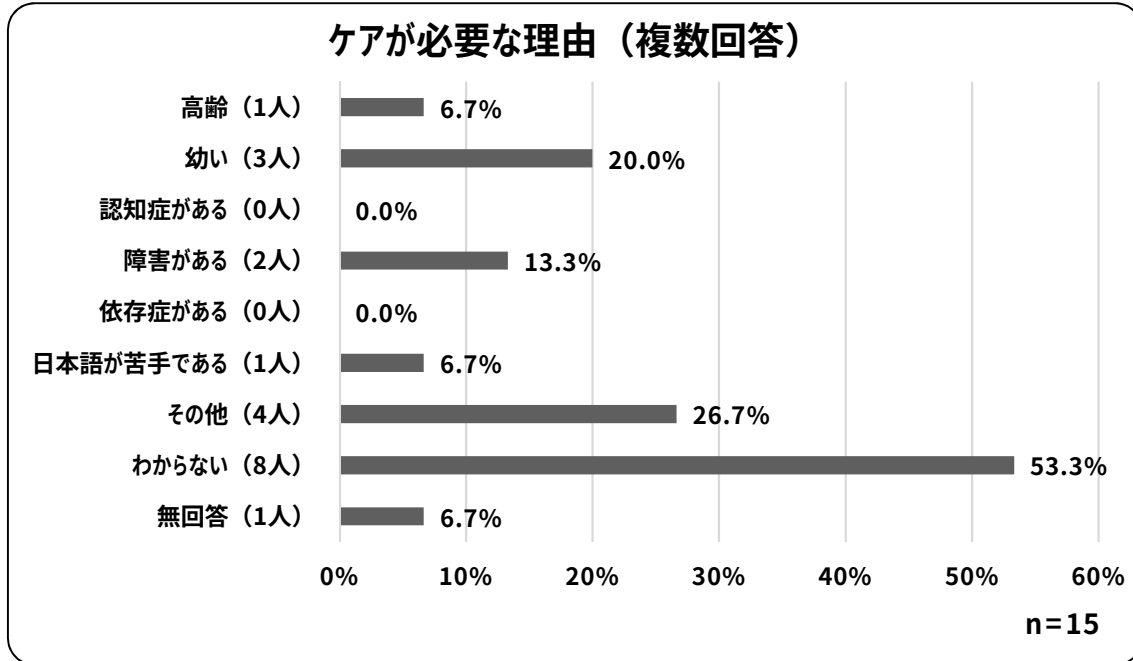
ケアを必要としている人は、「母親」という回答が最も多く、「父親」という回答と合わせ、親のケアを行っているという回答が全体の7割近くとなった。



5 ケアの状況について

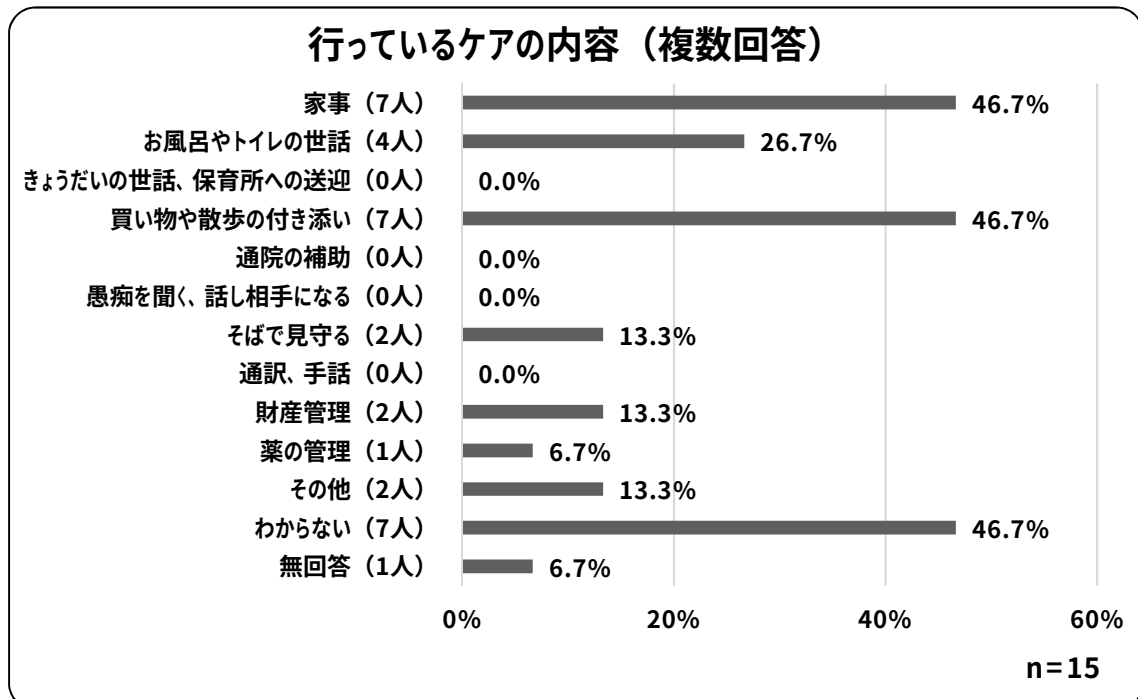
(1) ケアが必要な理由

ケアが必要な理由が「わからない」という回答が最も多かった。



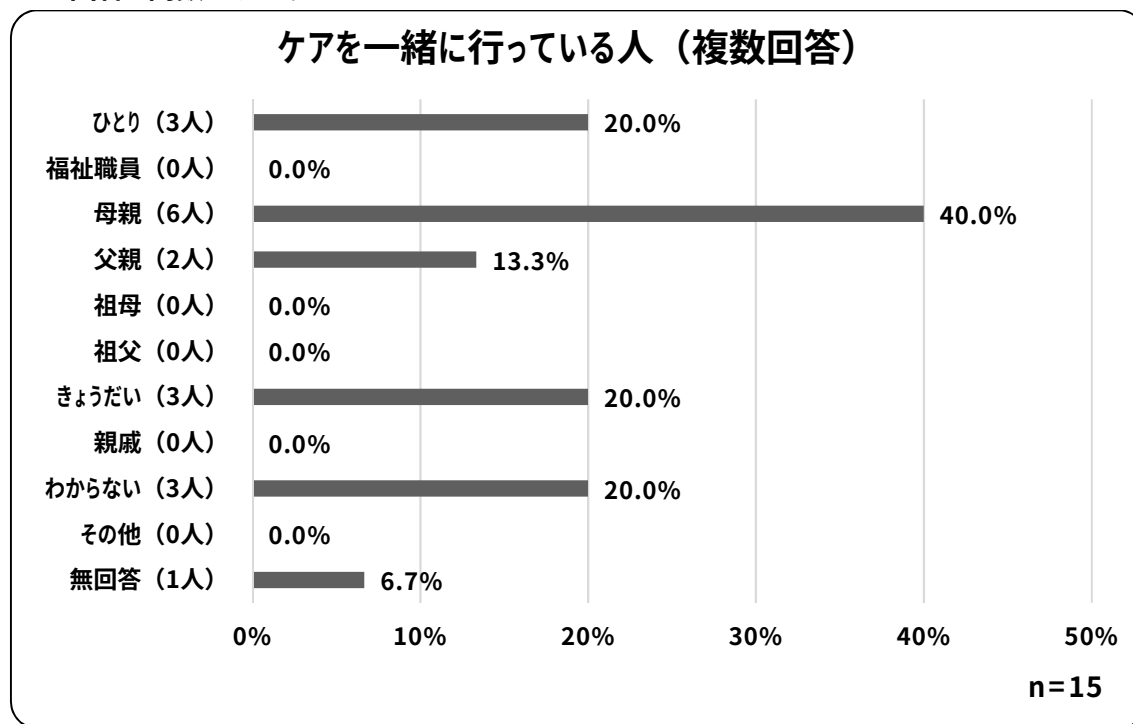
(2) 行っているケアの内容

「家事」、「買い物や散歩の付き添い」、「わからない」という回答が同数で最も多かった。



(3) ケアと一緒にいる人

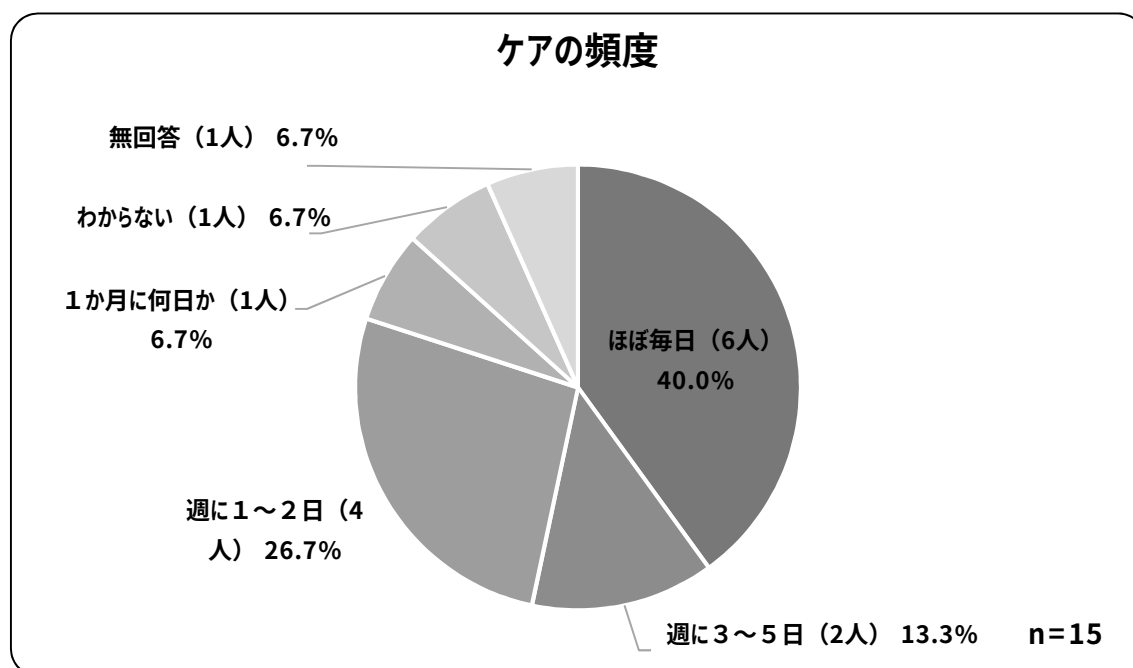
「母親」とともにケアを行っているという回答が最も多く、次いで「ひとり」「父親」「きょうだい」「わからない」という回答が同数であった。



6 ケアを行う頻度及び費やす時間について

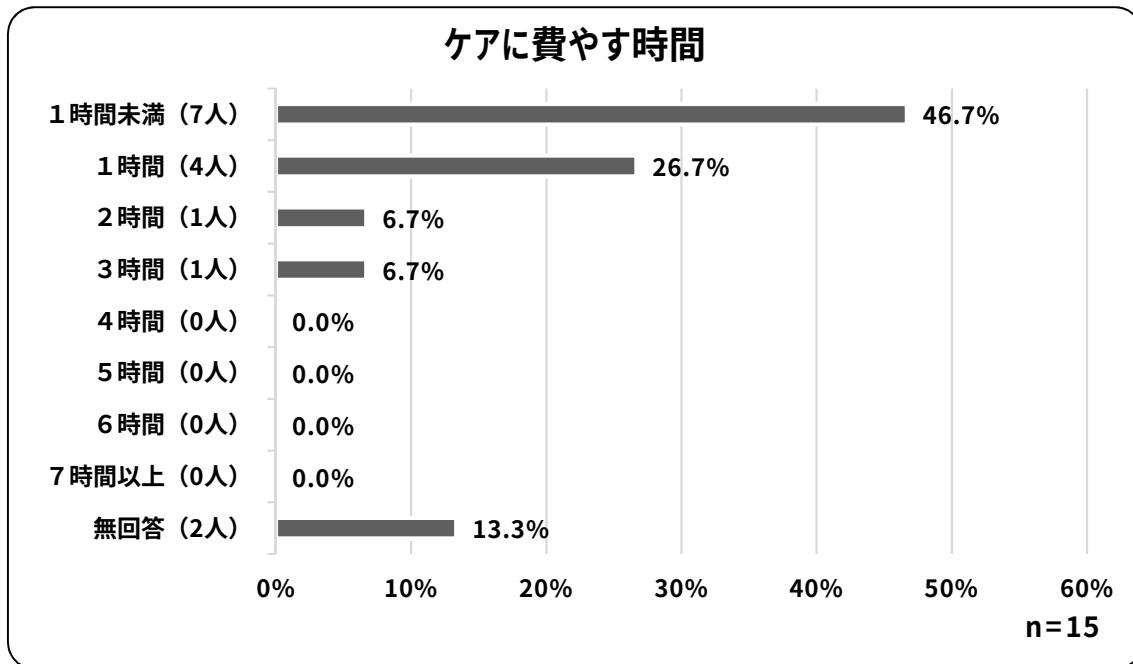
(1) ケアの頻度

ケアを行う頻度で最も多かった回答は「ほぼ毎日」だった。また、1週間に1日以上ケアを行っているという回答が全体の8割であった。



(2) ケアに費やす時間

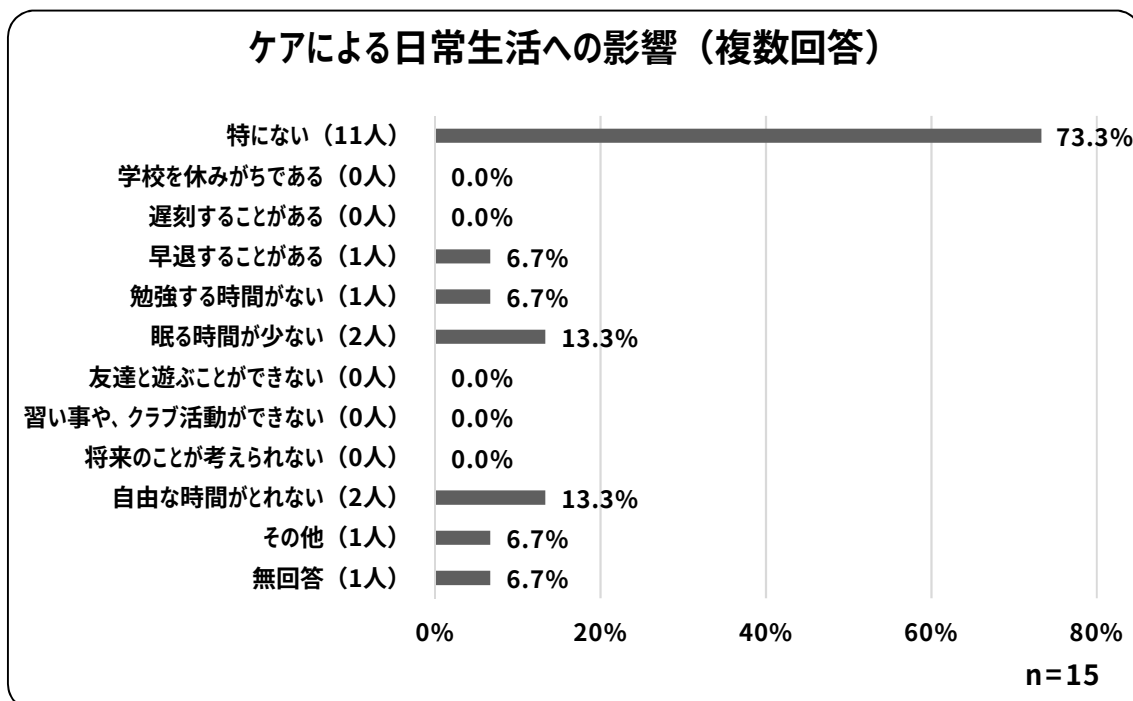
一日当たりのケアに費やす時間は、「1 時間未満」という回答が全体の半分ほどであった。



7 ケアの影響について

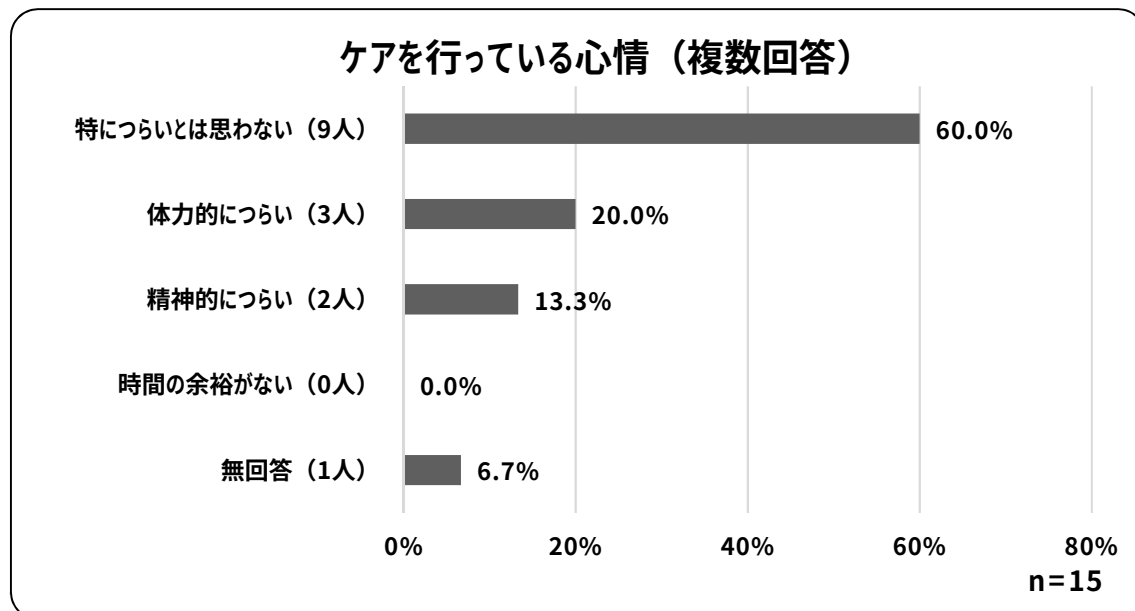
(1) ケアによる日常生活への影響

「特にない」という回答が最も多く、7 割を超えている。影響があるという回答では「眠る時間が少ない」「自由な時間がとれない」という回答が多い。



(2) ケアを行っている心情

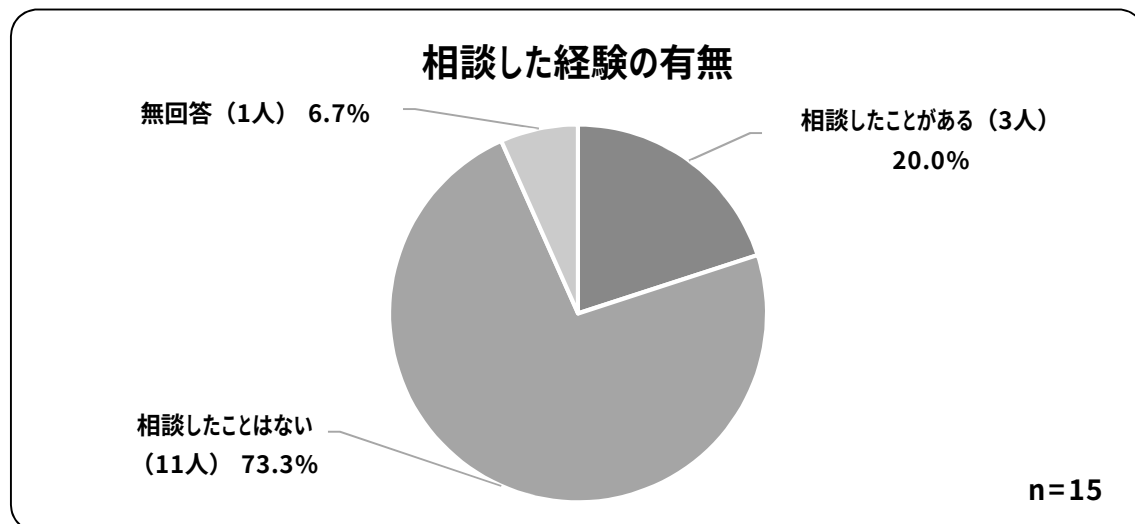
「特につらいとは思わない」とする回答が多く、次いで「体力的につらい」「精神的につらい」という順となっている。



8 相談者、相談状況について

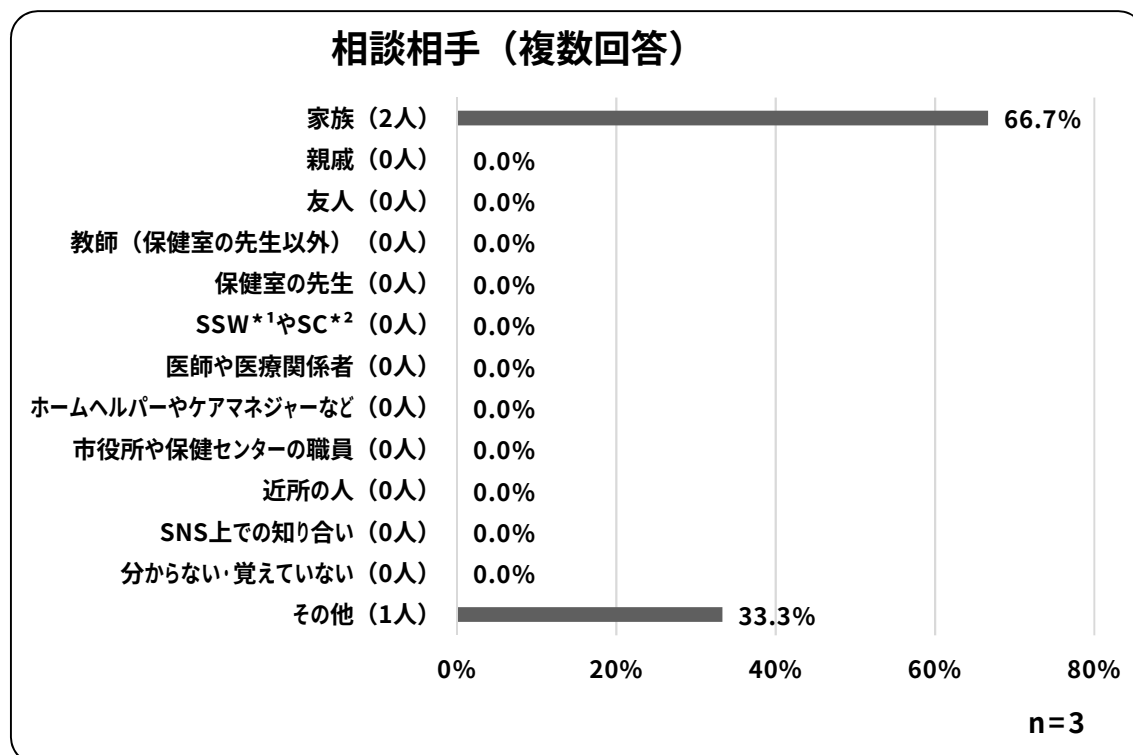
(1) 相談した経験の有無

悩みを相談したことがあるかという問いについて、「相談したことがある」という回答は2割に留まった。



① 「相談したことがある」と回答した 3 人の相談相手の内訳

相談相手は、「家族」が最も多かった。

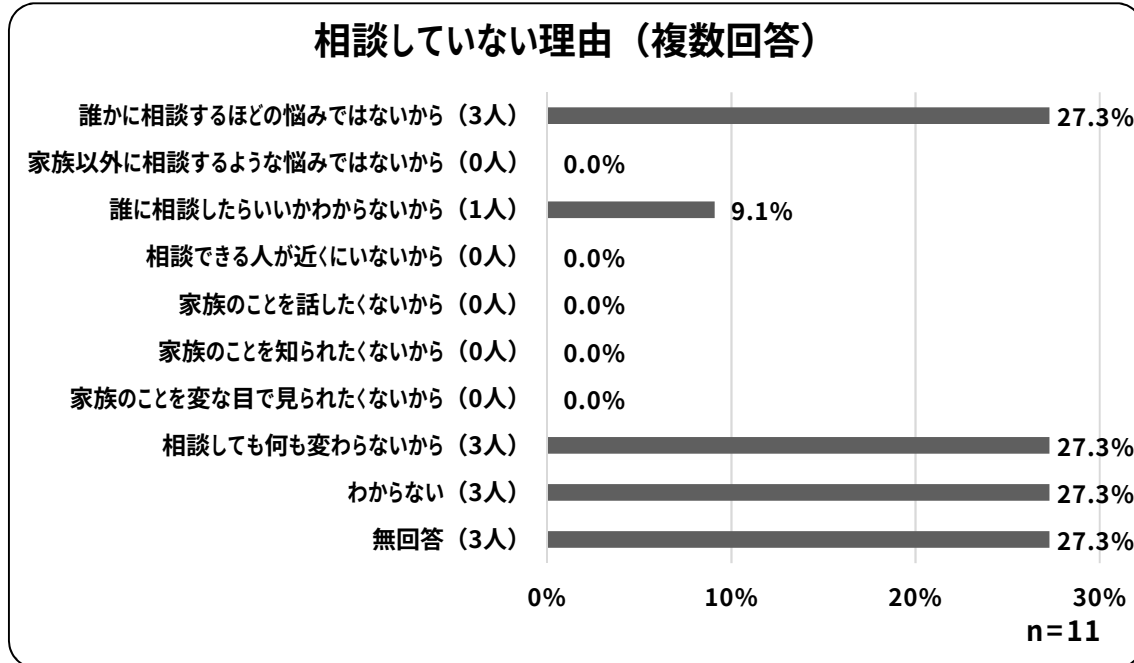


* 1 SSW：スクールソーシャルワーカー……教育機関で、主に児童が置かれている生活環境について分析し、他機関と連携を行う社会福祉士、精神保健福祉士等。

* 2 SC：スクールカウンセラー……教育機関で、主にカウンセリングを行う臨床心理士、精神科医等。

② 「相談したことはない」と回答した 11 人の相談していない理由

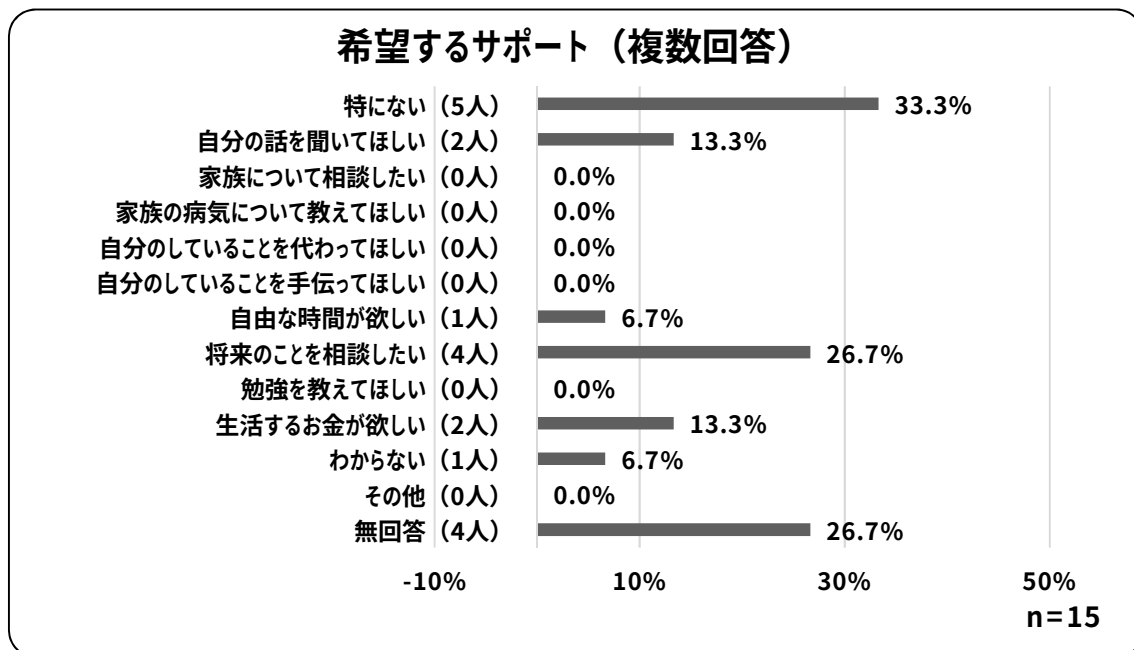
「誰かに相談するほどの悩みではないから」、「相談しても何も変わらないから」、「わからない」という回答が同数で多かった。



9 希望するサポート及び相談方法について

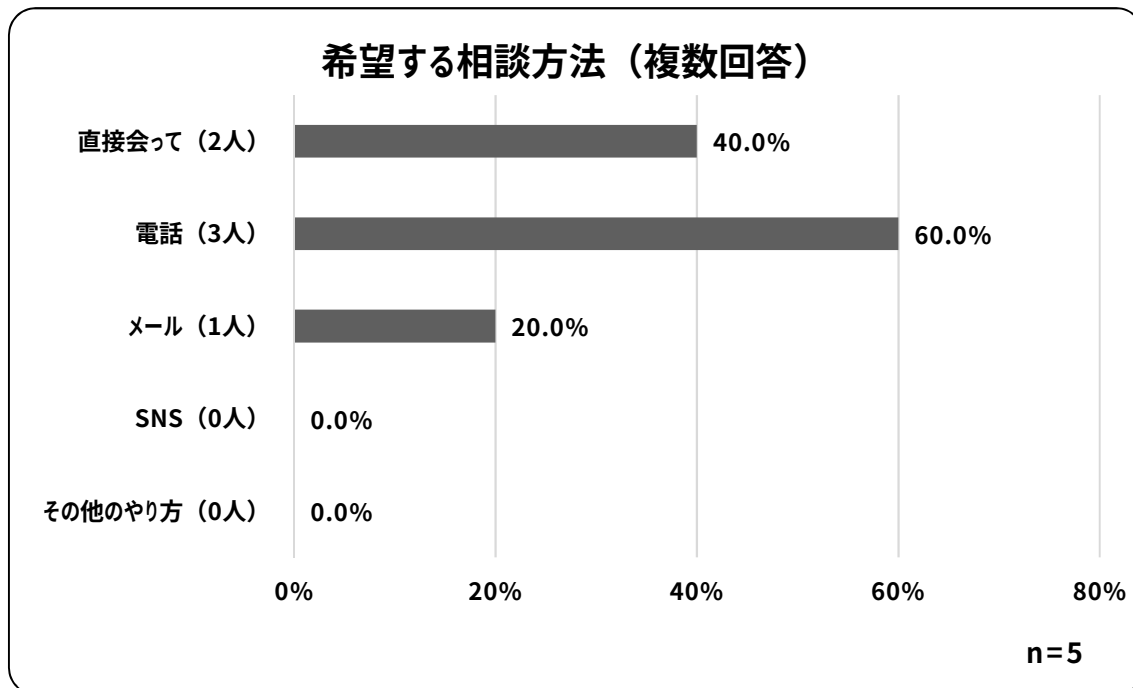
(1) 希望するサポート

「特にない」とする回答が最も多かった。サポートを希望する回答では「将来のことを相談したい」という回答が最も多く、次いで「自分の話を聞いてほしい」「生活するお金が欲しい」という回答が多かった。



(2) 希望する相談方法

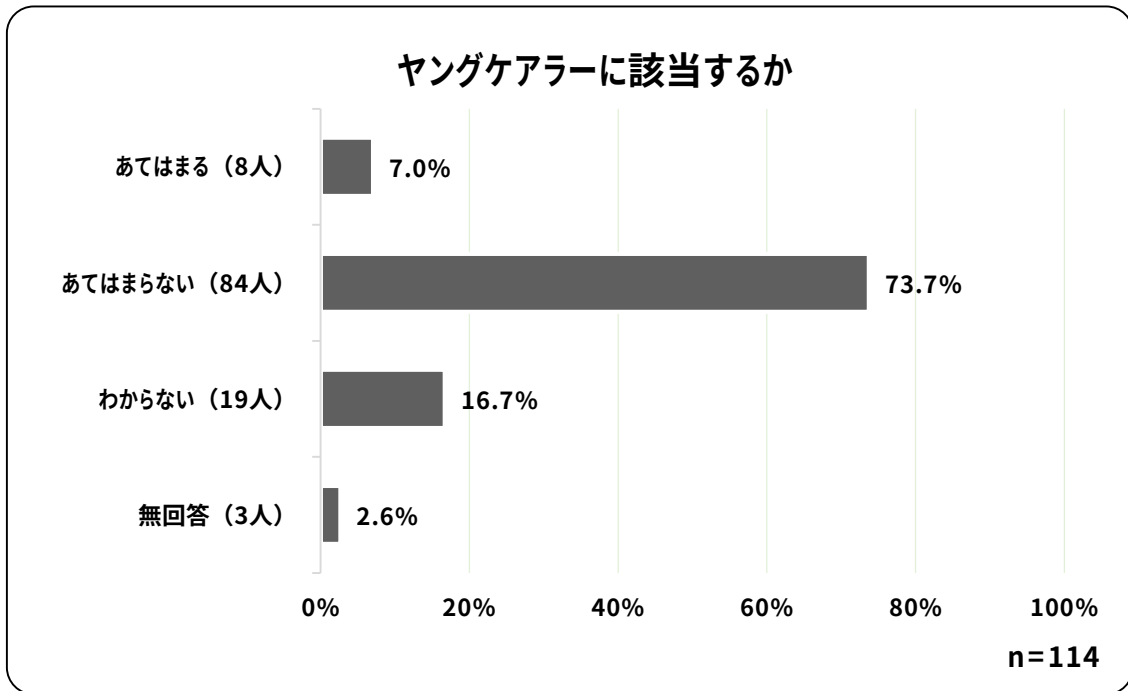
希望するサポートで「自分の話を聞いてほしい」、「相談したい」を選択した 5 人を対象に希望する相談方法について尋ねた。その結果、「電話で相談したい」という回答が最も多かった。



10 ヤングケアラーについて

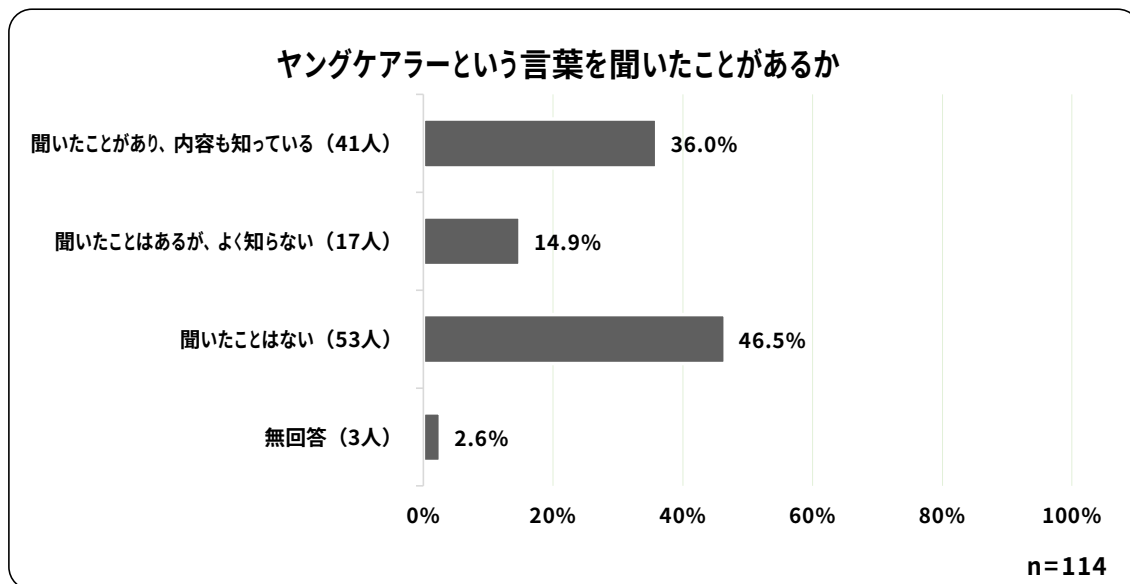
(1) 自身がヤングケアラーに該当するか

自身がヤングケアラーに「あてはまらない」と回答した人が 84 人（73.7%）で「あてはまる」と回答した人が 8 人（7.0%）であった。



(2)ヤングケアラーという言葉聞いたことがあるか

ヤングケアラーという言葉について「聞いたことがあり、内容も知っている」が 36.0%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が 14.9%と回答者の半数以上がこれまでに聞いたことがあるとの結果になった。一方で「聞いたことはない」との回答も 46.5%あった。



Ⅶ アンケート内容（小学生）

毎日の生活についてのアンケート（小学生向け）

アンケートの答え方

- ・このアンケートは、みなさんから学校やおうちでのくらしや、悩みごとなどを教えてもらい、みなさんがより良く過ごせるようにするために行うものです。
- ・回答は10分ほどで終わります。
- ・答えたくない質問（しつもん）には答えなくてもかまいません。
- ・このアンケートに答えることで、あなた個人が特定されることはありません。また、答えてもらった内容は、あなたの家族や学校の先生、友だちには分からないように大切に取り扱います。

(1) あなたのことを教えてください

1. あなたの性別（せいべつ）を教えてください。

☐男（おとこ） ☐女（おんな） ☐無回答

2. 通っている小学校を教えてください。

○○ 小学校（10文字以内）

3. あなたの今の学年を教えてください。

☐小学4年生 ☐小学5年生 ☐小学6年生

4. 今、一緒に住んでいる家族について教えてください。

（あてはまるものすべてにチェックして何人いるかも教えてください）

☐ お母さん	☐ お父さん
☐ おばあちゃん	☐ おじいちゃん
☐ 兄（ ）人	☐ 姉（ ）人
☐ 弟（ ）人	☐ 妹（ ）人
☐ 親せきの人（ ）人	☐ その他のひと（ ）人

5. あなたの体調について教えてください。

☐よい ☐まあよい ☐ふつう ☐あまりよくない ☐よくない

(2) ふだんの生活について教えてください

1. 学校を欠席することはありますか。

☐ほとんど欠席しない ☐たまに欠席する ☐よく欠席する ☐わからない

2. 朝、学校を遅刻（ちこく）することはありますか。

☐ほとんどしない ☐たまに遅刻する ☐よく遅刻する ☐わからない

3. 学校を途中（とちゅう）で早退（そうたい）することはありますか。

☐ほとんどしない ☐たまに早退する ☐よく早退する ☐わからない

4. 放課後、習い事やクラブ活動をしていますか。

☐している ☐していない ☐わからない

5. ふだんの学校生活であてはまるものはありますか。

（あてはまるものすべてにチェックしてください）

- ☐授業中にうとうとしてしまうことが多い
- ☐宿題ができていないことが多い
- ☐持ち物の忘（わす）れ物が多い
- ☐習い事やクラブ活動を休むことが多い
- ☐先生に提出（ていしゅつ）するものを遅れてしまうことが多い
- ☐修学旅行などの宿泊（しゅくはく）行事を欠席する
- ☐保健室で過ごすことが多い
- ☐学校ではひとりで過ごすことが多い
- ☐友だちとあそんだり、おしゃべりしたりする時間が少ない
- ☐特にない
- ☐わからない

6. 今、悩（なや）んだり、困ったりしていることはありますか。

（あてはまるものすべてにチェックしてください）

- ☐友だちとのこと
- ☐勉強や、成績のこと
- ☐進級や進学、将来のこと

- ☐ 習い事のこと
- ☐ クラブ活動のこと
- ☐ 生活や、勉強に必要なお金のこと
- ☐ 自分や、家族のこと
- ☐ 両親の仲があまり良くないこと
- ☐ 兄弟の仲があまり良くないこと
- ☐ 病気や、障がいのある家族のこと
- ☐ 自分の自由な時間が少ないこと
- ☐ 特にない
- ☐ わからない
- ☐ その他

7. 悩（なや）みや困（こま）り事があったときに、近くで話を聞いてくれる人はいますか。

- ☐ いる
- ☐ いない
- ☐ いるけど話したくない
- ☐ いるけど悩（なや）みや困（こま）っていることは特にない。
- ☐ わからない

(3) 家族やおうちのことについて教えてください

1. 家族の中にあなたがお世話している人はいますか。

（ここでのお世話とは、大人が行うような家事や、家族のお世話をするという意味です）

- ☐ はい
- ☐ いいえ

2. お世話を必要としている家族は何人いますか。

「1人～5人」から選択

【1人目】

3－1. お世話を必要としている家族はどなたですか。ひとつ選んでください。

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------|
| ☐ お母さん | ☐ お父さん |
| ☐ おばあちゃん | ☐ おじいちゃん |
| ☐ お兄ちゃん | ☐ お姉ちゃん |
| ☐ 弟 | ☐ 妹 |
| ☐ 親せきの人 | ☐ その他 |

3－2. お世話を必要としている人について教えてください。

- ☐ 高齢（こうれい）である（65歳以上）
- ☐ 自分よりも年下である（若い）
- ☐ 認知症（にんちしょう）がある（家族のことや、日にち、時間などが分からなくなり、お世話が必要）
- ☐ 障がい（しょうがい）がある（からだが不自由だったり、心に病気があるなど）
- ☐ 依存症（いぞんしょう）がある（お酒やギャンブルなどがやめられず、生活に問題をかかえている）
- ☐ 日本語が苦手である（生活する上で通やくが必要である）
- ☐ その他
- ☐ わからない

3－3. あなたはどのようなお世話をしていますか。

（あてはまるものすべてにチェックしてください）

- ☐ 家事（食事の準備（じゅんび）やそうじ、洗濯（せんたく））
- ☐ お風呂や、トイレの世話
- ☐ きょうだいの世話や、保育園（ほいくえん）、幼稚園（ようちえん）への送り迎え
- ☐ 買い物や散歩にいっしょに行く
- ☐ 病院にいっしょに行く
- ☐ 愚痴（ぐち）を聞いたり、話し相手になる
- ☐ そばで見守る（何もしなくても近くにいる）
- ☐ 通やく（外国語を日本語に通やくする、手話でコミュニケーションするなど）
- ☐ お金の管理
- ☐ 薬の管理
- ☐ その他
- ☐ 分からない

4. あなたはだれといっしょに家事やお世話していますか。

（あてはまるものすべてにチェックしてください）

- | | |
|------------------------------------|--|
| ☐ ひとり（自分のみ） | ☐ 福祉（ふくし）サービスの人（ヘルパーさんなど） |
| ☐ お母さん | ☐ お父さん |
| ☐ おばあちゃん | ☐ おじいちゃん |
| ☐ きょうだい | ☐ 親せきの人 |
| ☐ わからない | ☐ その他 |

5. あなたは、家事やお世話を何才ごろからしていますか。はっきりと分からない場合はだいたいの年で大丈夫です。

「入学前、6歳～12歳、覚えていない」から選択

6. あなたはどのくらい家事やお世話をしていますか。

- ☐ほぼ毎日 ☐週に3～5日
- ☐週に1～2日 ☐1か月に何日か
- ☐わからない

7. あなたは一日何時間くらい家事やお世話をしますか。日によってちがう場合は、一週間のまんなかくらい（平均）の時間を教えてください。

「1時間未満、1時間、2時間、3時間、4時間、5時間、6時間、7時間以上」から選択

8. 家事やお世話をしていることで、やりたくてもできないことはありますか。

（あてはまるものすべてにチェックしてください）

- ☐学校に行きたくても行けない
- ☐朝、学校に遅刻してしまう
- ☐途中で学校を早退してしまう
- ☐宿題など勉強する時間がない
- ☐眠る時間が少ない
- ☐友だちと遊ぶことができない
- ☐習い事や、クラブ活動ができない
- ☐将来のことを考えられない
- ☐自分の自由な時間がとれない
- ☐特にない
- ☐その他

9. 家事やお世話をして「たいへんだな」と感じることはありますか。

（あてはまるものすべてにチェックしてください）

- ☐体力的にたいへん
- ☐気持ちの面でたいへん
- ☐時間の余裕（よゆう）がない
- ☐特にたいへんとは思わない

10. 家事やお世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。

- ☐ある ☐ない

1 1. だれに相談しましたか。

(あてはまるものすべてにチェックしてください)

- ☐ 家族 (父、母、おじいちゃん、おばあちゃん、きょうだい)
- ☐ 親せきの人 (おじさん、おばさんなど)
- ☐ 友だち
- ☐ 学校の先生 (保健室の先生以外)
- ☐ 保健室の先生
- ☐ スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー
- ☐ 医者や、病院の人
- ☐ ホームヘルパーやケアマネジャーなど福祉サービスの人
- ☐ 役所や保健センターの人
- ☐ 近所の人
- ☐ SNS 上での知り合い
- ☐ 分からない・覚えていない
- ☐ その他

1 2. 相談していない理由を教えてください。

(あてはまるものすべてにチェックしてください)

- ☐ だれかに相談するほどの悩みではないから
- ☐ 家族以外の人に相談するような悩みではないから
- ☐ だれに相談したらいいのかわからないから
- ☐ 相談できる人が近くにいないから
- ☐ 家族のことを話したくないから
- ☐ 家族のことを知られたくないから
- ☐ 家族のことを変な目で見られたくないから
- ☐ 相談しても何も変わらないから
- ☐ わからない

1 3. 学校や、周りの大人にしてもらいたいことはありますか。

(あてはまるものすべてにチェックしてください)

- ☐ 自分のことについて話を聞いてほしい
- ☐ 家族について相談したい
- ☐ 家族の病気のことをわかりやすく教えてほしい
- ☐ 自分のしていることを誰かに代わってほしい
- ☐ 自分のしていることを手つだってしてほしいことがある

- ☐ 自由な時間が欲しい
- ☐ 将来のことを相談したい
- ☐ 勉強を教えてほしい
- ☐ 生活するお金がほしい
- ☐ 特にない
- ☐ わからない
- ☐ その他

14. 前の質問で「聞いてほしい、相談したい」と答えた方に聞きます。どのような方法で相談したいですか。（あてはまるものすべてにチェックしてください）

- ☐ 直接（ちょくせつ）会って ☐ 電話 ☐ メール ☐ SNS（LINE など） ☐ その他
の他のやり方

(4) ヤングケアラーについて

「ヤングケアラー」とは、「ふつうは大人がするとされている、おうちのことや、家族のお世話などを、ふだんから、子どもが行っていることにより、子ども本人がやりたいことができないなど、子ども本人の権利（けんり：自分のために主張したり、他人にやってもらうことができる立場や能力（のうりょく））が守られていないと思われる18歳未満の子ども」のことをいいます。

ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration : Izumi Shiga

1. このイラストを見て、あなたが「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。

☐あてはまる ☐あてはまらない ☐わからない

2. 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。

☐聞いたことがあり、内容（ないよう）も知っている
☐聞いたことはあるが、よく知らない
☐聞いたことはない

3. このアンケートで感じたことや言いたいことを書いてください。特になければ空らんでも大丈夫です。（自由記述）

質問は以上で終わりです。ごきょうりよくありがとうございました。

Ⅷ アンケート内容（中学生・高校生）

毎日の生活についてのアンケート（中学生・高校生用）

アンケートについて（最初にお読みください）

- ・このアンケートは、みなさんから学校や家庭での暮らしや、悩みごとなどを教えてもらい、みなさんがより良く過ごせるようにするために行うものです。
- ・回答に要する時間は約10分です。
- ・答えたくない質問には回答しなくてもかまいません。
- ・アンケートに回答したことであなた個人が特定されたり、回答の内容があなたの家族や学校の先生、ほかの生徒に知られることはありません。

(I)あなたについて教えてください

1. あなたの性別（せいべつ）を教えてください。

☐男（おとこ） ☐女（おんな） ☐無回答

2. 通っている中学校、あるいは高校を教えてください。

（〇〇中学校、川越高等学校、川越特別支援学校と回答してください）

自由記述欄（10文字以内）

3. あなたの今の学年を教えてください。

☐中学1年生 ☐中学2年生 ☐中学3年生

☐高校1年生 ☐高校2年生 ☐高校3年生

4. 同居している家族構成について教えてください。

（あてはまるものすべてにチェックし、人数を教えてください。2世帯住宅の場合も同居に含みます）

☐ 母	☐ 父
☐ 祖母	☐ 祖父
☐ 兄（ ）人	☐ 姉（ ）人
☐ 弟（ ）人	☐ 妹（ ）人
☐ 親戚（ ）人	☐ その他（ ）人

5. あなたの体調について教えてください。

☐よい ☐まあよい ☐ふつう ☐あまりよくない ☐よくない

(2) ふだんの生活について教えてください

1. 学校を欠席することはありますか。

☐ほとんど欠席しない ☐たまに欠席する ☐よく欠席する ☐わからない

2. 朝、学校を遅刻することはありますか。

☐ほとんどしない ☐たまに遅刻する ☐よく遅刻する ☐わからない

3. 学校を途中で早退することはありますか。

☐ほとんどしない ☐たまに早退する ☐よく早退する ☐わからない

4. 放課後、習い事や部活動をしていますか。

☐している ☐していない ☐わからない

5. ふだんの学校生活であてはまるものはありますか。

(あてはまるものすべてにチェックしてください)

- ☐授業中に居眠りしてしまうことが多い
- ☐宿題や課題ができていないことが多い
- ☐持ち物の忘れ物が多い
- ☐習い事や部活動を休むことが多い
- ☐先生に提出するものを遅れてしまうことが多い
- ☐修学旅行などの宿泊行事を欠席する
- ☐保健室で過ごすことが多い
- ☐学校ではひとりで過ごすことが多い
- ☐友だちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない
- ☐特にない
- ☐わからない

6. 今、悩んだり、困ったりしていることはありますか。

(あてはまるものすべてにチェックしてください)

☐友人との関係とのこと

- ☐学業や、成績のこと
- ☐進級や進学、将来のこと
- ☐習い事のこと
- ☐部活動のこと
- ☐学費などを含む家庭の経済的状況のこと
- ☐自分と家族との関係のこと
- ☐両親の仲があまり良くないこと
- ☐兄弟の仲があまり良くないこと
- ☐病気や、障がいのある家族のこと
- ☐自分の自由な時間が少ないこと
- ☐特にない
- ☐わからない
- ☐その他

7. 悩みや困り事があったときに、近くで話を聞いてくれる人はいますか。

- ☐いる
- ☐いない
- ☐いるけど話したくない
- ☐いるけど悩みや困っていることは特にない。
- ☐わからない

(3)家族や家庭のことについて教えてください

1. 家族の中にあなたがお世話している人はいますか。

(ここでのお世話とは、大人が行うような家事や、家族のお世話をするという意味です)

- ☐はい
- ☐いいえ

2. お世話を必要としている家族は何人いますか。

「1人～5人」から選択

【1人目】

3－1. お世話を必要としている家族はどなたですか。ひとつ選んでください。

- ☐母
- ☐父
- ☐祖母
- ☐祖父
- ☐兄
- ☐姉

- ☐弟 ☐妹
- ☐親戚 ☐その他

3－2. お世話を必要としている人について教えてください。

- ☐高齢である（65歳以上）
- ☐自分よりも年下である（若い）
- ☐認知症がある（家族のことや、日にち、時間などが分からなくなり、お世話が必要）
- ☐障がいがある（からだが不自由だったり、心に病気があるなど）
- ☐依存症がある（お酒やギャンブルなどがやめられず、生活に問題をかかえている）
- ☐日本語が苦手である（生活する上で通訳が必要である）
- ☐その他
- ☐わからない

3－3. あなたはどのようなお世話をしていますか。

（あてはまるものすべてにチェックしてください）

- ☐家事（食事の準備やそうじ、洗濯）
- ☐お風呂や、トイレの世話
- ☐きょうだいの世話や、保育園、幼稚園への送り迎え
- ☐買い物や散歩にいっしょに行く
- ☐病院にいっしょに行く
- ☐愚痴（ぐち）を聞いたり、話し相手になる
- ☐そばで見守る（何もしなくても近くにいる）
- ☐通訳（外国語を日本語に通訳する、手話でコミュニケーションするなど）
- ☐金銭管理
- ☐薬の管理
- ☐その他
- ☐分からない

4. あなたは誰といっしょに家事やお世話していますか。

（あてはまるものすべてにチェックしてください）

- | | |
|------------------------------------|---|
| ☐ ひとり（自分のみ） | ☐ 福祉サービスの人（ヘルパーさんなど） |
| ☐ 母 | ☐ 父 |
| ☐ 祖母 | ☐ 祖父 |
| ☐ きょうだい | ☐ 親せきの人 |
| ☐ わからない | ☐ その他 |

5. あなたは、家事やお世話を何歳ごろからしていますか。はっきりと分からない場合はだいたいの年でお答えください。

「小学校入学前、6歳～18歳、覚えていない」から選択

6. あなたはどのくらい家事やお世話をしていますか。

- ☐ほぼ毎日 ☐週に3～5日
☐週に1～2日 ☐1か月に何日か
☐わからない

7. あなたは一日何時間くらい家事やお世話をしますか。日によって異なる場合は一週間の平均時間でお答えください。

「1時間未満、1時間、2時間、3時間、4時間、5時間、6時間、7時間以上」から選択

8. 家事やお世話をしていることで、やりたくてもできないことはありますか。

(あてはまるものすべてにチェックしてください)

- ☐学校に行きたくても行けない
☐朝、学校に遅刻してしまう
☐途中で学校を早退してしまう
☐宿題など勉強する時間がない
☐睡眠時間が十分にとれない
☐友だちと遊ぶことができない
☐習い事や部活動をする余裕がない、もしくはやめざるを得なかった
☐進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した
☐自分の自由な時間がとれない
☐特にない
☐その他

9. 家事やお世話をしていて「つらい」と感じることはありますか。

(あてはまるものすべてにチェックしてください)

- ☐体力的につらい
☐精神的につらい
☐時間の余裕がない
☐特につらいとは思わない

10. 家事やお世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。

- ☐ある ☐ない

1 1. 誰に相談しましたか。

(あてはまるものすべてにチェックしてください)

- ☐ 家族 (父、母、祖父、祖母、きょうだい)
- ☐ 親戚 (叔父、伯母など)
- ☐ 友人
- ☐ 学校の教師 (保健室の先生以外)
- ☐ 保健室の先生
- ☐ スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー
- ☐ 医師や、看護師など病院の職員
- ☐ ホームヘルパーやケアマネジャーなど福祉サービスの職員
- ☐ 役所や保健センターの職員
- ☐ 近所の人
- ☐ SNS 上での知り合い
- ☐ 分からない・覚えていない
- ☐ その他

1 2. 相談していない理由を教えてください。

(あてはまるものすべてにチェックしてください)

- ☐ 誰かに相談するほどの悩みではないから
- ☐ 家族以外の人に相談するような悩みではないから
- ☐ 誰に相談したらいいのかわからないから
- ☐ 相談できる人が近くにいないから
- ☐ 家族のことを話したくないから
- ☐ 家族のことを知られたくないから
- ☐ 家族に対して偏見を持たれたくないから
- ☐ 相談しても状況が変わると思わないから
- ☐ わからない

1 3. 学校や、周りの大人にしてもらいたいことはありますか。

(あてはまるものすべてにチェックしてください)

- ☐ 自分のいまの状況について話を聞いてほしい
- ☐ 家族のお世話について相談したい
- ☐ 家族の病気のことをわかりやすく教えてほしい
- ☐ 自分のしていることを誰かに代わってほしい
- ☐ 自分のしていることを手伝ってほしいことがある

- ☐ 自由な時間が欲しい
- ☐ 進路や就職のことなど、将来について相談したい
- ☐ 勉強を教えてほしい
- ☐ 家庭への経済的支援をしてほしい
- ☐ 特にない
- ☐ わからない
- ☐ その他

14. 前の質問で「聞いてほしい、相談したい」と答えた方に聞きます。どのような方法で相談したいですか。（あてはまるものすべてにチェックしてください）

- ☐ 直接会って
- ☐ 電話
- ☐ メール
- ☐ SNS（LINE など）
- ☐ その他のやり方

(4)ヤングケアラーについて

「ヤングケアラー」とは、「ふつうは大人がするとされている、おうちのことや、家族のお世話などを、ふだんから、子どもが行っていることにより、子ども本人がやりたいことができないなど、子どもの権利が守られていないと思われる18歳未満の子ども」のことをいいます。

ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration : Izumi Shiga

1. このイラストを見て、現在もしくは以前に、あなたが「ヤングケアラー」であったと思いますか。

☐あてはまる ☐あてはまらない ☐わからない

2. 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。

☐聞いたことがあります、内容も知っている

☐聞いたことはあるが、よく知らない

☐聞いたことはない

3. このアンケートで感じたことや言いたいことを書いてください。特になければ空欄で構いません。（自由記述）

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。